

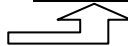


地区館事業

平成 25 年度 指定管理事業実績

市民センター地区館ホームページアドレス一覧

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/〇〇〇〇/index.html>

※館によって入る文字が異なる 

市民センター名	〇〇〇〇に入る文字	市民センター名	〇〇〇〇に入る文字
青葉区		六郷市民センター	rokugo
青葉区中央市民センター	aochu	若林市民センター	wakabayasi
柏木市民センター	kasiwagi	沖野市民センター	okino
北山市民センター	kitayama	太白区	
福沢市民センター	fukuzawa	太白区中央市民センター	futochu
旭ヶ丘市民センター	asahigaoka	生出市民センター	oide
三本松市民センター	sanbonmatsu	中田市民センター	nakada
片平市民センター	katahira	西多賀市民センター	nisitaga
水の森市民センター	mizunomori	八本松市民センター	hachihonmatsu
貝ヶ森市民センター	kaigamori	八木山市民センター	yagiyama
中山市民センター	nakayama	山田市民センター	yamada
折立市民センター	oritate	茂庭台市民センター	moniwadai
木町通市民センター	kimachi	東中田市民センター	higashinakada
広瀬市民センター	hirose	柳生市民センター	yanagiu
宮城西市民センター	miyaginisi	富沢市民センター	tomizawa
大沢市民センター	osawa	秋保市民センター	akiu
落合市民センター	ochiai	馬場市民センター	
吉成市民センター	yosinari	湯本市民センター	
宮城野区		泉区	
宮城野区中央市民センター	miyachu	泉区中央市民センター	izuchu
生涯学習支援センター	chuo	根白石市民センター	nenosiroisi
高砂市民センター	takasago	南光台市民センター	nankodai
岩切市民センター	iwakiri	黒松市民センター	kuromatsu
鶴ヶ谷市民センター	tsurugaya	将監市民センター	syogen
榴ヶ岡市民センター	tsutsujigaoka	加茂市民センター	kamo
東部市民センター	tobu	高森市民センター	takamori
幸町市民センター	saiwaichou	松陵市民センター	syoryo
田子市民センター	tago	寺岡市民センター	teraoka
福室市民センター	fukumuro	長命ヶ丘市民センター	chomeigaoka
若林区		松森市民センター	matsumori
若林中央市民センター	wakachu	桂市民センター	katsura
七郷市民センター	sichigo	南中山市民センター	minaminakayama
荒町市民センター	aramachi		

(平成 26 年 8 月 1 日現在)

青葉区中央市民センター

〔沿革〕

青葉区中央市民センターは、昭和 40 年 4 月、市立東二番丁小学校に開設された「仙台市市民教養センター」がその始まり。昭和 61 年、小学校の全面改築に伴い廃止され、昭和 63 年 1 月に「仙台市中央公民館一番町分館」として開館。平成 13 年 4 月、隣接の「アスパアー番町（勤労青少年ホーム）」を統合し、現在の「青葉区中央市民センター」としてスタートした。

市の中心部で交通の便が良いため、若い世代から高齢者まで昼夜を問わず利用率が高く、外国人も集まりやすいため、日本語講座を開催するなど国際交流の場としても一翼を担っている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある（地区館）事業〕

事業名	ボランティア養成・育成講座—まちなか応援隊—		
参加者	成人	延参加者	18 人
開催日	全 7 回 5 月 11 日(土)、6 月 8 日(土)、9 月 8 日(日)、 9 月 28 日(土)、11 月 9 日(土)、3 月 1 日(土)、3 月 13 日(木)		
ねらい	より多くの市民に講座への興味・関心を持って参加してもらい一助として、市民センターが行う講座を積極的にサポートする人材を養成・育成し、継続的な活動につなげる。		
概要・成果	主に音響についての事前研修を行い、講座「サンモール路上ライブ」「綱引き in サンモール」「ふれあい祭—和気藹々（あいあい）☆一番町」の開催にあたっては、事前打合せから会場準備・運営・撤収まで、スタッフとして参加した。 平成 24 年度から参加しているメンバーが継続して参加したこともあり、これまで習得した技術をもとにスムーズにイベントの運営を行うことができた。また、新規メンバーが加入した場合でも教えることができる状況になっており、2 年間継続した成果が現れた。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子で遊ぼう！パンダくらぶで	未就学児を持つ親への子育て支援の一助。親子でヨガ・簡単な小物作り・人形劇鑑賞	5 月 24 日 ～11 月 6 日	3	38
こども広場～サイエンス☆フェスティバル' 13	小中学生を対象に、様々な団体が行う実験や工作を五感を使って体験する場の提供。打合せ会 オープニングセレモニー 諸団体による実験・ 工作と展示発表 反省会・交流会	7 月 20 日 ～10 月 12 日	3	260
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活動する児童および世話を対象に子ども会についての知識やレクリエーション・ゲーム等を学習する場を提供する。講話と演習 ゲーム	1 月 25 日	1	29
ジュニアリーダーと遊ぼう	「東二夏まつり」「ふれあい祭」で小学生や未就学児を対象とした事業の計画を立て運営し 「ジュニアリーダーとあそぼう」コーナーを実施。もぐらたたき・バルーンアートなど	8 月 24 日 ～3 月 2 日	2	218
職場体験学習講座	職場体験を希望する小中学生を対象に、市民センター業務や事業企画などの実践を行った。接遇についての講話・窓口業務の演習・講座見学	8 月 26 日 ～10 月 24 日	2	5

仙台まちなか散歩	参加者へ自主的な活動を促しながら、地域資源の継承者となるよう支援する講座。「歴史編」「広瀬川編」で講話・散策を実施。「公開講座」自主活動グループによるまち歩きと成果発表	5月14日 ～3月18日	7	166
国際交流講座 フレンドシップ SENDAI	外国籍の住民と日本人との交流の場を設け、お互いに理解を深める場とした。日本文化を知る（折り紙・書道）・季節の調理実習・外国料理（ネパール）	7月3日 ～9月11日	4	53
都市部における震災に備えた対応法を学ぶ	都市部における災害時、落ち着いて行動できるためのノウハウを学んだ。防災講話、カードゲーム、炊き出し訓練と試食	6月6日	1	14
BOOK CAFE@一番町～本を片手に、街でつながろう	昼間の講座への参加が難しい方を対象にして、講話・ハンドメイド・ビブリオバトル・交流を開催	11月27日 ～12月11日	3	22
あおばカレッジ	セカンドライフを考える年代の市民向けの通年学習の場。基調講演、館外学習、健康体操、ニュースポーツ、ちぎり絵、明成高校への移動学習、運営委員自主企画など	5月17日 ～2月21日	9	308
アクティブエイジングの まちなか交流	同年代同士の交流と学びの場を提供。災害時や非常時に役立つ調理実習と緊急連絡法の実技	10月29日 ～11月26日	3	38
まちなか元気いっぱいプロジェクト～まちなかをもっともっと元気に！	サンモール一番町に新たな賑わいを創出し活性化の契機にするため、アーケードを活用したイベント「路上ライブ」「ミニ綱引き」を実施	9月28日 ～11月9日	2	86
第10回ふれあい祭 「和気 藹々 ☆一番町」	身近な市民センターでの学習成果の発表の場と団体間の交流 ステージ発表・展示発表・ダンスパーティー・出店・体験・東二幼稚園の作品展示・主催事業の開催と展示	3月1日 ～3月2日	2	880
青中懇話会	地域の諸団体、子育て機関との情報交換 ワークショップ	5月30日 ～10月31日	3	22
ジュニアリーダー育成支援	子どもを対象としたイベントの企画や実施、その他ボランティア活動に取り組めるよう育成支援。定例会、研修、学習会、要請対応	4月14日 ～3月16日	12	45
市民企画講座「夜間講座を 考え night 2013」	参加対象者と同じ立場の企画員が、ニーズを探りながらより参加者に則した講座内容を企画・提供。企画会、講座実施、反省会	6月14日 ～12月11日	7	15

柏木市民センター

〔沿革〕

柏木市民センターは、昭和 61 年 7 月に旧仙台女子高等学校の校舎を改修し、中央公民館柏木分館として開館した。平成元年の政令指定都市移行とともに、「柏木公民館・市民センター」として独立、そして平成 2 年には名称を「柏木市民センター」とした。その後、施設の老朽化のため平成 7 年 4 月から一時休館して改修工事を行い、平成 10 年 4 月にコミュニティ防災センターを併設した複合施設として新たに開館した。施設の特徴としては、収納式のステージをもつ多目的ホール、会議室、和室等に加え、広いロビーがあり、地域住民の学習・スポーツ・交流の場として活用されている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	ようこそ仙台へ ～まざらいん仙台～		
参加者	仙台に転入して概ね一年以内の成人	延参加者	46 人
開催日	全 5 回 9 月 20 日、9 月 27 日、10 月 4 日、10 月 11 日、10 月 18 日		
協力者・協力団体	青葉環境事業所、仙台市文化財課		
ねらい	仙台は転勤による転入が多く、転入者は地域住民との交流も少ないため、孤立しがちで、日常生活において様々な地域特有の習慣や文化の違いに戸惑いを感じている。そこで、転入者をサポートし、より早く地域に馴染んでもらう一助として、情報や活動の場を提供し、転入者同士の交流の促進を図る。		
概要・成果	転入者同士ということもあり、1 回目の「まち歩きとランチ」からすぐに打ち解けあい、和やかな雰囲気の中、最終回まで進めることができた。受講生達はもっと仙台のことを知りたい、という意識が強く、講座中は質問も多く出るなど、積極的な参加意欲が感じられた。講座終了後には自主サークルが結成され、受講生それぞれの特技を皆で学習する等の活動を行い交流が進んでいる。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
おもしろ体験！ 柏木ワンダーランド	小学生を対象とした総合学習。①マルセイユ石けん作り②ジャグリング体験（北八中部子供会連携）③縄文土器製作④すずめ踊り体験（通町小学校連携）⑤偏光板を用いた実験⑥ゲームを楽しもう（北八西部子供会連携）	7 月 25 日 9 月 7 日 10 月 6、8、12、 26 日 2 月 22 日 3 月 1 日	8	144
インリーダー研修会	子ども会を対象とした研修。子ども向け「インリーダーの役割と心構え」世話人向け「子ども会活動と世話人の役割」。	2 月 8 日	1	35
博学さんぽー地域の古木めぐりー	保存樹木に焦点を当て地域を見直す機会とした。①柏木の桜探し②③地域の古木めぐりー春編④番外編「八幡の商いと暮らしの記憶」東北学院大斎藤ゼミ八幡地区での聞き取り調査の報告会⑤地域の古木めぐりー秋編	4 月 18 日 5 月 16、23 日 9 月 29 日 11 月 20 日	5	73
ようこそ仙台へ ～まざらいん仙台～	仙台へ転入し間もない方対象に開催。①柏木界限まち歩きとランチ②仙台のゴミ出しルール③まつトミの仙台弁講座④仙台城址散策⑤郷土料理調理実習と懇親会	9 月 20、27 日 10 月 4、11、18 日	5	47

柏梁学院	地域の高齢者を対象として開催。①開講式②講話「笑う門には福来たる」③遺言について④仙台空襲⑤生きがいについて⑥ロコモ体操⑦博物館館外学習⑧五輪の色でうたいましょう⑨慶長使節⑩北極圏のオーロラ⑪政宗のまちづくり⑫閉講式	4月17日 ～3月5日	12	742
「初恋」聞き書きサロン	地域の社会福祉協議会との連携を深めるため、各地で開催されている少人数のサロンに出向き交流・参加型の講座を提供した。戦争を生きた方々の初恋や当時の生活についての聞き取りをおこなった。	6月4、10日 7月22日 9月9日 12月6日 1月28日	6	85
くつろぎタイム 2013	住民が気軽に集える場をもうけ親睦交流を図った。①夏の夜の不思議なお話し②本とあそぼう（絵本読み聞かせ、マジック工作、ぬり絵など）③クリスマスクラシックコンサート	7月27日 11月30日 12月15日	3	173
★● なんだりかんだり柏木 ー食べる！つくる！語る！ー	震災後に地域に転入して来られた方々に得意とする技を伝授していただきながら地域の住民と交流を図った。被災体験も語っていただき震災への思いを新たにした。	6月21日 11月14、21、 28日 12月5、12日	6	54
★● ふしぎ！発掘！再現！ ー不思議な地形をジオラ マにしようー	現在は全容を見ることのできない深い沢「へくり沢」について歴史的・地理的考察を加えるとともに現地踏査をおこなった。また、昭和33年の仙台市都市計画図に基づいた地形模型図作りに取り組み完成させた。	9月12、28日 10月24日 11月10日 1月25日 2月1、15、22 日 3月1、29日	9	221
★第10回「柏木「ふれあ い祭り」	ステージ発表、展示発表、体験コーナー等で、住民・センター利用者の交流、世代間の交流をはかった。出店コーナーでは地域の柿渋を使った小物の販売や、小学生が講座で作った石けん販売など講座の成果も発表できた。	10月6日	1	700
通町社会学級連携講座ー 南米民族音楽のひとつ	通町小学校社会学級との連携で南米民族音楽のコンサートを開催。コンサート終了後、地域の柿でつくったスイーツを味わいながら珍しい楽器に触れることもできる交流サロンも実施。	3月9日	1	45
柏木地域懇談会	八幡地区社協小地域福祉ネットワークリーダー会での市民センター活動紹。2回目は、まつり反省会にあわせ八幡地区町連会長、近隣町内会長、柏木市民センター利用団体との意見交換	4月26日 11月9日	2	49
市民企画講座「もっと地域 を知りたい！In 通町小学 校」	通町小学校を会場に地域学習会を開催。①仙台の町名の由来、柏木・通町地区の歴史的特色や昔の様子について②学習会のアンケートをうけて通町・北山界隈のまち歩き	6月25日 8月21日	2	28
「初恋」聞き書きボランテ ィア養成講座	小地域福祉ネットワークふれあいいきいきサロンで聞き取った音源をもとに小冊子を作るボランティアの養成を図ったが、参加者が集まらず職員が編集作業をおこない冊子を発行した。	6月10日 11月27日 12月6日	3	6
こんな町に!! 柏木の未来 「地域元気クラブ 2013」	活動3年目を迎え、地域人材、資源を活かした講座を企画・実施。また近隣の地域団体とともに仙台東元・アップ事業に参加。更に自主活動に向けこれまでの活動の振り返りと今後の活動に向けてのマネジメント研修を2回おこなった。	7月27日 8月17、18日 9月21日 12月25日 1月16、25日	7	108
市民企画会議「柏木探検プ ロジェクト」	「元気アップ柏木」実行委員6名が参加。地域をもっと知ってもらうために地域住人を対象に小学校を会場とし、地域資源を紹介する講座を企画。	5月2、8、23日 6月6、20日 8月1日	6	34

北山市民センター

〔沿革〕

北山市民センターは、昭和 49 年 7 月に北山福祉会館として設置されたのが始まり(所管は仙台社会福祉協議会)。平成元年の政令指定都市移行に伴い「北山市民センター・公民館」となり、平成 2 年には「北山市民センター」と名称を改め、地域の生涯学習の拠点としての機能を果たしてきたが、施設の老朽化に伴う改築後、平成 23 年 1 月に再開した。

地域内には、青葉神社、大崎八幡神社、北山五山などの神社仏閣があり、歴史的・文化的資源や緑に恵まれている。また、東北福祉大学や東北大学国際交流会館の立地により、若者や外国人の居住者が多い。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	歴史講座「仙台藩の埋もれた遺臣たち」		
参加者	成人	延参加者	324 人
開催日	全 3 回 6 月 29 日(土)、11 月 30 日(土)、12 月 7 日(土)		
協力者・協力団体	北山ガイドボランティア、NPO 法人マナビサポ 20		
ねらい	北山界限には、神社・仏閣など歴史的資源が多い。それらを保護し継承していくためには、歴史的意義を学習し理解する必要がある。また、当館の講座修了後に結成したボランティアサークルが、地域のガイド活動をしている。 そこで、NPO 法人「マナビサポ 20」や、「北山ガイドボランティア」と連携して、市民へ地域の歴史学習の機会を提供すると共に、各団体の支援と連携を図る。		
概要・成果	【概要】 平成 23 年度から継続開催してきた講座の最終年度。前期は「北山・資福寺編」と題し、優れた功績を残しながら知られていない仙台藩士を紹介した。また、後期の最終回は多数の応募を予想して 2 回に増やし、「北山・輪王寺編」と題して伊達家の優れた遺臣達の功績を紹介。ガイドボランティアが収集した学習成果をまとめた資料も配布した。 【成果】 定員数に対し 1.5 倍の応募があり、参加者の関心の高さが伺えた。講師は当館の養成講座から発展し誕生した北山ガイドボランティアが務め、参加者に北山の魅力を発信することができた。また、ボランティアの活動及び研究意欲の向上にも繋がった。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●ルンルン子育て講座	未就学児親子を対象とした年齢別の企画内容で、サロン形式の時間も作り同じ月齢の子を持つ若い母親が育児の悩みや不安を解消できるよう母親同士の交流も図った。	5 月 22 日 6 月 5、19 日 7 月 2 日	4	50
インリーダー研修会	子供会活動の活性化と活動内容の充実を図る為、世話人に対して子供会運営についての講話を、児童へ講話やゲーム指導など、学習の機会を提供した。	2 月 8 日	1	35
北山納涼祭-おばけの館-	「おばけやしき」がテーマの遊びを通して、子供同士や親子の交流を深めると共に郷土愛を育む為、スタッフの若者と子供達との交流を図り、青少年健全育成の一助とした。	9 月 8 日	1	230
おばけやしきプロジェクト	若者の発想力と行動力を発揮し子供のあそび場作りに参画することで、彼らの力を地域づくり人づくりに繋げる為、検討会議を重ねて「おばけやしき」の企画・製作を行った。	8 月 3、30 日、 31 日 9 月 5、6、7 日 10 月 4 日	7	111

ジュニアリーダーと遊ぶ	当館を拠点に活動する JL が、地域の子供達と遊ぶ行事の企画・運営等に携わりサークルの団結力の強化とメンバーのスキルアップを図る為、「北山交流まつり」「北山納涼祭」で地域の子供達と触れ合う企画を開催した。	9 月 8 日 10 月 20 日	2	95
通町小学校連携講座「わたしたちのまちの歴史探検」	地元の小学生達に貴重な地域資源をより身近に感じてもらう為、当市民センターの養成講座にて立上った「北山ガイドボランティア」が、北山五山の説明と現地を実際に案内すると共に、異世代交流を図った。	11 月 22 日	1	66
「アイラブきたやま情報ステーション」－若者による北山の情報発信計画－	若者の視点や感性で捉えた北山の地域像を発信し地域交流・活性化の一助とする為、北山地区を取材・編集して小冊子を発行した。	4 月 3、17 日 5 月 8、29 日 7 月 17 日 9 月 18 日 10 月 2 日 11 月 6 日 12 月 11 日	9	34
北山シルバースクール 2013	高齢者が健康で生きがいのある生活を送れるよう学習の場を提供する為、歴史散策、健康体操、作品制作、各種講話を開催した。また、今年度は戦争資料の展示と、経験者の講話を公開講座した。	4 月～2 月	11	343
★北山地区合同防災訓練	三条中学校を指定避難所とする町内会や地域諸団体の合同防災訓練を実施し、より実態に即した地域防災体制の構築や災害対応力の強化を図った。	11 月 3 日	1	24
地域懇談会	市民センターへの意見・要望、情報や課題の把握共有を図る為、地域諸団体との懇談会を実施し、今後の事業運営の参考とした。	7 月 2 日	1	12
第 6 回北山交流まつり	地域諸団体の協力を得て、学校や各種サークルの活動成果を発表し「北山交流まつり」を円滑に運営し、地域住民同士の交流と親睦を図った。	10 月 20 日	1	560
きたやま JOYFUL★ライブ	地域住民が気軽に集い楽しく鑑賞・聴講できる様々な演目を開催し、地域住民の交流や親睦を図った。	6 月 2 日 7 月 30 日 8 月 20 日 9 月 28 日 12 月 14 日 2 月 1 日 3 月 20 日	7	191
国際理解講座「サバめしで国際交流」	防災の中でテーマを食に絞り、日本と各国の非常時のサバイバル料理を紹介し合い実際に調理・試食を行なうと共に、災害への知識を学び合った。	1 月 7 日 2 月 15 日 3 月 8 日	3	25
北山ブックフェスティバル 2013	図書室の利用者増と本を通じて生涯学習参加を引きだすため、図書ボランティア運営のもとで読み聞かせや講演会・古本市を行ない、ボランティアのスキルアップや地域住民に本への興味を広げた。	11 月 13、20 日	2	51
はじめての仙台暮らし「留学生応援講座」	地域に多く在住する外国人が求めている情報を把握し講座を提供することで、仙台暮らしを支援すると共に、地域住民と留学生達との国際交流を図った。	4 月 27 日 5 月 25 日 7 月 13 日	3	74
ジュニアリーダー定例会	ジュニアリーダー活動の支援として定期的な会議を開き必要な情報を提供すると共に、JL 同士の団結が図れるよう助言した。	通年	10	28
市民企画「長生き活き活きまちづくり計画」	市民センター近隣町内会と共に、高齢化に向けたテーマで地域を考える視点や市民協働、地域福祉への関心を高める為の検討会を開催した。	12 月 21 日	1	9

福沢市民センター

〔沿革〕

福沢市民センターは、昭和 59 年 6 月 9 日、コミュニティ防災センターを併設し、開館。平成 20 年 6 月より大規模改修工事を行い平成 21 年 1 月 14 日に再開した。

当市民センターの地域内は、東照宮の門前町として栄えた宮町を中心として昔の雰囲気而今にとどめており、下町情緒に溢れた古い歴史の地域になっている。反面、仙台市中心部からも近く、マンションも建ち並び新旧住民が混在した地域でもあり、ここ数年対象地域の総人口は増加に転じている。また、管内に公営復興住宅が 2 ヲ所建設予定で、地域コミュニティの形成がより重要となりつつある中で、地域の交流の場として多くの人々に利用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	★災害に備えよう		
参加者	地域住民	延参加者	321 人
開催日	全 6 回 6 月 20 日(木)、7 月 26 日(金)、9 月 20 日(金)、9 月 25 日(水)、 10 月 23 日(水)、1 月 29 日(水)		
協力者・協力団体	北六・中江地域防災連絡会		
ねらい	仙台市地域防災計画に沿って個人の日々の防災や備えを学び、行動することで地域の防災力を高める第一歩とする。また、昨年設立した北六・中江地域防災連絡会と連携し地域のネットワークの核とするためのきっかけ作りとする。		
概要・成果	本年度の活動は避難所開設までの手順習得を重点とし、2 回の運営会議を開催し詳細を固めた上で、避難所運営ゲーム及び北六番丁小学校体育館で避難所開設までの防災訓練を実施した。また、応急手当の学習や自助や共助の重要性を学んだ。これらの活動を通じて、北六と中江の両連合町内会が初めて防災訓練を合同で行えたこと、活動の中から今後の地域を担う人材が出てきたことが成果となった。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
思春期を考える	大人を対象に、臨床心理士から「思春期の子供との関わり方」を学んだ。	12 月 14 日	1	9
福沢子ども情報局	「やるスぺ福沢」企画会で企画した講座。小中学生に市民センターを知ってもらうために、情報局・情報番組を作り、CD 制作に取り組んだ。	3 月 15 日	1	3
F ルームオープンキャンパス	市民センターの利用が少ない中高生を対象に、料理・ダンス・マジックの講座の開講と、大学生との交流部屋を開放し、市民センターに興味・関心をもってもらう機会とした。	8 月 1 日 ～8 月 10 日	11	40
中学生「職場体験学習」	館内外の点検、窓口業務、図書の整理、講座の企画等センター業務を体験。	10 月 22～25 日 11 月 12～14 日	2	9
教科書に載らなかった宮町秘話	元新聞記者から連文術を学び、常磐町の昭和 15 年と平成 24 年の地図や、受講生自身の思い出、取材でわかったことなどをリーフレットにまとめた。完成したリーフレットは、センターまわりで配布した。	4 月 12 日 5 月 24、31 日 6 月 28 日 7 月 26 日 9 月 6 日 10 月 25 日 11 月 17 日	8	30

福沢シニア大学	開講記念の歴史講話に始まり、脳活、川柳、ストレッチ等の実技や館外学習を行った。また、健康講話とシャンソン、サックスのコンサートや邦楽に親しんだ。	4月18日 ～2月20日	10	489
★地域復興プロジェクト 「みんなの願いを絵馬にのせて」	北六番丁小学校3・4年生が、元博物館職員から絵馬についての講義を聞いた後、段ボールで復興絵馬を作った。完成した作品はセンターまつりに展示し、また、東照宮でご祈祷もしていただいた。	6月21日 10月4日 11月17日 12月18日	6	261
中高生の自由空間「Fルーム」運営会議	中学生による「Fルーム」運営がスムーズにできるためのサポートと、中高生が安心して活動できるよう、連携先のみならず、諸団体からの意見交換や情報収集を図った。	6月6、27日 12月22日 3月20日	4	25
福沢懇談会	本年度の事業の説明とセンターに対する意見要望の収集	6月27日	1	17
福沢市民センターまつり	演技、展示、出店の部それぞれに、センター利用サークルや地域住民、近隣の小中学校等の学習成果の場として参加。地域交流の場となった。	11月17日	1	1138
青春サポーターフォローアップ講座	仙台市適応指導センター主事から「今どきの子ども」の現状についての講義を受け、五城中学校では授業参観と中学生と交流しながら給食体験をし、最後に茶話会で講座を受講しての感想を述べ合った。	8月28日 9月5、12日	3	30
ジュニアリーダー「かめ吉」定例会	月1回の定例会を開催し、要請の連絡・確認と、ゲーム、バルーンアート研修、指人形づくり、広報紙づくりと発行を行った。	4月14日 ～3月16日	12	72
「やるスぺ福沢」企画会	中高生による中高生のための講座を企画。中高生が市民センターを身近に感じてもらえるように、センターをPRする方法を考え「CD作成」を計画した。	9月21日 10月14日 11月10日 12月7、22日 3月15、23日	7	38

旭ヶ丘市民センター

〔沿革〕

旭ヶ丘市民センターは、地下鉄南北線建設事業の一環として昭和 60 年 6 月に開館した。地下鉄・バスの利便性が非常に良い立地にあり、また近隣は日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）、スリーエム仙台市科学館、仙台文学館等の学術文化ゾーンとなっている。さらに西側には市民から親しまれている台原森林公園が広がり自然環境にも恵まれている。当市民センターは、年間利用者が 10 万人近いことを踏まえ市内全域を視野に入れ、現代社会における課題に取り組み、地域資源・人材を活用した事業展開を推進し多様なニーズに対応する生涯学習の場を提供するとともに、新たな地域コミュニティの基盤としての役割を担っている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	台原森林公園活用講座		
参加者	成人・小学生親子	延参加者	92 人
開催日	全 4 回 4 月 20 日(土)、6 月 22 日(土)、11 月 20 日(水)、11 月 27 日(水)		
協力者・協力団体	南光台児童館、仙台旭ヶ丘ホテルとメダカの会、旭ヶ丘ホテルサポーター		
ねらい	台原森林公園を活用し、多くの方々に自然を体験する機会を提供し、自然に親しむ活動を通じて地域資源の再発見と自然環境について理解を深める。		
概要・成果	1 回目:春の植物観察と自然散策、2 日目:ホテルの里ナイトツアー、3・4 日目:健康づくりウォーキング。散策やホテル観察、公園活用の一つとしての身近なウォーキング等、台原森林公園の様々な魅力を発信でき、それらを通じて、森を守る活動、地域資源の大切さを知る機会となった。また、センターで養成しているホテルサポーターが講座の支援に加わり、環境保全活動への理解を深める機会ともなった。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
児童館共催事業 本と遊ぼう！おはなし広場	市民センターの利用の少ない子育て中の親子を対象に台原森林公園でのお話会や人形劇を通して幼児期に触れる絵本の大切さを学んだ。	9 月 29 日 11 月 28 日	2	208
元気な旭ヶ丘キッズ 響け！ドンドコ太鼓塾	森林太鼓を地域に根付かせるよう太鼓の輪を広げ、太鼓を通して地域活性化に繋げ、夏祭りや市民センターまつりで披露した。	6 月 29 日 ～10 月 13 日	8	231
インリーダー研修会	子ども会についての知識や活動に必要な技能を学び子ども会の充実と活性化を図った。	2 月 1 日	1	100
日本の伝統芸能「能」を学ぶ	台原中学校 PTA 共催事業会議から企画された事業。未来を担う青少年に、日本人が創り出した芸術文化を身近に感じる機会を提供し、伝統文化への関心を深めた。	10 月 8 日	1	649
職場体験学習受入事業	学生が実際の就業体験を通して社会全般について見聞を広げ、自己の進路や就職について関心を高めるための体験学習	10 月 11 日 ～11 月 7 日	2	5
★音楽の力によるふれあい事業	借り上げ住宅に住む被災者やひとり暮らしの高齢者の方が、音楽に触れることで生きる力や心の潤い明日への活力に繋げてもらうコンサート	6 月 27 日 12 月 21 日	2	299
プロに学ぶ体幹トレーニング&簡単セルフチェック	自分の健康状態を測る手法と簡単な運動と食事方法を学び、生活の中で健康への意識を高める	2 月 14 日	1	30

★旭ヶ丘老壮大学	高齢者が幅広い知識を自主的に学習し、豊かな充実した人生を送るために年間を通して学習の場を提供した。	4月26日 ～3月7日	12	1148
旭ヶ丘わんぱく森 ² がっこ	旭ヶ丘地域の小学生に学年を超えた多彩な遊びと交流の機会を提供し、子どもたちを見守る地域活動の充実につなげた。デイキャンプ・野外炊飯・畑作りなど	6月29日 ～11月30日	6	2335
市民センターがやってくる！	センターまで出向けない人のために地域内にある集会所、老人憩の家などを利用して出前講座を開催した。	6月20日 9月26日 11月13、28日 3月12日	5	157
町人町の旧地名から探る物流について	普段市民センターに足を運ばない世代を対象に興味関心を持ってもらえる「仙台の歴史」について学ぶ機会を提供し世代交流、人づくりの促進、地域活性化に繋がった。	8月4日	1	70
★災害に強いまちづくり企画会議	町内会と共催で、東日本大震災を体験し「問題だったこと」「不安に思ったこと」等を洗い出し、問題・課題克服のための手段を検討し、マニュアル作成に繋がった。	4月6日 ～11月24日	12	73
台原中学校 PTA 共催事業会議	仙台市すこやか子育てプランを踏まえ、学校・PTA・旭ヶ丘・三本松市民センターの四者で青少年が健全に育つ環境づくりに向けて、よりよい事業を展開するための話し合いを持った。	5月24日 9月18日 10月8日 1月30日	4	77
市民企画会議	市民センターに足を運ばない世代が、気軽に集まって講座を企画できるよう日時設定を工夫し、地域のリーダーとなる人材の発掘、活性化を目指した。	4月21日 ～2月23日	15	57
社会学級共催企画会議	旭丘小学校社会学級と共催して事業を企画運営し地域コミュニティの活性化に繋がった。	7月25日 ～2月14日	5	36
★旭ヶ丘地域避難所運営訓練	地域と連携して作成した「旭ヶ丘地域防災管理マニュアル」の検証及び地域の防災意識の高揚、連携強化を目的に役員を対象に訓練を行った。	6月17日	1	42
★旭ヶ丘センターまつり	地域住民の文化活動の啓発と地域文化の発展向上を目指すとともに、利用団体と地域との交流を図った。	10月12、13日	2	3679
★旭ヶ丘地域懇話会	地域課題やニーズ、地域資源、地域情報を懇話会の意見交流を通して収集し、事業に反映することで地域活性化につなげた。	5月31日 11月29日	2	24
ほたるの里サポーター育成講座	台原森林公園にある“ほたるの里”を次世代につなげていくためには担い手が必要となっており、地域の要望に応じてサポーターを育成する講座を実施し、ほたるの里の支援と地域活性化に繋がった。	5月11日 ～3月15日	14	81

三本松市民センター

〔沿革〕

三本松市民センターは、北仙台駅から近く、閑静な住宅街である堤町の中に位置し、西側には野鳥や山野草に恵まれた三本松緑地公園が隣接している。堤町は、現在は窯の火は消えてしまったものの、古くから「堤焼き」と「堤人形」の町として知られた歴史のある地域である。

当市民センターは、昭和 62 年 4 月 1 日、泉ヶ岳を眺望できる高台に建設された。駐車場(40 台)、舞台付で約 50 畳の和室と広い体育館(バスケットボールコート 1 面、バレーボールコート 2 面、卓球台 10 台)があり、地域住民の生涯学習の場として広く利用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	園芸でまち環境コーディネート		
参加者	成人	延参加者	83 人
開催日	全 12 回 5 月 30 日(木)、6 月 5 日(水)、7 月 4 日(木)、8 月 22 日(木)、9 月 4 日(水)、9 月 12 日(木)、10 月 30 日(水)、11 月 28 日(木)、12 月 5 日(木)、12 月 19 日(木)、1 月 29 日(水)、3 月 14 日(金)		
ねらい	三本松緑地の落ち葉を有効活用して堆肥づくりを行い、完成した堆肥を畑に使い野菜づくりを学ぶ。落ち葉堆肥で土づくりをし野菜を育てるという快適な環境への組み合わせ(循環)を作り、落ち葉の有効手段として地域全体への広がりを図る。		
概要・成果	前年度に作った落ち葉堆肥を畑に活用して土づくり・野菜作りを行い、堆肥の効果を確認。収穫した野菜の調理・試食を通して、受講生同士の交流する場となった。住みよい環境を考える機会となり、地域の方々と集めた大量の落ち葉で行う堆肥づくりが継続活動へと発展し、地域活性化につながった。		

〔平成 25 年度 (地区館) 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
子育て支援講座「松っ子悠遊広場の輪を広げよう！」	託児付でおもちゃやダンボールハウス作り等の工作と親子を対象にリトミックと軽体操講座を実施し、子育てサークル「松っ子くらぶ」と子育て中の方達を支援した。	6 月 13、20 日 9 月 19、26 日	4	73
●インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に子ども会活動の知識やレクレーションゲーム等の学習、情報交換等を行なった。	2 月 1 日	1	100
三本松寺子屋	野鳥観察、昆虫採集・標本作り、魚の解剖、オリエンテーリング、料理等の様々な体験と交流の場を提供し、同世代の児童と学習を深めた。	5 月 18 日 7 月 25 日 8 月 8 日 10 月 26 日 11 月 2 日 1 月 11 日	6	116
日本の伝統芸能「能」を学ぶ	台原中学校と連携し、古典芸能である「能」を鑑賞し、日本人が創り出した芸術文化を身近に感じる機会を提供し、伝統文化への関心を深めた。	10 月 8 日	1	649
台原児童館共催事業「手作りお菓子でわくわくバレンタイン」	台原児童館と連携強化を図り、児童の関心が高いお菓子づくり体験で、交流を図り社会性を育んだ。	2 月 8 日	1	10
市民企画講座「美しく生きよう！プロジェクト」	健康をテーマに発酵食品味噌づくり、デコパージュ、正しい発声法とコミュニケーション術、コーヒーの効用と入れ方を学び、交流を図った。	10 月 12、24 日 11 月 1、27 日 3 月 8 日	5	117

●三本松老壮大学	最近の経済状況講話、非常食調理、博物館見学、エンディングノートの書き方、片倉家当主の講話、東日本大震災の語り継ぎなどの学習機会を提供し、見聞を広めながら交流を深めた。	5月8日 ～3月5日	10	397
堤町再発見 伝統七夕づくり編・堤人形 編	七夕づくりを老人会、子ども会、市民センター利用者が協力して行ない、また地域の伝統工芸である堤人形絵付け体験をすることで、地域への愛着が高まり、交流と地域活性化につながった。	7月6、20、27日 8月6日 11月7日	5	164
3×3 バasketボール大会 in 三本松	ストリートBasketボールチーム14チームが参加し、日頃の練習成果を発揮し、白熱した試合を繰り広げ、交流を図った。	11月10日	1	66
三本松ロビーコンサート	ロビーの外の景色を背景に、1回目は弦楽器の演奏、2回目はハンドベルとアイリッシュハーブ演奏を開催し、気軽に集い交流を深める場を提供した。	6月29日 12月1日	2	206
三本松緑地活性化委員会	三本松緑地は、地域の人々に親しまれる機会が少ない為、地域資産として見直す機会を作り、緑地の魅力を広げて地域活性化を目指すための会議を行い、緑地探訪会を実施した。	通年	9	52
台原中学校 PTA 共催事業 企画会議	生徒が豊かな人間性や自己実現を目指すため、台原中学校 50 周年記念事業とタイアップした「能」の講座を企画し、実施した。	5月24日 9月18日 10月8日 1月30日	4	77
図書まつり	図書の魅力を再認識してもらうことを目的に、ターシャ・テューダーの世界でフラワーアレンジ、ぐりとぐらの世界でカステラ作り、赤ずきんの人形劇を実施した。	6月19、20、21、 22、23日 10月20日	6	372
三本松市民センターまつり	市民センター利用サークルと個人、台原中学校、台原中学校のステージ発表と作品展示、骨密度測定、お茶席、食事処、図書リサイクルコーナー等日頃の学習成果発表。	10月20日	1	650
★出前講座 「大型マンション防災講座」	台原地区5棟のマンションの防災力向上の為、東日本大震災を振り返り、杜の都防災力向上認定制度や合意形成、コミュニティづくり等を学んだ。	9月26日 11月4日 1月25日	3	27
地域懇話会	地域団体や住民、利用サークルと市民センター事業や地域課題等について情報交換し課題を共有した。学習課題を把握し事業に反映した。	6月29日 12月13日	2	40
市民企画講座 「ティータイムサロン in 三本松」	地域住民と市民センター利用者が、健康をテーマに事業実施に向けた企画会議を実施した。	5月24日 ～3月8日	10	38

片平市民センター

〔沿革〕

片平市民センターは平成元年、児童館とコミュニティ防災センターを併設して、東北大学農学研究所跡地に開館した。市内中心部に位置し、交通が便利なおことから町内会など地域の団体ばかりでなく、全市的な市民活動の場として盛んに利用されている。

また市民センターが立地する地区は、市街地にありながら広瀬川がつくりだす独特な地形と、仙台城や経ヶ峯の豊かな自然に囲まれたところである。さらには歴史的な資源に恵まれ、大学の研究機関などが隣接する。

こうした地域の資源を活かした生涯学習プログラムの提供や、市民の自主的な活動の支援、併設する児童館との共催事業の提供を通して、地域に貢献している。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★「片平地区マンション防災研修会」(地域の絆づくり推進事業)		
参加者	成人	延参加者	26 名
開催日	全 1 回 3 月 16 日(日)		
協力者・協力団体	片平地区まちづくり会		
ねらい	マンションが多い片平の地域特性を踏まえ、研修会を開催し、マンション住民の防災意識向上を図り、減災につなげる。また戸建ての住民にも参加を募り、情報共有と地域交流の場を提供し、地域全体での防災意識を高め、顔の見える地域づくりを図る。		
概要・成果	前半の「マンション防災対策と地域連携を学ぶ」ではマンションの設備や防災の特性を、後半の「東日本大震災でのマンション対策事例」では実際に被災したマンションの対応事例を学び、総合的にマンション防災への理解を深めた。日頃、マンションの住民と地域との関わりは薄いといわれるが、今回各町内会と地域内の 14 棟のマンションから参加があり、地域が一体となった防災計画づくりを目指す足がかりとなった。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
ハッピーパパ・ママの子育てカフェ	子育て中の乳幼児親子対象におまつり、運動会、父親も参加する写真撮影を学ぶ講座、託児付きでフラワーアレンジメント、万華鏡づくりと交流会、軽運動等を実施。	6 月 24 日 7 月 27 日 9 月 25 日 11 月 7 日 12 月 5 日 1 月 9 日	6	228
かたひらキッズクラブ	併設の児童館や地域内の学校などとの連携により、工作体験やピザ作りなどを通して、仲間づくりや異年齢交流を図り、子どもの健全な育ちを支援。	5 月 31 日 ～2 月 8 日	8	322
インリーダー研修会	子ども会活動の充実をはかるため、次期リーダーとなる 4、5 年生児童と世話人が参加し、子ども会活動の意義を学び、行事プログラムの立て方や、ジュニアリーダーからレクリエーションゲームを学んだ。	1 月 25 日	1	29
高校生企画講座 これから社会に出るために「高校生のための進路セミナー」	高校生企画員が企画した言葉遣いやマナーに関する講話やクイズを通して、高校生に社会に出るための準備をしてもらうとともに、市民センターを含む地域に目を向けてもらうきっかけを作る機会を提供。	3 月 4 日	1	72

定年世代に贈る～片平情報サロン	これからの充実したライフスタイルを送るためにロコモ運動や、エンディングノート、定年後のカジュアルファッションなど毎回内容を変えて単発募集で開催した。	5月30日 7月26日 9月25日 11月22日 1月31日 2月28日	6	80
●広瀬川を散策する	養成したボランティアガイド「広瀬川をゆっくり歩く会」が、歴史や地域特性などを説明しながら案内し、国際センターから片平市民センターまで散策した。	9月21日 10月19日 11月16日	3	65
片平メンズ専科	地域の定年退職世代の男性14人が参加。「どんぶりを極める」をテーマに、中華2種類、和食3種類のどんぶり料理を学んだ。調理をするだけでなく、交流の場も設けて盛り上がった。	11月8日 12月6日 1月10日 2月7日 3月7日	5	62
片平シニア隣経大学	概ね60歳以上の男女を対象に、旅行作家、野草園園長、ファイナンシャルプランナー、口腔科医師などの講話のほか、運動会やコンサート、漫談などのお楽しみ、震災を踏まえた片平地区の防災体制など、多岐にわたる内容で1年間開催した。	5月9日 ～3月13日	11	620
スポーツ吹き矢で“活き息”健康講座	吹き矢の実技体験を経て、最終回には競技会を行ないながら、自主グループ立ち上げに向けて開催した。	10月24日 11月28日 12月26日 1月23日 2月27日	5	93
★クローズアップ片平・映像番組づくり	片平地区を紹介するDVD作成にともなう内容の検討と素材収集。	11月21日 12月5日 3月14日	3	30
片平新春コンサート	当館利用の7合唱サークルが出演。音楽を通じて出演者と地域住民の交流を図り、地域住民にとって市民センターが気軽に集える場所とした。	1月18日	1	230
★かたひら waiwai 広場	地域諸団体、小・中・高校、児童館等と子どもから大人まで楽しく交流できるおまつりを開催した。ステージ発表や展示コーナー、遊びのコーナー、出店、バザーなどを行ない地域が活性化する祭りとして定着してきた。	10月12日	1	1030
かたひらおばけ屋敷	片平地区まちづくり会第2分科会を母体とする「かたひら夏まつり」実行委員会と共催。25年度はお化け屋敷を運営して子どもたちに楽しむ場を提供し、地域の高校生と共に地域に貢献した。	8月24日	1	214
★片平市民センター懇話会	地域内町内会、学校、諸団体による参加者との意見交換を通して情報の共有と地域課題を把握した。	2月22日	1	18
高校生のための企画会	高校生企画員4名とともに企画会議を開催。高校生が社会に踏み出すために必要な課題を自らの視点で模索し、実施に向けて、互いの意見交換や多様な価値観に触れることにより交流を深める機会を提供。	12月26日 1月23日 2月14、28日 3月4日	4	20
かたひらサークル体験会	片平市民センターで活動しているサークルへの体験会の実施。	6月6日 ～11月8日	10	27

水の森市民センター

〔沿革〕

水の森市民センターは、広く市民の憩いの場として親しまれている自然豊かな水の森公園の水の森入口に立地している。管内は昭和 30 年代半ばから宅地開発が進んだ水の森、東勝山、桜ヶ丘、川平等の閑静な住宅地を擁する地域である。

当市民センターは、児童館・温水プール・コミュニティ防災センターを併設する複合施設として平成 2 年 9 月にオープンした。斬新な外観の施設は地域のランドマークとして親しまれ、一年を通して多くの利用者が訪れる。2 階の広いメインホールは、地域住民の情報交換や憩いの場として高齢者から幼児まで常に賑わいをみせている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	★水の森防災学校		
参加者	北仙台地区及び一般募集参加者	延参加者	287 人
開催日	全 3 回 6 月 29 日(土)、8 月 31 日(土)、1 月 25 日(土)		
協力者・協力団体	北仙台地域防災ネットワーク会議、北仙台地区連合町内会		
ねらい	東日本大震災の経験を踏まえ、北仙台地域町内会および各団体、地域住民を対象として、『自分達の地域は自分達で守ろう』をスローガンに、防災や減災に関連した研修会、意見・情報交換を積極的に実施し、安全・安心な地域づくりを目指すと共に、住民相互の共助に対する取り組みを推進する。		
概要・成果	北仙台地域防災ネットワーク会議と連携して、① 基調講話『地域の防災力を高める』と事例発表 ② 演習『指定避難所開設・運営演習』 ③ 講話『避難所運営に関する事前協議と地域版マニュアル作成のポイント』等と意見交換の全 3 回の講座を開催した。町内会役員、防災担当者を中心に延べ 287 人の参加を得た。特に、指定避難所である北仙台中学校を会場に開催した②の指定避難所開設・運営演習では、中学生 41 人を含む約 170 人の参加を得た。指定避難所の開設から運営、閉鎖までの一連の流れを演習体験したことで、避難所運営の具体的なイメージを参加者全体で共有することができた。平成 17 年度から開催している講座であるが、今年度は指定避難所運営を中心に、より深い内容の取り組みとなった。地域住民の共助意識が高まり、地域における防災・減災への活動の支援が図られた。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
子育てママのリフレッシュタイム	市民企画委員会を経て企画した事業。親子で楽しめる 3B 体操。同室託児付事業。	10 月 25 日	1	25
水の森キッズクラブ	①実技「水の森公園歩き隊！」②実技「染め物体験」③交流会「国際理解講座」④実技「星空コンサート&オーロラと月のお話」⑤実技「やさいのおはなし&たのしいクッキング」	5 月 11 日 6 月 22 日 9 月 28 日 10 月 12 日 11 月 30 日	5	125
インリーダー研修会	児童向け：講話「インリーダーとは」と演習「歓送迎会を企画しよう」 世話人向け：講話「子ども会活動について」・情報交換 児童・世話人一緒に：「歓送迎会を企画しよう」の発表・見学、レクリエーションゲームなど	2 月 1 日	1	44

中学生職場体験学習受入	加茂中学校と北仙台中学校の2校。窓口業務と接遇、事業企画・プレゼン等の体験。	10月22日 11月15日	2	7
中学生・高校生企画 「みんなのひろば」	中学生・高校生が3回の企画会議を経て、水の森市民センター地域まつりの中で、ふれあいコーナーとして「みんなのひろば」を実施。	8月8日 9月15日 10月20日 11月9日	4	44
水の森老壮学園	①開講式・講話②介護予防の軽体操③金融トラブル④江戸の食文化⑤運営委員会自主企画⑥音楽療法を活用した健康体操⑦センターまつり演芸発表会⑧映画鑑賞会⑨新春コンサート⑩閉講式・記念講演	4月18日 ～2月20日	10	489
記録に残そう地域の記憶 (複数年計画事業)	地域の人々の記憶を辿り記録に残し語り継ぐための立ち上げの準備会議として、実施予定事業の概要案内、意見交換、資料収集依頼、次年度事業計画など。	12月25日 2月6日 3月22日	3	24
ホットタイムコンサート 2013	地域の社会学級と合同企画・運営のロビーコンサート「津軽三味線」。	10月30日	1	70
★水の森防災学校企画会議	水の森防災学校講座全3回企画実施。今年度の振り返りと次年度事業計画。	5月19日 ～3月9日	7	88
水の森市民センター 地域まつり	地域住民の企画・運営で、地域のコミュニティを多方面から推進した。地域で活動するサークル等の学習成果発表の場。作品展示・舞台発表・児童作品展・出店・主催講座紹介等。	11月9、10日	2	2840
水の森懇話会	①管内の各小中学校地域連携担当者と実施事業や地域行事等について②管内の各種団体代表と「地域活性化に向けた地域施設の役割について」の意見交換③利用団体代表と「利用団体として日頃感じていること」について意見交換	8月2日 9月28日 11月29日	3	57
ジュニアリーダー定例会	当センターを活動拠点とするジュニアリーダーの活動支援。各種情報提供・活動に関する助言・指導。	4月21日 ～3月16日	12	142
ジュニアリーダーと遊ぼう！	子どもたちとの触れ合いを通じて、ジュニアリーダーのスキルアップと活動の場を提供した。	5月25日 ～12月21日	14	465
市民企画委員会	子育て中の母親が幼児のママ目線で講座を企画・実施。	5月14日 7月5、17日	3	5

貝ヶ森市民センター

〔沿革〕

“貝”をモチーフにしたデザインが館内随所に配された貝ヶ森市民センターは、貝ヶ森地区に平成 5 年 4 月、児童館を併設して開館した。閑静な住宅街の中にあって、その瀟洒な建物は、隣接する貝ヶ森中央公園とともに地域のシンボルとして親しまれている。

風光明媚な貝ヶ森地区は自然の風物に富み、さらに高等教育機関や文化施設などに恵まれており、国際交流の盛んな場所でもある。

当市民センターは、可動式の舞台を持つ多目的ホール、会議室、調理台付き小会議室、水屋付き和室等があり、地域住民の学習・スポーツの場として、また、憩いの場として活用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	中学生のハローワーク		
参加者	第一中学校二年生	延参加者	220 人
開催日	9 月 27 日(金)		
協力者・協力団体	仙台第一中学校		
ねらい	様々な社会人による職業紹介を通じて、子どもの勤労観・職業観や自立する力を育み、自分の将来の在り方を考える機会、若い頃から幅広い職業への選択眼を養うための一助とする。		
概要・成果	事前アンケートによりニーズを掴み、オーボエ奏者、TBC アナウンサー、JAXA 職員、和菓子職人、警察官、ゲームクリエイターと、希望に沿った幅広い職業の紹介ができた。仕事への興味・関心を高め、将来に向けての勤労観・職業観の形成への一助となった。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
家庭教育講話	元児童相談所職員を講師として育児不安を抱えている若い母親たちに子育ての楽しさを実感してもらえるような育児講話を行った。	2 月 14 日	1	14
ちびっこまつり	市民センター、児童館のほか 5 つの子育て支援団体が集まり、工作やアスレチック、わらべうたなどのコーナーを担当し親子が楽しめる遊びを展開した。	10 月 4 日	1	83
インリーダー研修会	子どもたちはインリーダーの役割と危険予知プログラムを学び、世話人に対しては、子供会と世話人の役割についての研修を実施した。	2 月 22 日	1	74
わくわくキッズプロジェクト	6 回各回募集で小学生や親子が楽しく参加できる講座を行った。1 回目は仙台高専出前授業による理科実験、2 回目は座禅体験、3 回目はうちわ作り、4 回目は移動天文台ベガ号、5、6 回目は国際交流でフランス、ブラジルの文化を学んだ。	7 月 27 日 8 月 2、9 日 12 月 20 日 2 月 1 日 3 月 1 日	6	118
職場体験学習	第一中学校の 2 年生 4 人が、4 日間体験学習を行った。市民センターの役割など概要を学んだ後、サークルの見学と体験、主催講座の見学、懇話会の議事録のまとめ、講座の企画、窓口で利用者の対応などを体験した。	11 月 12、13、14、15 日	1	16

中高生のための体験講座	プロに学ぶシュークリーム作り、職人に学ぶ和菓子作りをはじめ、浴衣の着付け、茶道など学校では体験できない講座を行った。	5月25日 6月29日 8月6日 10月19日 11月2日	5	36
木工広場	子どもたちがボランティアや地域住民とともに自由に木工作品を作った。	6月22日	2	77
女性のための元気プラス講座	3回連続で開催。1回目は変化していく女性の体を正しく理解する講座、第2回はフェイスマッサージ、3回目は調理実習で体の内側から元気にするメニューを作った。	1月17、24、31日	3	46
緑の地図を作ろう！	市民の企画講座から立ち上がった講座で、4つの市民団体と東北福祉大学地域共創推進室の協力で実施した。貝ヶ森・国見周辺の散策地図を作成し、出来上がった地図は貝ヶ森地区文化祭で発表した。	7月4日 ～12月12日	8	37
貝ヶ森シニア学園	3人の企画員が参加した2回の自主企画講座、宮城県美術館での館外学習、公開講座、ニューススポーツ交流会、館長との懇話会、琴の演奏会、16ミリフィルムの上映会などを行った。	通年	11	474
高齢者のためのパソコン講座	高齢者のパソコン初心者のためにワードの基本操作を学びながら生活に役立つハガキ作りやチラシ作りを行った。iPadを使ったインターネット操作体験もした。	7月17、18、19日	3	59
四季の杜 サロンコンサート	地域サークル中心の「父の日のコンサート」、夜間開催のブラジル音楽、高校生、プロの演奏家、地域サークルが参加した管弦楽コンサート、地域在住のプロの演奏家によるクリスマスコンサート、木管五重奏コンサートを開催。	6月16日 8月31日 10月13日 12月6日 2月5、6日	6	670
豆まき会	伝統行事の豆まきを子育て支援クラブ、児童館、地域ボランティアと一緒に開催。明成高等学校和太鼓の演奏、昔遊び、鬼のまとあてなどのゲームコーナー、豆まき、福まきなどを行った。	2月1日	1	74
★防災情報発信講座	大学の教授やNPO法人防災減災サポートセンター講師の講話を実施した。防災マップやマニュアル作成の動きが出てきた。	6月29日 2月22日	2	36
貝ヶ森地区文化祭	1日目は展示発表とお化け屋敷コーナー、2日目は展示発表・ステージ発表・出店・お茶席。貝ヶ森地区文化祭実行委員会が中心となり、準備・当日の運営・片づけを行った。	11月2、3日	2	2200
地域懇話会	事業参加者を中心に募集を募って懇談をした。また、シニア学園の参加者とも懇談会を実施した。	11月13日 12月18日 3月7日	3	58
いっしょに出はっぺ！おらほの街～学校編～	東北生活文化学園大学では眠りを誘うインテリアについて、東北福祉大学では座禅を体験、仙台高校では校長先生から現在の高校事情について話を聞く機会を提供した。	10月22日 11月7、14日	3	52
市民企画会議「貝ヶ森・国見」講座企画会	地域の魅力を発信するために、企画会を重ね、「いっしょに出はっぺ！おらほの街～学校編～」を企画した。	5月31日 6月11、25日 8月1日 10月17日 11月14日	6	18
図書ボランティア養成講座	3回連続講座。1回目は泉図書館職員を講師に図書ボランティアの基本や魅力的な図書館作りを学んだ。2回目は仙台文学館学芸員の講話で宮沢賢治童話の魅力を学んだ。3回目は仙台在住の詩人による詩の朗読と文学についての講話。	9月4、11、18日	3	42

中山市民センター

〔沿革〕

中山市民センターは、旧中山コミュニティセンターを増改築し、平成 7 年 4 月に児童館を併設して開館した。中山地区の中でも国見ヶ丘地区側に近い閑静な住宅地に位置し、月急山公園に隣接して自然環境に恵まれている。

当市民センターが受け持つ中山・川平地区は、戸建て・集合住宅のほか、近年は大型マンションが増え、新しい町並みを形成している。旧中山街道の長い坂道には、商店が建ち並び、月に一度「街道市」を開催するなど、活気がある。また、近くに「せんだんの杜」、「せんだんの里」等の介護や福祉関係の施設があり、福祉に関する住民意識と学習意欲の高い地域である。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	●花と緑、エコタウンづくり ボランティア育成事業		
参加者	地域住民	延参加者	122 人
開催日	全 12 回 4 月 28 日(日)、5 月 18 日(土)、5 月 26 日(日)、6 月 30 日(日)、7 月 27 日(土)、8 月 25 日(日)、10 月 27 日(日)、11 月 30 日(土)、12 月 15 日(日)1 月 26 日(日)、2 月 23 日(日)、3 月 23 日(日)		
協力者・協力団体	青葉区まちづくり推進課、青葉区中央市民センター、中山中学校、中山西一町内会、中山西二町内会、中山西寿会、中山児童館、仙台市環境都市推進課、仙台生ごみリサイクルネットワーク		
ねらい	中山地区は緑にあふれ心を癒される環境があるが、雑草や落葉が排出されている。地域をあげて周辺の美化を図り、雑草、落葉の有効な活用を図るため、リサイクルして堆肥をつくり、地域の花壇や畑に活用することで、花と緑に満ちた環境のまちづくりを推進する。		
概要・成果	ハーブやバラを用いた花壇や、パッションフルーツでの緑のカーテン作りを行った。落葉堆肥づくりは、堆肥の仕上がり状態もよく、配布状況も好調で、次年度には本格的な展開が期待される。中山中学校や老人クラブや町内会と連携し、環境都市推進課や青葉区からの協力を得て、ひとつのモデルとして実施できた。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
かわだいらお楽しみ劇場	川平地区の未就園児親子のために出前講座を開催し、市民センターを身近に感じてもらうことを目指した。また、地域の要望に応え児童館単独では難しいコンサートや人形劇を開催し参加者同士の交流を図った。	6 月 14 日	1	54
小正月を祝おう！	地域の高齢者から、家庭では行われることの少なくなった伝統行事のひとつ「小正月」を学び体験する機会を提供し、小正月の話を聞き、餅つき、お飾りなどの体験をした。	1 月 11 日	1	30
インリーダー研修会	中山市民センター管轄の中山・川平地区と貝ヶ森市民センター管轄の貝ヶ森・国見地区で 5 年生とその親を対象に子ども会の運営方法や安全に活動する方法を学んだ。	2 月 22 日	1	61
みんな集まれ！わんぱく広場	夏休みなどの長期休暇や土日に小学生や親子が気軽に参加できる体験型の事業を行った。ジュニアリーダーが小学生に工作等を教えたり、犬とふれあい、やさしさや協調性、命の大切さを学んだ。	7 月 13 日 10 月 16、26 日 12 月 7 日	4	357

昔あそびを楽しもう	中山小学校 1 年生が、地域の方や父兄と一緒に昔あそびを体験した。子どもたちは、地域の方と遊ぶことで楽しみながら遊びのルールを学び、地域の方は、幼少時代を思い出したり、子供たちから元気をもらったりした。	12 月 6 日	1	113
職場体験学習	中学生に市民センターの業務を体験してもらい、望ましい勤労観・職業観などを学ぶ一助としてもらった。また、市民センターに対する中学生の意見要望などを探る機会とした。	7 月～10 月	4	10
暮らしに役立つエコ家事と簡単 DIY	環境や人に優しい自然素材の使い方や、DIY の基本と作品作りを通し、暮らしに役立つ知恵や技を身につけた。また女性同士が交流を深め、地域で仲間づくりを図った。	10 月～11 月	5	49
市民企画講座 「あったらいいな！をカタチにしよう」	ビーズアクセサリ作り、センターまつりでのブース運営と手づくり品販売、生活に生かせる色の話、お弁当づくりのアイデアと情報交換などを実施した。	9 月 11、28 日 10 月 19、25 日	4	55
らくらく元気アップ講座	心身ともに健康で年齢を重ねるヒントを健康講話、運動で学び、また脳トレにつながるようパソコンの使い方を学んだ。さらに認知症の理解と予防について学んだ。	6 月 25 日 7 月 3、10、25 日 11 月 3、4 日	6	105
中山銀鈴倶楽部	地域に住む高齢者対象に、健康を維持しながら生きがいづくり・社会参加への促進・豊齢力アップにつながる講座を提供した。また、高齢者同士の交流と生涯学習機会の充実を図った。	5 月 9 日 ～2 月 14 日	9	337
★これからの防災対応を学ぶ	東日本大震災の経験を踏まえて、避難所の見直しと運営や避難所運営の在り方について地域住民と共に話し合い、連携を強固にした。最新の救命法について中学生、住民がともに学んだ。	5 月～10 月	2	34
★中山市民センター・児童館まつり	市民センター利用団体・地域住民・地域諸団体の活動報告や日頃の学習成果などの発表、および授産施設等の製品販売など。	9 月 28 日	1	1500
★中山市民センター懇話会	個性ある地域づくり計画に基づき、市民センターの運営の在り方、実施事業に対する町内会等地域団体、市民センター利用サークル、福祉関係機関、老人クラブ、子育て支援関係団体、機関等と意見交換を行い、地域に根差した市民センターの事業計画づくりに反映。	4 月～12 月	3	48
★おかのまちふれあいコンサート	文化的事業、特に音楽に触れる機会を望む地域の声に応え、地元の音楽家とゲスト「クローバーの会」による幅広いジャンルの音楽を提供した。	11 月 16 日	1	130
SKY 定例会 (ジュニアリーダー)	ジュニアリーダーが、多くの要請に対応するため、毎月の定例会を通して、心得、ゲーム等の自主研修を行いスキルアップを図った。また、学校学年を超えた仲間同士の交流を深めた。	4 月 14 日 ～3 月 30 日	12	170
市 民 企 画 会 議 「あったらいいな！をカタチにしよう」を企画しよう	女性が自らの知識や特技、人生経験を生かし、アイデアを出し合いながら、主に女性たちのリフレッシュと地域住民同士の交流を図ることができる講座を企画した。	4 月 24 日 ～11 月 19 日	12	49

折立市民センター

〔沿革〕

折立市民センターは、平成7年5月30日に市内50番目の市民センターとして、折立児童館・コミュニティ防災センターを併設して開館した。

当市民センターは仙台市中心部から西方約5kmの地点に位置している。東側には青葉山丘陵、南側には里山蕃山があり、北側には広瀬川が流れ、西側にはその広瀬川によって形成された河岸段丘が開けており、遠くには奥羽山系を眺望できるという自然環境に恵まれた場所に立地している。

施設には可動式のステージが備わった多目的ホール、照明付の舞台を備えた49畳の和室、調理用機器を完備した会議室兼調理実習室等があり、地域住民の生涯学習・スポーツ・コミュニティづくりの場として、広く利用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	折立 風のメロディーコンサート		
参加者	地域住民	延参加者	142人
開催日	全1回 7月27日(土)		
協力者・協力団体	「折立 風のメロディーコンサート」実行委員会		
ねらい	市民センターを拠点に活動している音楽サークルの発表の場として、また地域住民が気軽に音楽を楽しみながら交流できる場として開催し、地域のコンサートとしての定着、地域の芸術文化活動の促進を図り、地域コミュニティの活性化へとつなげる。		
概要・成果	企画・運営・準備・出演・撤収作業まで、すべて実行委員会が積極的に関わり開催され、今回で5回目となった。時節にテーマを合わせるなど、実行委員による工夫でコンサートには毎回変化があり、毎年楽しみにしている地域住民も多く、地域のコンサートとして定着してきている。出演者も来場者も楽しむことができ、また普段来館しない住民も来館する機会となっており、音楽を通して交流が進んできている。		

〔平成25年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子たいけん隊	小学生の親子を対象に、大梅寺や蕃山での自然観察会、化石の森での化石や鉱物の発掘、簡単なデザートとスープのクッキング、科学を中心とした理科実験の計4回の講座を実施し、体験学習を通して親子のコミュニケーションを深める場を作った。野外講座では地域の魅力を知る機会になった。	10月5日 11月1日 12月7日 1月11日	4	63
ジュニアリーダーと遊ぼう	ジュニアリーダーとレクリエーションゲームを行い、異年齢集団における遊びや集団遊びの、遊び方や楽しさを子どもたちが体験し学ぶ機会を提供した。	7月30日	1	20
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、来年度の子ども会のリーダーとなる児童および世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーションゲーム等を学習する機会を提供した。	2月8日	1	22
★防災教室～僕たち私たちの力～	高齢化が進む地域の防災力を向上させるために、消防署職員の指導のもと、中学生が普通急救命やAED、消防訓練等の講習を受け、災害時におけるボランティア活動に対する意識の向上を図った。又地域の諸団体と連携することにより地域の災害対応力向上を目指した。	11月14日	1	132

折立スケッチ散歩	折立の名所旧跡や町並みの風景を題材にスケッチすることで地域についての学びを深め、自分たちの住む町の良さを再発見した。また、受講生の作品を市民センターまつりで展示し、地域の魅力を広く住民へ紹介した。	5月22、29日 6月5、26日 10月2、23日 11月6日	7	92
折立出前講座	地域の集会所へ出向いて講座を開催し、気軽に参加できる学習の機会の提供及び市民センターの事業紹介を行った。	12月5日	1	19
折立老壮大学	高齢者が地域との関わり合いを持ち、心豊かに健康で生きがいのある生活を送るために、仲間と共に学習し、教養を高める機会を提供した。	5月16日 ～2月20日	10	383
★災害に強いまちを目指して	「家庭で取り組める具体的な減災対策」をテーマに、青葉消防署片平出張所所長に講話をいただいた。実用的な防災グッズや日用品の活用方法などを学ぶことで、地域住民の防災意識をより一層高めた。	10月11日	1	23
折立ふれあいまつり	地域で活動している個人や団体、地域の教育施設、市民センター利用のサークルなどが中心となり、日頃の練習の成果や作品の発表を行った。また、実行委員と市民センターが協働で開催し、地域の絆をより深め融和と活性化を図った。	10月26日	1	1472
★懇話会意見交換会	地域住民で意見交換をすることで地域課題の解決や地域づくりの方向性を探るとともに、市民センターへの理解を深めてもらった。	5月29日 2月18日	2	26
秋の折立地域交流会	地域に求められている高齢者と若い世代の交流を図るため、地域交流会を行った。市民センターの持つコーディネート機能を生かして、老人クラブ連合会及び折立社会福祉協議会と連携し、町内会や地域の諸団体へ幅広く参加を呼びかけた。住民のコミュニケーションを深め、地域の活性化を図った。	10月18日	1	200
市民企画講座 「地域を元気に！」	外出機会が少なく引きこもりがちな住民が気軽に参加し、新たな交流の輪を広げ地域が元気になるきっかけを提供した。復興ひな姫作り、お手玉作り、小物入れ作り、味噌作り、キムチ作り、コーヒーの入れ方&交流会を実施した。	9月18、25日 10月9日 11月27日 12月18日 1月15日	6	81
昔遊び伝承事業 昔遊びボランティア養成講座	日本の昔の遊びを伝えるボランティアを養成し、大人から子どもへ昔あそびの楽しさを伝承する中で世代間の交流を図った。伝承事業には高齢者を中心とした地域の大人が参画し、次代を担う子どもたちの健やかな育ちを支援した。	9月12日 ～3月6日	10	87
市民企画会議「地域を元気に！」	折立地区懇話会意見交換会で、市民センターの認知度が低いことが指摘された。そこで、これまで市民センターを使用していない地域住民が、市民センターに興味を持ち、気軽に参加し、生涯学習へのきっかけとなる講座を企画した。	5月15日 6月19、28日 7月10日 11月8日 1月15日	6	6
ボランティア情報紙 「わ・和・輪」を作ろう！	効果的な広報紙作りの基本を学び、地域活動やサークル活動の広報に役立ててもらい、実践として折立地域のボランティア活動をまとめた「ボランティア情報紙わ・和・輪」を作成し、地域発信の情報紙づくりを学んだ。	6月5日 ～11月20日	11	45
折立サークル体験会	市民センターや地域で活動しているサークル団体の活動を見学・体験できる機会を設け、サークルの活動紹介と新規会員獲得の機会を提供した。	7月2日 ～7月30日	10	21

木町通市民センター

〔沿革〕

木町通市民センターは、木町通小学校の改築に伴い、平成16年4月に小学校と児童館、コミュニティ防災センターとの複合施設として開館した。市民センター施設は、5・6階に位置し全館バリアフリー対応になっている。また、屋上緑化を施し、一部は児童館の庭園として利用している。

木町通地区は市の中心部に位置し、官公庁・学校・病院・商業施設・マンションが建ち並び、従来からの一戸建ての住宅はほとんど見られなくなった。この地域では若い単身世帯や乳幼児の子育て世代の20代が多く、30代、40代、50代、60代と続く人口構成となっている。

当市民センターはこうした環境の下、複合施設の利点を生かし、地域との連携を図りながら講座を通して学びの場を提供することを目指している。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	きまち銀杏クラブ(教養コース)		
参加者	概ね55歳以上の高齢者	延参加者	314人
開催日	全9回 6月20日(木)、7月18日(木)、8月1日(木)、8月29日(木)、9月19日(木)、10月17日(木)、11月7日(木)、12月19日(木)、1月16日(木)		
協力者・協力団体	仙台文学館、仙台市博物館		
ねらい	教養を高め見聞を広めたいという高齢者の意欲に応え、親しみが持てる文学や歴史等について学習促進を図りながら、受講生同士の交流を深め、生きがいのある生活づくりへとつなげる。		
概要・成果	老壮大学以外でも参加しやすい高齢者向けの講座の充実のため、初めての試みとして実施した。高齢者に人気のある文学および歴史シリーズの講座を設け開催した。学習意欲が生きがいのある生活を送ることの一助となり、参加者同士の交流の幅が広がった。		

〔平成25年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
スマイルママとキッズのサロン	幼児親子を対象に子育て支援サークルのコンサートやベビーマッサージ、美術館利用の提案、託児付で夏野菜を使った調理実習などを開催した。	6月26日 8月28日 11月27日 2月5日 3月14日	5	196
きまちたんけん隊	親子でメディアテーク、宮城警察本部、宮城県庁、国土交通省東北地方整備局、大崎八幡宮、龍寶寺等への施設見学会を実施し、参加者同士親子の交流を図った。	7月6日 8月2日 9月7日 10月5日	4	78
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会リーダーとなる児童・世話人を対象に研修会を実施。児童には活動運営プログラムづくりやレクリエーションゲーム。世話人には「子ども会活動について」の講話、情報交換等を行い交流を図った。	1月25日	1	29
木町通小学校PTA花火まつり	誰もが気軽に参加できるコーナーを担当。今年度は「コイン落とし」ゲームを開催。	9月20日	1	178

木町っ子に学ぼう！伝統文化「茶道でお・も・て・な・し」	クラブ活動で茶道を学んでいる木町通小学校の児童が作法や学んだ成果を地域の方や保護者等に発表。「おもてなしの心」と「伝統文化」を見直す機会を提供。	12月8日	1	38
育メンパパの読み聞かせ講座	育児に参加するための入り口として絵本の読み聞かせを学んだ。	10月26日 11月9、16、23日	4	16
魅力再発見！木町通で道知るべ	八幡町・柏木周辺の歴史・自然等を散策し、城下町仙台の名残ある北西の街歩き楽しさ、魅力を再発見する学習の機会を提供。	8月22日 9月5、26日	3	42
★木町通老壮大学	地域の高齢者を対象に様々な内容について学習する機会を提供。地域にある放送局や携帯電話会社などの館外学習を実施し、参加者同士の交流を図った。	5月13日 ～2月19日	10	405
★木町通小学校社会学級連携事業～木町通ふれあい交流会	地域在住の方から慰問活動を通して見たり聞いたりした被災地の状況や生活等の実情を聞き、手作りエコバックづくりで交流を図った。	12月5日	1	26
★きまちハートふる絆づくり	気軽に参加できるミニ七夕飾りづくり、ちらし寿司づくり、コンサート（アカペラ/クラシック）などを開催し、地域生活者となった被災者と地域の方々との交流を図った。	6月15、22、29日 9月28日 11月30日 12月14日 1月18日	7	506
★●大震災の経験から学ぶ～避難所運営地域コミュニティづくり	近郊地区の取組み事例紹介や個人情報の運用、避難所運営マニュアルの見直しなどについて学習。また、実践研修である「HUG研修」を実施し、避難所運営あり方、地域コミュニティの必然性についての理解を深めた。	10月8、24日 11月6、27日	4	108
学校を知ろう！学校へ行ってみよう！	学校の概要、学校教育への取組み等についての講話。校内施設見学、低学年児童との給食交流会を行い、学校への理解を深め、異世代交流を図った。	11月26日	1	12
木町通小学校社会学級連携事業企画会議	地域活性・被災者支援等に繋がる事業について話し合い「木町通ふれあい交流会」を企画立案し実施した。	6月18日 7月2日 11月8、22日 12月5日	5	20
★木町通市民センター・児童館まつり	市民センターを利用しているサークルや地域の小・中学生の学習成果発表と地域交流の場を提供。ステージ発表、作品展示、出店、児童館まつりを実施。	10月19日	1	923
★木町通市民センター運営懇話会	センターの事業・運営全般に対する、ご意見・要望・地域課題等聞き、意見交換会を実施。	5月23日 10月31日 2月27日	3	19
★ガイドボランティア養成講座「きまち道先案内人」	ボランティアとしての心構えや声の出し方伝え方・自主学習の仕方など学習し、地域資源等を伝えるボランティアを養成。	6月27日 7月4、11、25日	4	13
市民企画会議「きずな・学び・ちいき」	「木町通」地域の活性化について企画会議を行った。	1月	2	5

広瀬市民センター

〔沿革〕

広瀬市民センターは、広瀬川の中流域に位置し、周辺にはサイカチ沼や月山池、蕃山などの豊かな自然と、子愛観音をはじめとする数多くの旧跡が残る。また、近年は住宅の造成や商業地域の開発が進み、人口が著しく増加している地域である。

当市民センターの歴史は古く、昭和 24 年大沢・広瀬両村に村立公民館が建設されたことに始まる。昭和 62 年仙台市との合併により仙台市宮城公民館となり、条例改正により仙台宮城市民センターと改称、平成 3 年 6 月に名称を広瀬市民センターと改めて現在の庁舎に移転した。

施設は広瀬文化センター・広瀬図書館との複合施設で、地域住民の交流と生涯学習活動の拠点として広く親しまれ利用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	わくわく子ども体験講座		
参加者	小学生	延参加者	48 人
開催日	全 2 回 8 月 24 日(土)、10 月 6 日(日)		
協力者・協力団体	子どもあそびサポーター、ひろせの底力、錦ヶ丘河川愛護会		
ねらい	地域の子どもたちが、地域の大人から愛子の自然を活用した遊びやものづくりを学び、普段の生活ではできない体験をすることで、自分たちの地域に残る自然や文化を知る機会とする。また、学校とは異なる環境での体験を通して、異世代間交流を図る。		
概要・成果	地域の大人と、サイカチ川での川遊びやサイカチ沼周辺の野山歩きにより、遊びを通して自然に触れ、五感を使って地域の自然や文化を広く学ぶ機会となった。教室とは違う自然の中で楽しく遊ぶことで、子どもたちに自然を大切に思う気持ちや、地域への愛着を育てる良いきっかけとなった。また、地域の大人たちとの交流もでき、異世代間の顔の見える関係ができた。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子のぼかぼか広場	0 歳児からの、絵本、紙芝居、大型絵本、パネルシアターを使用しての読み聞かせとハーブ演奏。	12 月 23 日	1	36
地域が伝える「平和学習」	愛子小学校 6 年生を対象に実施。戦争を体験された地域の方から戦時下の様子、生活の苦しさを話して頂いた。	6 月 24 日 11 月 19 日 12 月 3 日	3	386
ジュニアリーダー「くまっこ」と遊ぼう！	高校 3 年生のジュニアリーダーを中心に事業の計画から準備まで上手に進め、今年は参加したジュニアリーダーが多く、各コーナー（おぼけ屋敷、工作、モグラたたき）の対応がスムーズにいった。	7 月 21 日	1	154
●仙台市子ども会インリーダー研修会	児童向け研修では、自分達で行事のプログラムをスムーズに話し合っていた。世話人向け研修では、世話人同士で情報交換の場として非常に有効に活用していた。ジュニアリーダーも大変頑張ってくれて世話人と児童みんなが楽しそうにゲームに参加していた。	2 月 22 日	1	54

みんなで学ぼう！「ひろせ塾」	男性も関心がありそうな写真撮影の基本や天体望遠鏡を製作して星空観測、陶芸など開催し、完成した陶器でお茶を飲みながら交流会を実施した。	5月26日 8月9日 9月28日 10月20日 11月11、30日	6	96
老壮大学「若返り教室」	受講生たちは、音楽鑑賞、歴史、税、館外学習（天文台）、折り紙、体操など様々な分野を学んだ。	5月23日 ～3月6日	9	456
「愛子の田植踊」を踊ろう～次世代へつなぐ広瀬の伝統～	後継者不足に悩む地域の伝承芸能「愛子の田植え踊り」を伝承していく人材と場を確保するために田植踊保存会、社会学級と伝承のしくみの土台作りを行った。愛子小学校で体験会、練習会、地区まつり、学習フェアでの発表。	7月10日 ～3月15日	13	480
●「関山街道フォーラム」土の道、鉄の道	関山街道フォーラム協議会と共催し、関山街道沿線の探訪会、仙山線の魅力を語る会、仙山線の踏切、沿線の史跡を探り記録誌づくりなどを行った。	4月14日 ～3月19日	33	725
ひろせサマーナイトコンサート 2013	今年は新しい出演団体があり、内容も様々なジャンルで来場者は飽きることなく音楽を楽しめた。出店も町内会だけではなくサークルの出店もあった。	8月3日	1	1050
第25回広瀬市民センターまつり	例年「宮城地区まつり」と同日開催（日曜日）で実施していたが、今年は市民センターのみの単独開催になった。参加したサークル同士の交流が上手くいったお祭になった。	10月26、27日	2	778
ひびけ大合唱！「ひろせの歌声」	今年で9回目になるこの講座は昨年以上に参加者が増え、合唱の練習を重ねるごとに交流が深まった。「ふるさとは今もかわらず」他3曲を歌った。	1月18日 2月1、8、15日	4	181
平成26年度生涯学習活動発表会「ひろせ学習フェア」	リハーサルは実施したが、大雪のため本番を中止した。	2月15日	1	0
ひろせ懇談会	市民センター、文化センター事業について、管内小学校、児童館、町内会から意見を聞き、事業運営に反映させた。また地域団体と情報交換しながらネットワークづくりに向けて懇談した。	7月9日	1	7
ひろせグローバルフェスタ	地域で外国の人や文化に触れることを目指す。外国人が出身国を紹介し、来場者はあいさつやスタンプラリーでそれぞれの国に親しみ、触れ合いを楽しんだ。	6月30日	1	310
広瀬図書館共催事業 ひろせ寄席	東京からプロの噺家を招き、古典落語とアンデルセン物語を落語にしたお話を聞いた。	7月14日	1	70
●地域の絆づくり推進事業	絆づくり田んぼアートとしてむすび丸を田んぼに描いた。「カッパダ川」のCDが完成した。	4月24日 ～2月27日	15	510
子どもあそびサポーター養成講座	地域内で子どもの野外活動の手助けをするサポーターの養成を行った。子どもとの接し方や安全についての講話、事業の打合せ、実際の事業での実践など。	7月27日 ～10月6日	5	23
ジュニアリーダー「くまっこ」定例会	要請の確認とゲーム研修等。	通年	13	139
市民企画会議 国際交流講座を企画する	地域で国際交流を楽しむイベントを考える企画会を実施。	4月23日 5月23日 6月6、11、20、27、29、30日	8	6

宮城西市民センター

〔沿革〕

宮城西市民センターは、昭和 51 年 4 月に宮城町西部地区公民館として開館した。その後、昭和 62 年 11 月 1 日宮城町が仙台市と合併して仙台市宮城西公民館となり、平成 2 年 4 月 1 日から仙台市宮城西市民センターと改称した。その後、施設の老朽化に伴い平成 22 年 8 月から一時休館して改築工事を行い、平成 24 年 7 月に新たに開館した。

当市民センターは、宮城地区西部の自然環境に恵まれた緑豊かな山間地に位置している。近年過疎化が進み、少子・高齢化の現状にあるが、地域の活性化を図るため町内会・老人クラブ等の各種団体と連携を密にして社会情勢の変化に伴う学習要望に応え、地域住民と共に歩む生涯学習を推進している。また、地域住民の自主活動の場、交流の場として広く利用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	自然体験教室		
参加者	成人 20 人	延参加者	96 人
開催日	全 5 回 5 月 17 日(金)、5 月 31 日(金)、7 月 20 日(土)、10 月 5 日(土)、11 月 2 日(土)		
協力者・協力団体	大倉ふるさとセンター		
ねらい	豊かな自然に恵まれた宮城西地区の地域資源の魅力をまるごと自然体験学習する。また、自然を楽しむためにアクシデントへの対処方法なども学ぶ。		
概要・成果	講座内容は①大倉山を歩く、②泉ヶ岳氾濫の不思議、③里山にまつわるよもやま話、④白沢五山歩き、⑤ふるさと緑の道 練田峠を歩く、となった。西部地区の里山を良く知る参加者だったが、見慣れた里山を歩きなれたこと、それを楽しむことができたこと、また、②のように里山とは違う山の厳しさも学ぶことができ、改めて自然を理解し、楽しむための心構えを学ぶことができた。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子ふれあい教室	広瀬文化センターのバックヤードツアー、作並こけしの絵付け体験	8 月～9 月	2	24
インリーダー研修会	子ども会リーダーの児童及び世話人を対象に、研修を通し子供会活動の活性化を支援	2 月	1	23
女性教養講座	講話（緑茶の楽しみ方、重曹とクエン酸の活用）実技（軽体操、正月飾りを作る、手芸）	6 月～2 月	5	117
出前講座	交通の不便な地域へ出向き、健康講座レク体操、季節の料理、手芸などで交流を深めた。	7 月～2 月	9	182
楽しみながら筋力アップ「フラダンスを踊ってみませんか」	ロコモティブ症候群予防のため足腰をフラダンスで鍛え、介護予防を目指した。また参加者同士の交流を図った。サークル立ち上げ。	5 月～6 月	4	75
宮城西探訪の旅	宮城西地区の古道を実際に歩きその魅力と地域資源を学んだ（捻子道、新川岩谷道、定義、神掛川、熊ヶ根周辺）。	5 月～11 月	5	57

郷土料理を作ってみっぺ	当市民センター主催講座を通じて西部地区の郷土料理を作り合う学習を重ねている地域住民を教え手に季節の郷土料理を伝承しながら地域コミュニケーションづくりを図った(夏・秋・冬)。	7月～1月	3	58
老壮学級	高齢者の交通安全、健康講話と実技、歴史講話、移動学習、絵手紙体験、クリスマスコンサート、閉講式	6月～1月	8	391
パソコンを楽しもう教室	ノートパソコンを持参してもらい、自分のパソコンを使い暑中見舞いを作成。パソコンについての質疑応答。サークル立ち上げ。	7月	4	47
★地域交流研修会	講話「3.11の課題そしてこれからの避難所運営マニュアル」と題して研修会を行った。また立場を超えて、西部地区住民という共通認識のもとで情報及び意見の交換を行った。	3月	1	76
●地域の絆事業 ふるさと食だより	西部地区の「食」について聞き取り調査。前年度に実習した料理のレシピを見やすくまとめ編集。	5月～3月	23	192
宮城西市民まつり	地域住民が一堂に会し演芸やバザー、作品展示など住民自らで、手づくりのおまつりを展開	11月	1	1857
宮城西地域懇談会	上愛子小学区団体や地域団体などで地域のコミュニティづくり、市民センターにのぞむこと、情報交換などが話し合われた。	8月～3月	4	194
ふるさと映画鑑賞会	映画を鑑賞した (午前は子ども用、午後は大人用)	8月～1月	2	68
西部地区が輝くプロジェクト	新川の田植踊りを学ぶ、小倉神社大祭、だんごさし、宮城西部地区の写真展(年中行事・伝承芸能・風景など)	8月～3月	13	312
●創作和太鼓「西部広陵太鼓」	西部広陵太鼓の指導者練習会	8月～3月	32	452
仙台・作並回文かるた大会・回文教室	回文教室、回文クイズ、回文かるた大会、回文鍋の試食	1月	1	34
おらは自慢	郷土料理の実習と寒麴料理の研修	4月～3月	5	84

大沢市民センター

〔沿革〕

大沢市民センターは、平成2年5月、青葉区の西北部、田園地帯や緑多い丘陵地帯など豊かな自然環境の中に、児童館・コミュニティ防災センターを併設して開館した。

古い史跡が点在する歴史ある地域としても知られ、古くからの村落と成熟化が進行する団地、開発が進む新興団地が混在する中、若い世帯の増加が著しく更に発展が見込まれる。こうした地域状況を背景に市民センターとしての機能を活かし、地域住民の活動・交流の拠点として、社会変化に伴う市民のニーズに対応する生涯学習事業を展開している。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	スポーツで地域交流「大沢・川前グラウンドゴルフ交流会」		
参加者	地域住民	延参加者	49人
開催日	全1回 9月8日(日)		
協力者・協力団体	川前学区民体育振興会、大沢学区民体育振興会、大沢小学区連合町内会、川前地区連合町内会		
ねらい	大沢地区と川前地区の両住民がスポーツ行事に参加する機会をとおして、相互の親睦と交流を図る。また、地域の出会いの場、情報交換の場として、これからの地域づくりを考えることに役立てる一歩とする。		
概要・成果	幅広い年代の方が両地域混合のグループを組みグラウンドゴルフのプレーをし、親睦と交流を深めた。また、地域間のコミュニケーション作りが促されるよう、地域・年代・男女のグループ編成に配慮した。雨で小学校の校庭が使用できず体育館での開催となったが、広くない体育館で行ったことで、より会話が弾みコミュニケーション作りが図られた。両地区の体育振興会・町内会と共催・連携することで、事業運営がスムーズに運んだ。		

〔平成25年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
「ウキウキたんけんマップ」で遊びに行こう	昨年度作成した子育てマップを地域の親子に紹介し、遊びをとおして、ママたちの情報交換の場と子どもの遊び場の拡充を図り、地域の魅力を再発見。また、それぞれの児童館と連携し、親子遊びを提供。	9月5、12、13日	3	80
●インリーダー研修会	子ども会活動の充実化を図るため、子ども会のリーダーとなる児童と世話人が、子ども会活動の運営方法について学ぶ。（大雪で中止）	2月15日	1	0
地域資源活用講座 「大沢こども体験教室」～里山探検蒲沢山の自然	子ども達が、大沢の地域資源「蒲沢山」に生息する動植物の観察や環境保全活動について学び、自然の循環と環境について理解と関心を深めた。自然を活用した遊びの習得と自然を身近に感じた暮らし方を知った。	7月24日・31日	2	33
大沢地域出前講座	市民センターから遠く集会所の存在などにより、市民センターを利用する人が少ない地域で、町内会長や社会福祉協議会等と話し合い検討。出前講座を開催。	12月12日 1月12、19日	3	138
大沢農学校～無農薬有機栽培で野菜を作ろう～	無農薬有機栽培で土作りから収穫までを講話と実践で学び、安全安心な食生活の原点を学習。コンパニオンプランツ農法を取り入れ、収穫した野菜で地元講師より行事食の調理実習とならわしを学習。	4月27日 ～12月14日	15	185

地域の自然発見 「大沢を取り巻く山の風景」	大沢地区の山々の環境整備をしている地域のボランティア団体の案内で、春の山々の植生観察をしながら、自然環境を学び、環境保全活動の取組みを理解し、地域財産である自然を愛する心を育成。	5月24、31日 6月14、28日	4	69
地域の達人に学ぶ	地域の隠れた物作りの達人を見出し、団塊の世代の市民に、生きがいと活力ある社会参加を促し、仲間作りへと繋げた。わら細工や革細工、木工クラフト陶芸などを学習。	12月20日 1月10、24日 2月7、21日	5	64
大沢健康講座 「心ほぐし術を学ぶ」～プラス思考で暮らそう！	仕事や家事育児の忙しさに加え、人間関係にも気を遣いながら暮らす現代人の心と身体のトラブルの克服法や改善方法を知り、健康で生き生きと生活する力を養う一助としてもらった。	12月7日	1	44
●老壮大学「大沢朗々学園」	地域の高齢者が積極的で生きがいのある暮らしを送ることができるよう音楽・文学・防災・健康などを学習し交流を深めた。	5月1日 6月20日 7月25日 9月19日 11月21日 12月7日 1月17日 2月13日	8	288
地域の絆づくり推進事業 「大沢地区地域防災安心ネット」	地域の学校や町内会他各関係機関と団体が、災害発生時に情報を共有し、被害を最小限に防ぐ方法を考える防災体制の整備実現を目指した。また、中学校との連携を深め、地域防災体制の充実を図った。	5月18日 6月15、29日 7月27日 9月14日 10月4日 11月2、30日	8	268
大沢市民まつり	大沢地区の地域住民が集まるまつりを開催し、相互の親睦と交流をはかり、活力あるまちづくりに役立てた。様々な生涯学習活動をしている人達に学習成果を発表する場を提供し、生涯学習活動への理解を深めた。	10月19、20日	2	2203
大沢地域懇談会	市民センターの事業内容及び運営に対する意見交換や地域情報収集の場として、町内会や学校・諸団体に声掛けし参加を募り、意見や提案事項を次年度の事業に活かすと共に、地域団体との友好関係構築に役立てた。	7月12日 11月1日	2	29
★市民企画講座 大沢・川前 あがれ！天旗	地域交流のパイプを太くし、活気ある地域作りへとつなげる第1歩として、地域の田んぼを活用し、子どもから大人まで楽しめる凧作りと凧揚げ交流会を通して地域住民の親睦を図る一助とした。	1月11、18日	2	109
童謡コンサート	童謡のコンサートを開催し、日々育児に追われる子育て世代に安らぎと仲間づくりの場を提供し、会場での幅広い世代間交流を通して、子育てを地域全体で支える機会とした。	8月21日	1	146
うたごえ喫茶 in 大沢～甦る青春時代～	地域住民が気軽に集い、交流を深める場として音楽を提供。大人のコミュニティづくりを目指した。	3月8日	1	79
「昔遊び」ボランティア養成講座	地域の高齢者が、大沢小学校の児童と昔遊びを通して、世代間交流を図った。自己の知識を生かし運営ボランティアとして活躍する場を設け地域活性化につなげた。	8月23日 9月20日 11月8、15、22日	6	88
市民企画会議「大沢＆川前・地域交流ネット」	川前地区住民は大沢市民センター来館や利用が減少傾向にあり、大沢・川前両地区から企画員を募り、両地区の交流継続はもとより、交流のパイプを益々太くし協力して活気ある地域づくりを実現する方法を共に考え取組んだ。	6月5日 ～1月18日	14	132

落合市民センター

〔沿革〕

平成6年に開館した落合市民センターは、広瀬川、齊勝川、蕃山などの自然環境と、仙山線（陸前落合駅）、国道48号線仙台西バイパス、作並街道という交通環境に恵まれた地域にある。また、宮城県立こども病院をはじめとする医療機関、栗生小学校、宮城県宮城広瀬高等学校などの教育機関、宮城消防署などの公共施設、更には大型商業施設も整備され、人口が増加している地域でもある。

こうした地域環境の中で、当市民センターは開館以来、施設利用および生涯学習講座等を通じて、地域コミュニケーション活性化、まちづくり推進の拠点として広く地域住民の方々から愛され、利用されている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	落合栗生ふれあい工房		
参加者	成人	延参加者	47人
開催日	全5回 9月20日(金)・27日(金)、10月4日(金)・11日(金)・20日(金)		
協力者・協力団体	デイサービスあすか		
ねらい	周辺地域には社会福祉施設などが多いが、訪問・慰問に来てくれる人がいないとの状況がある。そこで、福祉施設に訪問し、入所者と一緒に作品を作ること、支え合う心・助け合う心を養い、ボランティア活動への第一歩を経験してもらう機会を提供し、地域づくりの一環にも役立てる。		
概要・成果	受講生全員が初心者だったが、「絵手紙」に興味をもって取り組んで学んでいた。福祉施設への訪問で、講座のねらいである入所者と交流することができ、ボランティア活動やその精神への理解も育まれた。		

〔平成25年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子でおでかけ 「わくわく子育てひろば」	家の中に閉じこもりがちな親子が、地域の同世代の子を持つ親同士で、軽体操や工作、食育の講話などをおして親同士の交流や親子の触れあう機会を持つことができた。	6月～12月	4	64
あそび まるかじり	小学生を対象に4つのあそびのコーナーを設け、仲間と交流する楽しさを知ることができ、夏休みの思い出のひとコマとなった。	8月	1	23
ニュースポーツに挑戦	キンボールやチャレンジザゲームをおして、親子のふれあいや、一緒に協力して行う楽しさ、達成感を体験する場となった。	6月～10月	2	52
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活動する児童及び世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーション・ゲーム等の活動に必要な技術を学習した。	2月	1	91
職場体験学習	市民センターの仕事体験を通じ、高校生が学校の中だけではできない仕事の厳しさや難しさ・達成感等を感じ、働く事の意義や学校での学びの意味を再確認した。	7月～8月	2	5

親子 ドッジビー大会	地域の児童館と共催で、地域の親子を対象としたドッジビー大会を行い、子ども達の交流、親同士の交流、さらに良好な親子関係を築くことにつなげた。	2月	1	48
落合なでしこ学級	歴史や軽体操、小物づくり等の分野にわたり心を養い、また、転入者が多い地域でもあるため仲間づくりの場とした。	6月～2月	8	213
落合栗生の自然と歴史～見たり聞いたり訪ねたり	地域を学ぼうと考えている人たちを対象として、地域の自然や歴史、施設見学を行い、自分の住んでいる地域への愛着を深めた。	6月～8月	3	43
市民企画講座 「ごみ減量のために～野菜をおいしく料理しよう」	日常生活において、食材を無駄なく使い、食生活から出るごみを減らすために、季節の旬の野菜の調理方法を学んだ。	7月23日 9月10日 11月12日	3	22
落合実年学級	地域の高齢者がこころ豊かに、生きがいを持って暮らしていけるように、健康、文学に関する講話、作品づくり、館外学習、健康体操、音楽鑑賞など、様々な分野の学習をした。	5月～3月	11	289
ワードでチラシを作ろう！	ワードを使い分かりやすく、見やすいチラシづくりを自ら編集・発信できるように学んだ。その中からサークルが立ち上がった。	6月	3	37
宮城県宮城広瀬高等学校連携事業 ～いってみよう！やってみよう！広高タイム	卓球部、奉仕活動部、生徒会執行部、書道部と連携し講座を行うことにより、高校生が高校の中だけでは体験できないことをする機会が提供できた。	7月～12月	7	250
★みんなの力で地域防災・減災	新しい人材の発掘・育成と町内会の防災・減災力を高めるために、町内会役員を対象に講演（地震の知識）と体験型学習（HUG、仙台発そなえゲーム）を実施した。	7月～2月	4	116
第16回落合市民センターまつり	地域住民や市民センター利用者の活動紹介や、学習成果を展示したり、ステージ発表を行った。	10月20日	1	600
地域懇話会	高齢者見守りと乳幼児見守りをテーマに、各種施設代表者と町内会を代表とする地域の方々に集まっていただき、意見交換を行い、互いの課題の共有化を図った。	6月～8月	2	28
市民企画 「食と環境を考える」	毎日欠かすことのできない「食」と日常出るゴミ減量の関係性を考えながら、環境問題への意識を高めるための講座を企画した。	5月22日 6月4日 7月9日 11月12日	4	16
サークル体験講座	落合市民センターを利用しているサークル団体（26組）の活動を見学・体験できる機会を提供。新規のメンバーを獲得できたサークルも多かった。	6月	6	377

吉成市民センター

〔沿革〕

吉成市民センターは、仙台市北西部の吉成と南吉成の小中学校区中間位置に、市内 51 番目の市民センターとして平成 8 年 4 月に、児童館及びコミュニティ防災センターを併設しオープンした。当該地区は住宅地と商店街が共存し、市内北部と西部を結ぶ交通の要衝となっている。

当市民センターは、吉成小中学校区と南吉成小中学校区の 2 連合町内会を対象地域としている。現在高齢化率も高くなってきており、当市民センターの利用件数及び利用者数も相まって増加傾向にある。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	青陵の森を楽しもう		
参加者	成人	延参加者	36 人
開催日	全 3 回 5 月 18 日(土)、11 月 15 日(金)(午前・午後)		
協力者・協力団体	仙台青陵中等教育学校、青陵の森愛好会。		
ねらい	学校の敷地内にあるため出入りに制限のある「青陵の森」を、地域の資源として活用し、地域住民が森に親しむ機会を設ける。また、学校と地域との交流を図る。		
概要・成果	(第 1 回)「青陵の森集いの広場」でのミニコンサート(出演者:合唱部・吹奏楽部 52 名)で交流後、「青陵の森愛好会」のみなさんのガイドにより森を散策し、地域資源へ理解を深めた。(第 2 回)秋の青陵の森を散策し自然観察。また、森を守る活動についての理解を深めた。(第 3 回)市民センターで、木の成長を妨げるものとして取り払った葛のツルを使って、エコなインテリア「グリーンボール」を作り、自然の再利用を体験した。自然資源を地域の住民が活用できる機会になり、特定地域を持たない仙台青陵校生徒と地域住民、他地域から参加の市民も含め広く市民同士の交流の場ともなり、相互理解に役立った。また、森の整備活動などボランティア活動の支援にも繋がった。		

〔平成 25 年度 (地区館) 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
ストレス解消!子育てママの日曜大工	木工でいろんな種類の材料を使って自由に作りたいものを作成した。。	12 月 4、5 日	2	9
吉成チャイルドスクール	仙台青陵中等教育学校の科学部の生徒を講師に、学校で科学の実験を行った。ワンプレートランチ・パーティメニューを作った。	7 月 25 日 ～12 月 21 日	4	94
親子で TRY!工作教室	設計図を見ながら、ベンチボックスに利用する木材をのこぎりで切り、金づちや釘を使って組み立てた。	8 月 3、4 日	2	38
●インリーダー研修会	子ども会の活性化のため行事プログラム作成研修及び世話人向け研修を行った。ジュニアリーダーとゲームを体験した。	2 月 22 日	1	30
中学生職場体験	市民センターの目的や役割を学習し、業務を体験することで、仕事の大変さ、大切さを感じてもらった。	10 月 30、31 日 11 月 1 日	1	4
職場体験中学生企画「君の明日へ!社会人マナー講座」	南吉成中学校 2 年生を対象に、中学 2 年生が職場体験に臨むにあたって、身につけてほしいマナーについての講話と実技を行った。	9 月 27 日	1	109
家族で楽しむ季節のお菓子	それぞれの季節にあったお菓子を作り試食交流会を行った。	10 月 8 日 12 月 10 日 2 月 4 日	3	31

市民企画講座「男塾～庭木の剪定やってみよう！」	南中山市民センター・南吉成小学校敷地内にある植栽の剪定を実施。また交流会を行った。	11月16、30日 12月7日	3	46
老壮大学きらめきスクール	「ミニコンサート」「南極の話」「ボイストレーニング」「介護保険の話」など、多岐に富んだ内容を提供し、高齢者の学びや楽しみに役立てた。	5月10日 ～2月14日	10	426
高齢者向けパソコンの便利な使い方講座	パソコンの仕組み・文字入力の仕方・マウスの使い方を指導した。またインターネットの注意点・メールの仕方・セキュリティについて学び、情報の取り方や、その他の機能について実践した。	7月3、4、5日	3	34
みんなのコンサート	地域の小学校・中学校・高校・大学の吹奏楽部による交流会と演奏会を実施した。	1月18、19日	2	441
吉成出前サロン	市民センターには遠い地域の方々へ講座を出前した。市民センターで活動している箏曲グループやコーラスグループなどに演奏を披露してもらった。	7月18日 2月14日	2	66
★避難所運営講座	仙台市の避難所マニュアルの改訂でどのように内容が変わったかを聞く機会を設け、またHUG（避難所運営ゲーム）を行った。	6月15、22日	2	25
複数年事業企画「元気いっぱい街づくり・人づくり講座」	元気いっぱいの地域となるためのアイデアをアンケートを実施して募集し、収集した意見を元に今後の取り組みについて話し合った。	5月25日 9月27日	2	47
ニュースポーツ交流会	吉成・南吉成学区の体育振興会と連携し、ニュースポーツで地域の交流を図った。	6月8日 11月9日	2	40
地域団体交流会	学校関係者・地域諸団体の方が一堂に会し、活動状況や情報を共有し合い、互いの活動を広げる機会とした。	1月29日	1	43
吉成市民センターまつり	市民センターを利用している各種サークルや地域で活動している各種団体の学習成果を発表した。	10月19日	1	925
吉成・南吉成地域懇談会	地域の学校の地域連携担当の先生に集まってもらい、地域と関わった実績の紹介・情報交換などを行った。	2月27日	1	5
森守（もりもり）ボランティア養成講座	南吉成小学校敷地内の「学校の森」で、枝の剪定・伐採の実技指導を行った。また、地域の森を整備・維持管理しているボランティア団体の案内で散策しながら活動の様子を聞いた。	5月23、30日 6月6、13、20日	5	60
市民企画会議「地域デビュー男塾」	自らの経験から仲間づくりのきっかけについて話し合いテーマを決定し、チラシ配布や参加の声がけなど企画の実現に努めた。	6月29日 ～12月7日	8	30
春のサークル体験	当センターにて活動しているサークルの中から10組のサークルに体験会を実施してもらった。	5月2日 ～6月14日	10	12

宮城野区中央市民センター

〔沿革〕

平成 24 年 8 月、宮城野区文化センター新設に伴い、同センター内に宮城野区中央市民センターとして開館した。当市民センターは区役所や陸前原ノ町駅に隣接し、多くの人々が行き交う地域となっている。

本市民センターは、宮城野区における生涯学習の拠点、市民の交流拠点、地域づくりの拠点として、市民活動室なども含め、幅広いニーズに応える施設を備えるとともに、さまざまなテーマの講座やワークショップなど、多様な学びの機会を提供している。

地域の多様な活動を担う人材の育成や地域の諸団体と関係機関とのコーディネート、地域情報の収集・提供などを行うことにより、市民自らが地域課題に向き合い、住み良いまちづくりに取り組むことができるよう支援を行っている。また、区民協働まちづくり事業のすずむしの里づくり事業においても、地域の住民の活動や市民同士の交流が円滑に進むように必要な支援を行い、継続的な活動を促進している。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	ホーム＆キッチン＆ダディ		
参加者	子育て中の男性	延参加者	112 人
開催日	全 9 回 4 月 18 日(木)、5 月 16 日(木)、6 月 20 日(木)、7 月 18 日(木)、8 月 24 日(土)、9 月 19 日(木)、10 月 17 日(木)、2 月 6 日(木)、2 月 13 日(木)		
協力者・協力団体	中央市民センター、宮城学院女子大学		
ねらい	転入者が多く核家族が増えている原町地域において、家族揃って食卓を囲む機会が減少している。また父親の家庭への関心が薄い傾向にある。父親が料理を通じて食の大切さを学び、学んだ成果を家庭で生かすことにより、家庭での父親の存在感を増し、家族の絆を深めることを目指す。		
概要・成果	中央市民センター・宮城学院女子大学・宮城野区中央市民センターの共催事業として実施。参加者は家族そろって食卓を囲む機会が若干ではあるが増加し、父親の家庭への関心が高まった。また、父親が家庭において学んだ成果を生かし、家庭での父親の存在感も高まり、食を通して家族の絆が深まった。受講生同士の交流も深まり、情報交換する場面が多く見られた。学習意欲も向上し、継続的な学習につながった。		

〔平成 25 年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
おやこでしたい 4 つのこと	働きながら子育てをしている若年核家族世帯を対象に、共働きの親が子どもと実技学習という共通体験を行った。読み聞かせ、料理、ヒップホップ、スクラップブック	4 月 27 日 5 月 25 日 9 月 28 日 2 月 22 日	4	66
●原町ウェルカムひろば	原町地区の子育て支援機関が連携し、地域懇談会で把握した課題を解決するため、原町地区への転入者を対象に親子で楽しみながらリラックス法を学び、情報交換等を行った。	9 月 4 日	1	51
インリーダー研修会	子ども会の活性化を図るため、子ども会の核となる 5 年生の小学生及び世話人を対象として、子ども会に関する知識を学び、レクリエーションやゲームなどについて体験した。	2 月 1 日	1	65
「すずむしの里学習～小学校出前講座」	仙台市の虫「すずむし」について生態や育て方を学ぶ中から自然愛護の大切さを学んだ。すずむしボランティアによる各小学校への出前授業と市民への配布会の実施。	7 月 17 日 8 月 2 日 8 月 29 日 8 月 30 日 12 月 5 日	5	517

＜宮城野区＞

ジュニアとあそぼう！	ジュニアリーダーがリーダーとなって、小学生を対象にゲームや工作で楽しく遊ぶ講座。地元の夏まつりでのゲームコーナー出店や冬の工作遊び体験。	8月 7日 1月 11日	2	90
高校生がやって来る！	高校生を講師として、小学生が地域を超えた交流や異年齢交流を通じた学びを体験した。仙台工業高校「パラパラムービー」仙台育英学園高校「チアリーディング体験」	7月 31日 8月 8日 12月 25日	3	50
地域が伝える平和学習	戦中・戦後を体験した地域の方々が講師となり、原町小学校に出向き6年生を対象に、生の声で当時の様子や思いを伝え、子どもたちが平和の大切さを学び考えた。	11月 21日	1	90
宮城野の歴史講座	地域住民が自らの土地に対する愛着と関心を持つきっかけ作りのため、仙台市博物館と共催し開催。「近世・近代 蒲生の記憶」と題した講座を行った。	12月 8日	1	106
みやぎのブックアソシエイト	宮城野図書館と併設という利点を生かし、利用が少なかった働き盛りの世代を募り、読書という共通の趣味を通じて、市民センターを拠点として繋がりあえる場をつくった。ビブリオバトル、課題本の感想を語り合った。	9月 4日 10月 9日 11月 6日 12月 4日	4	23
みやぎの大学	高齢者が、社会状況の多様化に対応し、一人ひとりの人生が学びを通して豊かになり、健康に過ごすための学習の場の提供と学びを通じた交流を図るための講話・実技を開催。	4月 9日 ～3月 11日	11	824
シニア世代向け介護予防栄養教室「Let's 健活！」	健康維持、介護予防のための食生活のについての学習と調理実習。きのご飯、里芋と鶏肉の和風シチュー、根菜サラダ、甘酒のヨーグルトゼリー	11月 8日	1	12
クローバーカフェ宮城野～社会学級共催事業	社会学級活動が活発になることは、地域全体の活性化のために必要であるため、市民センターと各社会学級が共催で事業を企画開催。東宮城野小／お魚教室、宮城野小／ワケルくんバス、原町小／自転車マナー	6月 27日 9月 25日 11月 20日	3	41
M. えむフェス～宮城野区中央市民センターまつり	地域の学びの拠点および地域コミュニティの拠点としての市民センターとなるため、地域団体やサークルとともに地域住民が気軽に集い、交流し、学びの幅を広げるよう目指した。舞台発表、作品展示出店など	11月 16日	1	850
★宮城野区中央市民センター地域懇談会	地域課題を把握し、共有し、解決を図るため町内会・地域団体・利用者等と意見交換を行った。	6月 4日 11月 1日 3月 7日	3	28
みやぎの 防災・減災ゲームをつくろう！	東日本大震災での経験を活かし、日頃から身近な防災教育を行うため、地域環境に即した防災・減災ゲームを作り、体験会を開催。	1月 16日 1月 23、30日 2月 8日	4	54
原町小学校地元学	市民センターがコーディネート機能を担い、子どもたちと地域住民が繋がり合い、交流を持つ。長らく地域に住まう方々に、次世代を担う子どもたちへ伝統を継承してもらう。3年生～6年生で実施。	6月 13、28日 7月 12日 9月 12日 11月 20、22日	6	655
★にっこりな・ほっこりなサロン	みなし仮設住宅の入居者の孤立を防ぎ、心の安らぎを感じてもらうため、定期的集える機会を提供し、市民センターが仲介役となり助け合える「顔の見える」関係性をつくることを図った。原町さんぽ、簡単！おいしい！家庭料理、ゆる体操	10月 2日 11月 27、22日	3	85

＜宮城野区＞

★四季コンサート	当市民センターが地域の生涯学習の拠点として、より親しまれる施設となるために、気軽に集うことができ、市民からも要望の高いコンサートを定期的に開催。アコーディオン、ギター、トーンチャイム、街かどコンサート	5月30日 8月9日 12月5日 3月13日	4	346
ジュニアリーダー定例会	ジュニアリーダーの活動確認や反省、及び学習会や親睦会などの活動支援を行いながらサークルの活性化を図る月例会議。	4月13日 ～3月8日	12	96
市民企画会議「まなびあい 会議 in Miyachu」	地域住民による企画会を組織し、地域課題についての話し合いを行う中から、課題解決のための講座を企画実施。	12月18日 1月22日 2月19日 3月5日	4	22
宮城野原案内人講座	地元をよく知る人材が不足しているため「宮城野原案内人」を養成し、地元の魅力を伝えてゆく人材作りをめざした。今年度のテーマは「宮城野原の過去・現在・未来」で実施。Kスタ、仙台医療センター、仙台育英学園	7月6、20日 8月3日	3	39

中央市民センター

〔沿革〕

仙台市の公民館は、昭和 21 年に在仙文化人有志による民間団体が主体となって設置されたのが始まりで、昭和 24 年に仙台市公民館条例が制定され、行政機関としての「仙台市公民館」が発足した。その後、各地域の公民館設置とともに、昭和 48 年には「仙台市公民館」を「中央公民館」と改称。昭和 58 年には榴岡図書館とともに現在地に開館し、平成元年には「中央市民センター・公民館」となり、翌年には現在の「中央市民センター」と改称した。（平成 26 年 4 月より「生涯学習支援センター」と改称。）

当市民センターが位置する仙台駅東口周辺は、高い利便性を生かした企業や学校、マンションが混在するとともに、古い歴史ある地域としての顔も併せ持っている。こうした立地条件から、市内各方面からの利用者や夜間の利用頻度も高く、多様な学習活動、市民活動が活発な状況となっている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある（地区館）事業〕

事業名	東口ガイドボランティア企画会		
参加者	東口ガイドボランティア	延参加者	310 人
開催日	全 24 回 4 月 17 日、5 月 8 日・15 日・22 日・29 日、7 月 3 日・10 日・24 日、8 月 7 日・21 日、9 月 4 日・18 日、10 月 2 日・23 日、11 月 6 日・20 日、12 月 4 日、1 月 15 日・29 日、2 月 19 日、3 月 5 日・15 日・22 日・26 日（3 月 15、22 日は土曜日、それ以外は水曜日）		
ねらい	24 年度の養成講座から立ち上がった東口ガイドボランティアのメンバーが、主催講座などの企画・運営をし、近隣地域の魅力を発信していく。その中で学習を重ね、さらなるガイドボランティア活動の充実を図る。		
概要・成果	主催事業「東口まち歩き」の企画運営、「東口ガイドボランティア養成講座」での地域案内などを通して、ガイド活動が定着し、地域住民に周知する機会も増えた。昨年度からのメンバーに加え、養成講座終了後に新しいメンバーも加わり、学習会や資料作り、公開講座の実施など、地域からの充実した情報発信となった。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
和みカフェ～子育てを楽しもう	孤立しがちな子育て中の母親が集まり、親子遊びや学習会、交流会を行った、親子のふれあいを深めるとともに、母親たちの仲間づくりにつなげた。	5 月 16 日 ～7 月 11 日	5	117
東口ゆうえんち	少人数で遊ぶことが多くになっている小学生に、「東口ゆうえんち企画会」の企画と運営で、キンボールやだんごづくり等、大人数で遊ぶ時間を提供した。	5 月 1 日 ～3 月 2 日	4	315
巨大迷路で遊ぼう！	年齢の離れた人と遊ぶ機会が少なくなった小学生を対象に、ジュニアリーダーやボランティアスタッフたちと、段ボールの迷路で遊びながら、学年の違う子ども達同士で交流する機会を設けた。	11 月 2、3 日	2	175
職場体験学習受入	小学校 1 校、中学校 6 校からの弟子入りや職場体験学習として、窓口や施設管理、事業の準備を体験し、サークル活動等を見学した。地域における市民センターの役割を知らせ、働くことについて考える契機になった。	7 月 9 日 ～2 月 14 日	24	79

東口まち歩き	昨年度から学習会とまち歩きを重ねてきた東口ガイドボランティアの案内によるまち歩きを開催し、地域の名所や景観を通して、その魅力を感じ、興味関心を持つきっかけとした。	4月28日 ～3月28日	9	352
ようこそ！仙台・東口へ	新しいマンションが多いこの地域で、地域の災害対応力を高めるため、まち歩きや町内会役員との顔合わせなどを行い、新旧住民のコミュニケーションを図った。	4月26日 ～7月19日	5	31
東口写真館	デジタルカメラの上手な使い方とパソコンでの編集作業を学びながら、写真展も実施し、地域への関心を喚起し、地域からの情報発信に目を向ける契機とした。	5月24日 ～12月6日	10	154
人生を拓く！ハッピーコミュニケーション講座	自分自身を理解し受容する方法や、周りの人と円滑な人間関係を築く手がかりを学び、これからの自身のあり方について話し合う経験を共有し、家庭や職場、地域での良好な人間関係づくりへの意欲を育んだ。	10月3、17、31日 11月14、28日 12月12日 2月6日	7	173
東口ますます元気教室	高齢者が自立して元気に暮らせるために、介護予防に必要な知識を学び、軽体操やゲームなどで体を動かした。	4月24日 5月22日 6月26日 7月24日 9月25日 10月23日 12月18日 2月26日 3月26日	9	380
ふれあいコンサート	地域や中央市民センターを拠点として活動している団体には発表の場を提供し、地域住民には気軽に音楽を楽しむ場を提供した。	5月11日 ～3月15日	6	406
つつじがおかワイワイまつり	「榴岡かいわい学びのコミュニティ推進委員会」の企画運営で、地域の様々な団体がかわり、夏と冬の祭りを実施した。地域の子どもたちには、多彩な遊びと交流の機会となった。	8月31日 1月25日	2	600
中央市民センター事業運営懇談会	市民の声を事業運営に反映させるため、受講者として、また、企画スタッフとして事業に関わった方たちから、地域の情報や課題を聞いた。	通年	1	47
あのころの、東口界限	仙台駅東口界限は、歴史ある地域であり、区画整理などで今まさに変化している場所でもある。地域に暮らす住民から昔の生活の様子を聞き、様々な資料を展示するなど、地域への理解を図った。	11月30日 ～12月7日	2	28
市民企画会議	平日や日中は学習機会が持ちにくい勤労者を対象に開催する夜間の講座を市民企画により企画運営した。男性女性、各世代に共通する課題についての話し合いと企画運営についての学習会を実施した。	4月25日 ～3月27日	15	127
東口ゆうえんち企画会	おやじの会を含む社会人や高校生、学生など、子どもの健全育成に関心の高い団体、個人が情報交換、スキルアップしながら、今年度4回開催した「東口ゆうえんち」の企画運営を行った。	4月27日 ～3月2日	11	95
介護予防・運動サポーター養成講座	高齢者による自主サークルをサポートする人材を育成するため、軽体操や介護予防の学習をした。	8月28日 11月27日 1月22日	3	35
東口ガイドボランティア養成講座	昨年度養成し、近隣地域を案内する「東口ガイドボランティア」と一緒に活動する、ガイドボランティアの育成のため、見学を交えながら、歴史や建築、仏像などを学習した。	5月15日 ～6月19日	6	125

高砂市民センター

〔沿革〕

高砂市民センターは、昭和 43 年、高砂小学校校舎を改築し、高砂公民館として発足した。昭和 53 年宮城県沖地震で建物が大破し隣接する前高砂小学校給食センターを改築、昭和 54 年に移転した。平成元年「高砂市民センター・公民館」、翌年「高砂市民センター」と改称、その後平成 6 年高砂地区の中心部に複合施設として新たに開館した。この地区は、七北田川、貞山運河、蒲生干潟、そして南部には広い田園地帯が広がっている自然に恵まれた地域である。また東北の海の玄関口、物流の拠点である仙台港を配し、背後地には近年大型複合施設、大型商業施設等の進出も相次ぎ、急激な都市化が進んでいる地域である。平成 23 年 3 月に発生した東日本大地震により、沿岸部が津波で大きな被害を受けたが、平成 24 年 11 月に策定された仙台市震災復興計画のもとで、現在急ピッチで復旧・復興が進んでいる。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★高砂・田子・福室市民センター三館共催事業 地域の絆「講」の再発見～旧高砂村の講をさぐる～		
参加者	成人	延参加者	162 人
開催日	全 17 回 4 月 11 日(木)、4 月 25 日(木)、4 月 26 日(金)、5 月 29 日(水)、6 月 6 日(木)、 6 月 20 日(木)、6 月 26 日(水)、7 月 4 日(木)、7 月 16 日(火)、8 月 7 日(水)、8 月 21 日(水)、 8 月 24 日(土)、9 月 27 日(金)、11 月 30 日(土)、1 月 30 日(木)、2 月 26 日(火)、3 月 6 日(木)		
協力者・協力団体	高砂老人クラブ連合会、和田町内会		
ねらい	高砂・福室・田子市民センターの管轄エリアは、かつて旧高砂村として一つの地域であった。この地域で行われてきた「講」に着目し、「講」の果してきた役割、それに関わる伝統文化、習俗を学ぶことで、コミュニティ活動の大切さや、地域のこれからについて考察する機会とする。また、今回は地域住民による調査チームを作り、準備段階から参加してもらうことで、民俗学調査的な学習を体系的に学び、自らの意見や提案を講座に反映できる場を提供する。		
概要・成果	各地域の講について聞き取り調査に出向き、どのような講があったか、今現在どうなっているか等を調査をし、三館全体として結果をまとめ、調査員の間報告会を行った。聞き取り調査を行うことで、市民調査員や地域住民にとっても、よい交流の機会となった。時代とともに、また、震災を機に消えゆく講について知ることができ、地域コミュニティを考える機会ともなり、新しい地域づくりに活かせるヒントが得られた。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
地域子育てサロン出前講座 親と子のほっとタイム	管内の各地区で子育て支援を目的とした「子育てサロン」が開催されているが地域が広いため市民センターに通う事が難しく、学びたい気持ちを持つ母親達からの要望で、子ども達とふれ合いながら学習する機会を提供した。	5 月 8 日 ～12 月 25 日	6	199
地域小学校連携講座 「夏休み学びの講座」	管内小学校と連携して児童・保護者が参加する様々な分野の講座を開催。夏休み中の子ども達に学びの場を提供。地域サークルや中学生のボランティア講師と小学生との交流を通じて地域での青少年健全育成を図った。	7 月 30 日 ～8 月 2 日	10	238

＜宮城野区＞

宮城野区インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーション・ゲーム等の学習をし、子ども会活動の充実を図った。	2月22日	1	37
中学生職場体験学習受入	生活経験そのものが非常に限られた現代の子どもたちに、人とかかわりを大切にしていく中で、生徒の勤労観・職業観、自立の力をはぐくみ、確かな学力の向上を図るための「仙台自分づくり教育」のひとつとして実施した。	11月26日 ～11月28日	1	7
「楽しく学ぼう！」 たかさごきっず倶楽部	高砂中学校で部活に所属している生徒に、地域ボランティア活動の場としてセンターで小学生を指導してもらい、地域中学生と小学生の交流を図った。また、高砂地区老人クラブ連合会と連携し、小学生に多様な体験学習の機会を提供した。	4月10日 6月22日 9月4日 11月22日 1月18日	5	128
★LET'S クッキング のびのびつくろう！	仮設住宅に入居している主婦は狭い台所で料理をしなければならず、震災以前のように、思うようには調理することができないため、狭い台所でも手早く作れる地域の食材を使った料理を習う機会を提供した。	9月12日 10月3日 11月14日	3	26
★高砂老壮大学	地域の高齢者が生涯を通して学習を続ける意欲を高めいきいきと暮らすために、生きがい・健康増進・介護予防・教養を中心とした学習の機会を提供。それとともに、受講生同士の交流と親睦を図り、地域の絆を強めることを図った。	5月15日 ～3月12日	11	1030
★高砂サローネ	東日本大震災から2年、復興へと歩みは始めているが、まだまだ見通しもつかず将来に対する焦燥感がみえる被災者もいる。地域の様々な立場の住民と一緒に学び集う事でお互いの立場を理解しながら地域の絆を作っていくことを図った。	4月26日 ～3月2日	19	578
★●「復刻 自慢の郷土料理」企画委員会企画講座 託児付事業「子供に伝えたい郷土料理」	地域の農産物や行事と重ね合わせながら伝わってきた郷土料理があることから、昔から伝わる郷土料理の中から子どもたちと一緒に作れるメニューを選び、地域の文化を伝承し、昔からの味や思いを伝えていくことを図った。	9月6日 12月20日	2	45
●高砂小学校区地元学	「地元学」発祥の地である宮城野区において、子どもの頃から地域の人や歴史への興味を喚起し、地域に愛着と誇りを持って、地域のアイデンティティを共有、伝承し、年代を超えた関わりからよりよいコミュニティづくりにつなげた。	4月25日 ～3月10日	18	1574
●鶴巻小学校区地元学	「地元学」発祥の地である宮城野区において、子どもの頃から地域の人や歴史への興味を喚起し、地域に愛着と誇りを持って、地域のアイデンティティを共有、伝承し、年代を超えた関わりからよりよいコミュニティづくりにつなげた。	6月13日 8月21日 10月22日 11月9、20日 1月17、29日	7	535
★高砂市民センターまつり	センター利用サークル等の学習成果発表の場と、各世代が楽しめるイベントを開催。地域住民相互の交流を図る機会を提供した。管内幼稚園・小学校・中学校の児童・生徒の作品・ステージ発表を通じて、青少年健全育成の一助とした。	10月26日 10月27日	2	9490
★ロビーコンサート ー共に手をつなごうー	まだまだ復興に時間がかかっているため、地域で活動している音楽グループ・サークルの発表や被災地支援団体の活動の場を提供しコンサートを開催し地域の癒しや交流の場を作った。	5月22日 6月1日 11月9、16日 1月18日	5	616

★いきいき高砂！ みんなで手をつなごう！	東日本大震災後様々な状況を抱える地域住民が交流を深めて笑顔を取り戻せるよう、遠方に住む被災者も含め多くの人が声をかけあい集える場、再会し旧交を温め、郷土愛を確認し、復興へ繋げる場として、まつりを開催した。	12月 7日	1	1500
★高砂市民センター懇話会	市民センターの事業運営に関する地域住民の様々な意見を聴き出し、地域の課題を見出しながら共有を図り、今後の市民センターの事業運営に反映することを図った。	11月 9日 3月 5日	2	15
ジュニアリーダー「高砂フレンズクラブ」定例会	高砂市民センターを拠点として活動しているジュニアリーダーサークル「高砂フレンズクラブ」の定例会を開催し、活動の助言や相談を行い、資質を高めることを目指した。また、要請内容の確認と活動内容の報告によりジュニアリーダー同士の交流を図った。	4月 6日 ～3月 1日	12	96
★傾聴ボランティアフォローアップ&養成講座	活動の場として、老人福祉センターからの要望があり、H24年度に養成したボランティアが定着するようフォローアップした。新しい知識を得て活動を活性化し、ボランティアに自信とやりがいを感じてもらい、また新しい人材養成を図った。	10月 30日 11月 27日 1月 22、29日 2月 5、13日	6	76
★●「復刻 自慢の郷土料理」企画委員会	高砂地区沿岸部は東日本大震災で甚大な被害を受け、その歴史や文化も伝えるのが難しい状況にあったため、地域の伝統を伝えられる人材の高齢化にともない地域の記憶が残っている今を機会に、伝統的郷土料理を伝えていくため講座を企画した。	5月 24日 ～9月 20日	9	79
★●複数年事業 震災復興地元学	中野・岡田地区に住んでいた人々が自分のふるさとを記憶にとどめ、誇りをもってふるさとを語れるよう、震災に対するさまざまな気持ちと向き合い、未来を考える一助とした。また、震災前の日常生活と震災後の生活の動きを捉えた。	4月 19日 ～3月 9日	16	657

岩切市民センター

〔沿革〕

岩切市民センターは昭和 56 年開館した「岩切公民館」を前身とし、平成 2 年「仙台市市民センター条例」により「仙台市岩切市民センター」と改称された。平成 18 年 6 月から 12 月まで大規模改修が行われ現在に至っている。建物内部には市民センターのほかに、保健センター、老人憩いの家、コミュニティ防災センター資機材倉庫が併設されており、さらに平成 22 年 3 月より岩切証明発行センターが併設された。

当地区は宮城野区の北東部に位置し、美しい田園風景が広がる。古からの歴史と文化を伝える神社、仏閣、遺跡が点在している。近年は岩切駅前地区の再開発により若い世代の人口増加が著しい。人々の学習意欲は高く、自主サークル活動が盛んに行われてきた地域である。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●すずむしリンリン講座		
参加者	①④⑤一般 ③岩切小学校 4 年生 ②その他	延参加者	752 人
開催日	全 5 回 ①7 月 27 日(土)、②8 月 6 日(火)、③9 月 6 日(金)、④9 月 14 日(土)、⑤10 月 27 日(日)		
協力者・協力団体	すずむしの里づくり実行委員会、宮城野区まちづくり推進課、岩切小学校、岩切保育所、岩切地区町内会連合会		
ねらい	仙台の虫である「すずむし」を育て、普及を図る活動を継続することで、自然環境に興味・関心を持ってもらい、うるおいのあるまちづくりを考える一歩とする。		
概要・成果	配布会・交換会において来場者の地域別調査を行った結果、遠方からの来場者も多数あったことから、すずむしの育成・自生促進活動の成果が広範囲にわたっている様子がうかがえた。またコンサートの開催や地域のまつりに参加することで、楽しみながらすずむしを身近に感じてもらい、自然環境について考えていただく機会を与えることができた。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
岩切発 育む・見つめる・認め合う冊子作り	目に見えない障がいを持つ児童について理解を深める講演会を行った。また保護者の立場から寄稿してもらい冊子作りを行ない、地域内の家庭や教育機関に配布した。	9 月 10 日 ～3 月 7 日	10	137
子どもの広場	「囲碁・将棋教室」をセンター利用サークル「岩切囲碁愛好会」及び地元将棋名人を講師に迎え 8 回実施。夏休みに「パッチワーク教室」をセンター利用サークル「パッチワーク愛好会」の方々を講師に迎え 2 回実施。	5 月 18 日 ～9 月 21 日	10	197
インリーダー研修会	来年度子ども会のリーダーとして運営を担う児童とお世話役の方々を対象に仙台市嘱託社会教育主事の先生が「子ども会活動」についての講話と「行事プログラム」作成の指導をし、ジュニアリーダーがゲーム紹介をした。	2 月 1 日	1	41
中学生 職場体験学習	岩切中学校 2 年生の男子 3 名が市民センターの定義を学んだあと、図書ボランティア体験・掲示物整理・講座資料準備・窓口対応・サークル体験・企画書作成等 3 日間にわたって体験学習した。	10 月 30、31 日 11 月 1 日	1	3

＜宮城野区＞

ジュニアリーダー定例会	JLの活動を支援するため本来ならば毎月1回行うものだが、JLが高校3年生のため今年度は4月・1月・2月・3月の4回のみ開催であった。内容は活動報告・依頼確認・これからの活動について等。	4月7日 1月12日 2月11日 3月5日	4	1
市民企画会	地域にお住まいの方3人に集まってもらい、震災で大きな被害のあった岩切地区をもう一度見直し地域の良さを再発見するための講座について3回にわたり話し合いをもった。	6月15日 ～10月19日	5	17
岩切老壮大学院	岩切老壮大学4年修了生を対象に毎月1回様々なジャンルの学習をした。今年度は一人芝居・どじょう掬い踊り鑑賞、軽運動、仙台味噌について・口内の病気予防・救急蘇生法・介護と音楽療法・岩切歴史講話等。	4月17日 ～3月12日	12	652
岩切老壮大学	60歳以上の方を対象に毎月1回様々な学習をした。今年度はニュースポーツ・健康体操実技、認知症・身近な犯罪・岩切歴史・仙台弁講話、マリンバ・パーカッション鑑賞、歌謡ショー、館外学習等。	4月18日 ～3月14日	12	509
家庭教育地域交流会	岩切地域における家庭教育の普及と発展、内容充実のため、地域と深い関係を持つ6つの団体が一同に会し情報交換や問題提起を図り、その問題を解決するための講座の実施を企画した。	6月5日 ～3月7日	5	80
●いわき子育てネットワーク 「岩切子育て講座」	地域の子育て支援に関わる各団体やサークル・先輩ママが連携し、安心して子育てができる環境づくりと仲間づくりのきっかけの場を提供するため子供のミニおまつりの開催と情報発信のためコミュニティまつりへ参加した。	6月26日 10月27日	2	324
★ニュースポーツにチャレンジ！（複数年計画の1年目）	小学生から高齢者まで先入観なく気軽に楽しめる様々なニュースポーツを体験し、来年度以降も地域のスポーツとして継続できる種目の選定をした。	6月29日 ～2月22日	8	82
岩切市民センターまつり	市民センターで学習するサークルの作品展示、及び舞台発表、ダンスパーティ、地域団体の出店販売等を行った。特に今年度は新しい試みとして作品製作体験を行い好評だった。	10月12日 10月13日	2	1700
岩切地域懇談会	市民センター利用者、地域住民、地域諸団体などと震災後の状況変化などの情報も含め、地域づくりや地域課題などについて情報交換を行い、市民センターとして取り組むべき課題を明確にすべく意見交換を行った。	11月22日 2月21日	2	18
★震災で焼失した文化物を通して岩切を考える	東日本大震災で保存修復された旧岩切郵便局の襖絵の検証・その歴史をたどる講演会と、災害発生時に岩切地区で何を大切にしたいか何をすべきなのか考えるワークショップを開催し地図を作成した。	12月7日 12月14日 12月21日	3	54
地元学地域連携事業（苧麻）	昔から岩切地区で栽培されてきた苧麻（カラムシ）の歴史や栽培方法を岩切小学校自然クラブ39名に講義し、苧麻から繊維を取り、ミサンガ・ストラップを作製した。	9月18日 10月9日 10月23日	3	113
★いわきり・わたしたちの防災講座	災害時に大切なコミュニケーション力を高めるための講話を聴きグループごとに話し合った。また紙面上で少しでも快適に過ごすことのできる避難所の配置図を作成し、組み立て式トイレの設置体験も行った。	8月6日 8月8日	2	89
折り紙ボランティア養成講座	2人の先生による折り紙の基本「やま折り」「たに折り」等の折り方の指導に始まり、毎回3点ほどの作品に取り組んだ。サークルが立ち上がりボランティアを目指している。	5月31日 6月14日 6月28日 7月12日	4	92

鶴ケ谷市民センター

〔沿革〕

鶴ケ谷地区は、大型のモデル団地として昭和 43 年に入居を開始した住宅団地で、鶴ケ谷市民センターは、団地の完成とともに RC3 階建、温水プールを併設する施設として昭和 47 年 5 月 22 日に開館した。

その後、地域住民から生涯学習への要望が高まり、昭和 59 年から岩切公民館の協力を受け各種の講座が開設されたが、本格的に生涯学習が展開されたのは、平成元年、市民センター・公民館として発足してからのことである。

平成 4 年 4 月には児童館が併設され、地域の生涯学習・児童福祉・コミュニティづくりの拠点となった。

建物は、平成 23 年 3 月の東日本大震災により使用不能となり、平成 24 年 3 月より会議室 2 室を備えた仮事務所で生涯学習事業を行っている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	キャップハンディ体験		
参加者	西山、燕沢、鶴谷東、鶴谷各小学校 4 年生全員	延参加者	210 人
開催日	6 月 20 日(木)、9 月 27 日(金)、10 月 2 日(水)、10 月 29 日(火)		
協力者・協力団体	宮城野障害者福祉センター、仙台市障害者福祉協会、燕沢地域包括支援センター、東北福祉大学学生ボランティア、手話サークルひょうたん、CIL たすけっと		
ねらい	東日本大震災を経験し、障害を持つ人とのコミュニケーションツールを身につけておく重要性が改めて認識された。この体験を通して障害を持つ人への理解を深め、こころの通った接し方について考え、障害の有無にかかわらず「地域で共に暮らす」ことの大切さへ意識を持つことへの理解を深める。		
概要・成果	障害を持つ様々な人の話を聞いたり、実際にその障害を体験した。「聴覚障害について話を聞き、手話を体験する・車イス生活について話を聞く」「車イス体験、弱者(高齢者)体験をする」。様々な団体の協力のもと、子どもたちに伝えることができた。また、子どもたちは、障害を持った方の話を聞くことで、様々な工夫を凝らして障害を感じさせない生活を送っていることや前向きに生きている姿を目の前にして大いに感動すると同時に、障害を持つ人に対する接し方を学んだ。		

〔平成 25 年度 (地区館) 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
ママのためのハッピーコーチング講座	地域の中で、親子関係・家庭教育のあり方について学び、考える。地域団体と協力することにより、地域住民同士が支えあうという意識向上を図った。	8 月 7 日	1	13
インリーダー研修会	子ども会活動活性化のための知識と技術を学んだ。	2 月 22 日	1	66
つるがやキッズクラブ	学区を超えての仲間づくり、高校生やジュニアリーダーとの交流を通して子どもたちの健全育成を図った。工作・ゲーム・科学実験など。	6 月 22 日 7 月 31 日 12 月 21 日	3	49

＜宮城野区＞

★出前講座「君もプチレスキュー」	中学生に災害時ボランティアとしての知識・技能を体得させ、地域の一員としての意識付けを行った。仮設トイレ組み立て訓練・災害伝言ダイヤル体験・災害弱者疑似体験・救急救命措置法など。	6月21日 7月8日 10月4日 11月21日 11月22日	5	411
鶴ケ谷ことぶき大学	高齢者の生きがいがづくり、社会参加の促進を図った。健康・暮らし・教養・社会問題等をテーマに月1回の定例講座を開催。	5月15日 ～2月19日	20	706
★私たちの鶴ケ谷～これまでもを学びこれからを考えよう～	団地造成から震災後までの年表を作成するとともに当時の写真を集め、話し合った。また、新旧住民の交流を図り、鶴ケ谷地域のよりよい将来をともに考える住民の輪を広げた。	6月25日 ～3月18日	12	179
★鶴ケ谷みんなの防災講座	いざという時に役立つ実技を中心とした内容。大震災を経験した受講生同士が交流しながら学習することにより、鶴ケ谷地域の防災について考える機会を提供した。	7月4日 7月11日 7月18日	3	46
●宮城野区役所連携「鶴ケ谷地区健康まちづくり事業」	区役所と連携し、幅広い年代の住民が健康で安心して暮らせるまちづくりを進めた。健康づくりフェスティバル・健康づくり情報紙ワークショップなど。	9月18日 10月25日 11月15日 12月13日 1月14日	5	73
市民企画講座「交流の場を作ろう！」	市民センターが被災し、交流の場を切望している地域住民とともに、仮事務所をさらに市民の交流の場・学びの場とするためにどのようにしたらいいかを考えた。	5月8日 ～3月12日	11	77
★鶴ケ谷市民センターまつり「地域の絆コンサート」	地域諸団体と実行委員会が協力してコンサートを開催し、異世代間交流の場を提供するとともに地域活性化を図り、地域の絆を深めた。	10月12日 10月26日	2	420
★鶴ケ谷市民センター地域懇談会	町内会・諸団体・サークルなどを対象に地域課題解決を目的とした意見交換・生涯学習活動支援・市民センターへの要望などについての話し合いを行った。	9月7日 2月21日	2	33
鶴ケ谷市民センターサロン「お茶っこ会 よってらっしゃい」	より多くの方に気軽に安心して集える仲間づくりの場を提供し、地域住民が健康に生きるきっかけづくりとした。	9月11日 10月9日 11月13日 12月11日 2月12日 3月12日	6	190
本の楽しさを伝えよう～読み聞かせ勉強会～	読み聞かせボランティア支援講座と情報交換会を実施し、鶴ケ谷地区で活動中のサークルのスキルアップとメンバー増員を図った。	1月30日 2月6日 2月27日	3	55
ジュニアリーダー定例会	市民センターを拠点とするジュニアリーダーサークルの安全で円滑な活動を支援するため、月1回程度の定例会を開催した。	通年	15	42

榴ケ岡市民センター

〔沿革〕

榴ケ岡市民センターは、日本住宅公団の高層共同住宅の建設に伴い、一階・地階部分の一部を市民会館の分館として位置付け、昭和 48 年 6 月に開館した。平成元年 4 月には公民館が併設され、翌年 4 月に「榴ケ岡市民センター」に改称された。平成 24 年 7 月 31 日にはそれまでの本館を閉館し、同年 8 月 28 日に榴岡公園軽体育館の名称を「榴ケ岡市民センター」へ変更して現在に至っている。

当市民センターは、市民の憩いの場である榴岡公園に隣接し自然環境に恵まれ、近くには仙台市歴史民俗資料館、国の合同庁舎、楽天 Kobo スタジアム宮城などがある。中心市街地として都市基盤整備が進み古くからの街並みが日々変化している中、新旧地元住民の交流の場として、また各種会合や生涯学習活動の場として多くの人々に利用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	地域が伝える「平和学習」		
参加者	小学生(榴岡小学校 6 年生)	延参加者	88 人
開催日	全 1 回 11 月 20 日(水)		
協力者・協力団体	語り部(地域に住む方 8 人)、戦災復興記念館語り部ボランティア(1 人)、戦災復興記念館		
ねらい	第 2 次世界大戦から戦後の激動の時代を生きてきた地域住民が榴岡小学校へ出向き、自身の体験を伝えることで、子どもたちが平和の大切さについて学び、考える機会を提供する。		
概要・成果	各クラスで仙台空襲について DVD 視聴後、語り部が戦争で経験したことや平和の大切さについて語った。また、戦災復興記念館収蔵品(防空頭巾・写真パネル)の展示により、当時の様子を分かりやすく伝えた。子どもたちは、今の自分の生活や社会状況などと比べながら、戦争や平和の大切さについて関心・理解を深めた。		

〔平成 25 年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
榴ケ岡おはなしの部屋	地域の子育て中の方に、読み聞かせや手遊び、手作り布のおもちゃを使った遊びや手作りのおもちゃ作りを実施。親子の絆を深め、参加者同士の交流を図った。	5 月 29 日 9 月 25 日 1 月 29 日	3	99
ママちゃれんじ講座	子育て中の母親が子連れで「子どもと楽しく向き合う」講話を聴き、親子ビクスでふれあった。また、託児付(2 回)で家計簿の書き方を学び、リンパマッサージにチャレンジし、リフレッシュする時間を提供した。	7 月 4 日 8 月 1 日 9 月 5 日 10 月 10 日	4	82
ジュニアリーダーと遊ぼう	小学生を対象に、ジュニアリーダーの指導のもと、ゲームで楽しく遊び、異学年交流を図った。また、ジュニアリーダーに日ごろの学習成果の発表の場を提供しスキルアップに繋がった。	8 月 16 日 12 月 26 日	2	37
インリーダー研修会	榴岡小学校児童で子ども会の核となるインリーダーを対象に、講話「インリーダーの役割と心構え・プログラム作成とゲームの指導」、世話人向けの講話「子供会活動と世話人の役割」を実施。合同でゲームに取り組んだ。	3 月 1 日	1	34

親子で遊ぼう・学ぼう！	幼児・小学生とその保護者を対象に各回都度募集。①楽チアリーダーとチアダンスを体験②浴衣の着付けを学び、浴衣姿で仙台七夕を楽しむ③星を見る会④「するめてんばた」をつくり、榴岡公園で風揚げを実施した。	6月8日 8月7日 12月13日 1月18日	4	124
榴ヶ岡老壮大学	地域の高齢者が学習を通じた仲間づくりや交流によって生きがいをもって日常生活が送れることを目的に学習の場を提供した。健康体操や施設見学、歴史・文学講話等。運営委員会を組織し積極的な自主学習に繋がった。	4月18日 ～3月6日	12	786
●未来に遺そうすずむしの里	「すずむしの里づくり事業」としてすずむしの配布会や榴岡小学校2年生への飼育出前講座を実施。榴岡公園南エントランスにおいて「すずむしコンサート」（篠笛・胡弓の演奏等）を開催した。	8月10日 9月12日 9月14日	3	373
市民企画講座みやぎのはぎ楽舎「地域と学ぶ」	みやぎのはぎ楽舎「地域と学ぶ」企画検討委員会で企画実施。「みんなで防災ビンゴ大会～非常持ち出し袋を考える」、館外講座「歩いて学ぶ榴ヶ岡」、交流会「カフェでおしゃべり～コーヒーの入れ方&ピアノ演奏」を実施。	9月28日 11月9日 2月15日	3	55
みやぎのはぎ楽舎「地域と学ぶ」企画検討委員会	地域の町内会と連携して企画検討委員会を結成し、地域の課題やニーズを把握したうえで、講座を企画した。講座の実施の前に運営のための話し合いをし、都度反省会をした。	5月24日 ～2月15日	8	44
「萩こぼれて」企画講座みんなで踊ろう！ソレ・ソレ・ソレ・ソレ～体験仙台すずめ踊り～	「萩こぼれて」企画検討委員会が企画・運営した講座。すずめ踊りの鑑賞と踊り・おはやしの体験を実施。講座終了後、祭連作りにつなげた。	10月3日	1	42
★榴ヶ岡市民センター震災復興共催事業	榴岡地域の団体に声掛けし、会議を重ねて「榴岡コンサート～支えあい・共に明日へ～」（太鼓・朗読等）を実施した。また、「榴岡救急救命講座」を開催し、地域のAED設置場所や防災資機材倉庫の周知を行った。	4月5日 ～2月22日	9	426
榴ヶ岡市民センター地域懇談会	利用者、町内会役員、地域住民に参加してもらい2回実施。1回目は、今年度の主催事業について説明後、意見交換。2回目は、主催事業の実施報告と意見交換。地域課題の把握と相互理解に繋がった。	6月7日 2月7日	2	16
★平成25年度榴ヶ岡市民センターまつり	主に当市民センターを拠点として活動しているサークル26団体が参加し、日ごろの学習・活動の成果を発表し、交流を深めた。舞台発表・ダンスパーティ・出店・作品展示・体験コーナー（お茶席・生け花・書道・しおり作り）等。	10月26日	1	850
★【榴岡地域案内人養成講座】榴岡さんぽみち	①「ガイドブック編」（5回）では、水彩画を学び、地域の建物を中心に作品を仕上げた。「歩いてわかる榴ヶ岡」講座で使うマップに挿絵を提供。②「案内人編」（10回）では、講話と散策で榴岡を学び、「歩いてわかる榴ヶ岡」でガイドを実践。	6月4日 ～2月4日	15	120
「萩こぼれて」企画検討委員会	地域の社会学級が地域の活性化を考えて講座の企画に取り組んだ。実施する内容が決まると広報・当日の流れ・役割分担を話し合い準備を進め、協力して講座を実施。終了後、すずめ踊りの祭連づくりを話し合った。	6月6日 ～1月19日	7	92

東部市民センター

〔沿革〕

東部市民センターは、昭和 47 年 5 月に旧保健所庁舎の一部を改装し開館した「東部市民福祉会館」を前身としている。昭和 58 年 4 月に改築され、平成に入り「東部市民センター」に改称、平成 5 年 4 月には「東部児童館」が併設されている。また、この地域は鉄道景観が見事に交錯する街並であり、東北本線、仙石線、貨物線、新幹線等がある。

当市民センターの中学校区は東仙台中学校、小学校区は東仙台小学校・新田小学校が管轄。さらに立地状況としては、宮城野区役所から北東へ約 0.7km の地点に位置し、南に国道 45 号線と北に利府街道、その中間を跨ぎ繋ぐ形で、通称「中原地区」といわれる住宅地にある。また、付近には、東仙台・苦竹・原町・自衛隊苦竹駐屯地などそれぞれに歴史を持つ住宅地や商業地が広がっている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	地域防犯講座「中学生が自ら考案した防犯劇」/中学生地域貢献講座企画会議		
参加者	地域高齢者/東仙台中学校 生徒	延参加者	53 人/236 人
開催日	全 1 回 8 月 9 日(金) /企画会 6 月～8 月全 16 回		
協力者・協力団体	東仙台中学校 防犯ボランティア「スーパーアルカス」/宮城県仙台東警察署		
ねらい	地域住民に向けて東仙台中学校の防犯ボランティア「スーパーアルカス」が防犯寸劇と注意喚起メッセージ発信などの講座を行う。地域の防犯協会や社会を明るくする運動の活動と連携し、防犯意識の向上を図り、地域ぐるみの防犯を促す。東仙台中学校の生徒会や防犯ボランティア「スーパーアルカス」有志を核として、中学生が地域課題「安心安全のまちづくり」(防犯)とさらには「いじめ防止対策推進法」の成立を基に中学生としてどのような事が出来るかと考え、講座を企画し運営をする。		
概要・成果	平成 25 年度は地域の高齢者向けに中学生自身が防犯講座と共に「いじめについて」企画・演出・公演を行った。宮城県仙台東警察署と協力し、地域の現状と課題を検討しながら中学生と共に企画会として脚本を作成した。これにより、地域の高齢者をはじめ住民の防犯意識啓発を図ることができ、中学生の防犯活動を通したボランティア活動を周知するきっかけとなるとともに、中学生の地域貢献の意識向上を図ることができた。さらには、中学生自身が、いじめが犯罪になることを学び、地域へのアピールと文化祭での公演を生徒、保護者、地域の方々に行い「いじめ防止対策推進法」が理解されるきっかけとなった。また、市民センターがコーディネートすることで多様な団体とのネットワークの構築や異世代交流に繋がった。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
畑で野菜を作ろう	地域のボランティアの指導を受け、親子で畑を耕し、トマトなどの苗を植え、支柱立て、芽かき、追肥、水やり、草取りを体験した。最後は調理実習で、トマトのパスタ料理やサラダ、スープなどを作り、参加者全員で食卓を囲み、収穫に感謝した。	5 月 11 日 6 月 15 日 7 月 6、20 日 8 月 10 日	5	90
★子育てサークル「まったりルーム」	同室託児で子どもと一緒にわらべうた、手軽な材料を使った玩具づくり、親子 3B 体操を体験し東部児童館主催のコンサートも楽しんだ。別室託児で子どもと離れ、食育サポーターの指導でお菓子づくりに挑戦した。	10 月 31 日 11 月 14、21、28 日 12 月 12 日	5	84

★東部こどものひろば	東仙小と「東仙台博士になろう」の授業で梅田川の環境や地域の歴史を学び、新田小では「地域の方と昔あそび」の授業で地域の方・学生ボランティアと触れあい、秋休みには、東部市民センターの調理実習室で「豆腐づくり」を体験した。テーブルゲーム・カフェや人形劇、コンサート等を開催、中原振興会夏祭りにジュニアリーダーと遊ぼうコーナー等の出前講座も多数開催した。	4月23日 ～3月15日	14	890
仙台自分づくり教育 「がんばれ中学生 市民センター職場体験」	社会教育施設の概要、市民センターの設置目的と役割を学び、施設管理業務や東部児童館主催のコンサート講座の運営体験もした。また、運動場のない新田小の子ども達のために企画書を作成し、プレゼンテーションに挑戦した。	11月12、13、 14日	3	9
仙台市子ども会インリーダー研修会	児童は、グループに分れ、「行事プログラム」の作成と発表、世話人は「効果的な子ども会運営について」の話を聞いた後、グループで各子ども会の情報交換をした。最後にジュニアリーダーの指導で児童・世話人一緒にレクリエーション・ゲームを体験した。	2月15日	1	28
東部武将隊 「東仙台甲冑教室」	伊達政宗の時代と人物像、伊達政宗の甲冑と構造について仙台市博物館の学芸員等の講話を聞いた後、仙台市博物館から借用したレプリカの甲冑を着用体験した。さらに講座では、和紙による兜制作に挑戦し、完成した。来年度は鎧に挑戦する。	7月18日 8月25日 9月19日 10月17日 11月21日 12月19日 1月16日	7	48
★老壮大学「東部いきいきスクール」	開講式・講演会「生きがいと社会参加」、館外学習東北歴史資料館見学、「喫茶いきいき」で交流、七夕飾りづくり、温泉女将から「温泉のすばらしさ」を聞き、弟子入り体験留学で来館した原町小の児童を交えフォークダンス。クリスマス交流会では、ゲームで楽しみ、サイエンス講演会で「地球温暖化と最近の天候について」学んだ。調理実習は水餃子を作り、コンサート・閉講式等々実施した。	4月17日 ～3月5日	10	322
★楽しいシニアライフ	新田地区の方が参加しやすいように新田コミセンに出前講座「無理なくやれるストレッチやリズム体操」、東部市民センター体育館で、生活の中で無理なくできる軽運動を健康講話や歌・ゲームを交えながら楽しく体験した。	12月3日 1月9日 1月23日 2月13、27日	5	125
★鉄道景観を活かしたまちづくりプロジェクト Vol.2 「東仙台・苦竹を写真で残そう！わが町・わが風景」	写真の基礎を学んだ後、「この町を知る。鉄道と私たち」をテーマに撮影実習に出かけた。受講生が撮影した作品を講師が講評し、今後の撮影のポイントを学び、再び町へ出かけ、スキルアップを図った。写真コンテストの開催・参加、サークルの立ち上げも話し合った。結果「東部写真倶楽部」が誕生した。	6月22日 7月13日 9月28日 10月26日 11月9日	5	131
東部市民センター地域懇談会	地域住民によるコミュニティづくりや地域課題の共有を図るための話し合い。施設利用者の交流、減免登録手続きの説明及び手続きを実施した。	6月25日 10月19日 11月19日 2月18日	4	80
★東部ふれあいまつり	開会式では東仙台中のブラスバンドが演奏を披露、舞台では児童館のよさこい踊り、ラ・サール・ホームのハーモニカバンドの演奏、体育館では、東仙台小・新田小の絵画の展示、児童館の「なめこ王国」は行列ができ、同時開催の平成商興会の野菜販売やテント販売も買い物客で賑わった。	10月6日	1	1274

★仙台七夕を作って飾ろう！	地域の折り紙ボランティアの指導を受け、仙台七夕の飾りについて話を聞いた後、折鶴・投網・くず籠・巾着・くす玉等を制作、ミニ七夕は、東部市民センターのロビーに、中学生・小学生の制作した七夕飾りは、JR 仙石線の陸前原ノ町駅・小鶴新田駅に飾られた。	6 月 27 日 7 月 2、4、11、 17(午前・午後)、25 日 8 月 1 日	8	546
★東日本大震災後の地域の活動記録	平成 24 年度から行った連合町内会会長始め学校関係者、さらには社会学級や PTA 会長、平成商興会長等による市民センターだよりでの記録寄稿リレーを記録集として残すため編集会議や座談会を開催し、震災の記憶（東仙台版）を冊子として編集・製本し配布した。	通年	12	43
★こんにちは東部市民センターです！「新田地域ふれあいコンサート」	新田地区にお住まいの方たちを対象に、新田コミセンで、東部市民センターの地域づくりと事業紹介、貸館ご利用の案内をした。続いて、懐かしい古賀メロディーを中心にギターのコンサートを開催した。	6 月 9 日	1	36
★地域の絆再生プロジェクト「地域づくり講座」地域プロデュース「東仙台輝きクラブ」企画「地域ブランドを創ろう」	寂しくなっていく商店街を活性化させる手段として地域ブランドのメニューを開発するため、ワークショップと試作検討、試食会を繰り返し、飲食店にランチメニューとして「東仙台塩釜焼き牛タン」を第 1 号のレシピとして提供した。	11 月 14 日 ～3 月 13 日	10	86
★地域の絆再生プロジェクト「地域づくり講座」地域プロデュース「東仙台輝きクラブ」企画「～伝えたい地域の歴史～再考」	地元学とはを学び、東仙台界隈のフィールドワークを実施した後、地元学の課題と方法論を検討し、生活班、歴史班、ジオラマ班に分れグループワークを開始した。それぞれ、調査内容をどんな意図を持って目標に迫りたいのかを吟味発表した。	11 月 27 日 12 月 18 日 1 月 22 日 2 月 26 日 3 月 6、7、8、9、 19 日	9	109
★●みんなで学ぶ「地域で支える東仙台防災ルール」	地域版避難所運営マニュアル作成支援アドバイザーによる研修会を開催し、仙台市の新地域防災計画、避難所の立ち上げ、避難所 HUG などを学んだ。仙台市避難所運営マニュアルに基づき東仙台版防災術を考えようと避難所ルールの素案を作成、東仙台災害対策委員会の発足、地域防災宣言文を採択した。東仙台版防災マニュアル作成の趣旨や規約を説明して協力団体を募った。	12 月 15 日 1 月 26 日 2 月 8、22 日 3 月 8、22 日	6	201
中学生地域貢献講座企画会議	本年度の取組と内容について、市民センター職員と打ち合せ後、講演内容の高齢者を対象とした詐欺事件といじめ問題について台本を検討、配役と構成を決め、台本の読み合わせ、台詞や立ち回り、通し稽古を繰り返し、最後に仙台東警察署による監修と衣装合せをし、講演当日へ準備を進めた。	6 月 1 日 ～9 月 30 日	16	236
★地域の絆再生プロジェクト「地域づくり講座」地域プロデュース「東仙台輝きクラブ」	地域の可能性と資源について・どのようなことができるか・講座を通じての街づくりについて学んだ後、地元学を再考・再発見し作っていくことによる社会貢献や地域づくり、地域ブランドとはなにか、試作検討、地域とどのようにコラボレーションできるのか、話し合い実践に移り、進捗状況を報告しあった。	11 月 14、27 日 12 月 12 日 1 月 22 日 2 月 13 日 3 月 19 日	6	66

幸町市民センター

〔沿革〕

幸町市民センターは、平成5年4月20日、幸町児童館及び幸町コミュニティ防災センターを併設した複合施設として開館した。

当市民センターがある幸町中学校区は、大型商業店舗の進出、民間マンションの建設などで町並みの変容著しい幸町・大槻地区と、与兵衛沼、榊江の森などの緑豊かな自然に恵まれた柞江地区からなる。仙台市ガス局や県・市障害福祉センターなどの公共施設や、きぼう園、いずみ授産施設などの福祉施設とともに、国、県、市の公営住宅があり、民間も含めて集合住宅が多い地域でもある。ここ数十年で地域の環境は大きく変化し、子育て中の世代や若年層の住民の増加がみられる。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	さいわい・ふれあい講座		
参加者	地域住民	延参加者	89人
開催日	全4回 2月5日(水)、19日(水)、3月3日(月)・9日(日)		
協力者・協力団体	宮城県障害者福祉センター、宮城県障害者総合体育センター、社会福祉法人つどいの家仙台つどいの家		
ねらい	地域の人々の障がい者支援に対する意識は高まっている。支援をする側、受ける側という立場にとらわれず、「互いに支え合う」関係づくりを目指し、障がいの有無に関わらず、共に体験し、楽しみながら交流する機会を設ける。		
概要・成果	スポーツや文化活動を障がいのある方と共に楽しみ、支援のあり方や誰もができるサポートについて学び合った。最終回には、近隣の福祉施設の利用者や中高生の参加もあり、障がいの有無、年齢、性別を問わずコミュニケーションを図る場となった。また、各回の茶話会において、講座を振り返りながら、参加者の意見を伺うことで気付きの場となり、協力団体と共有することができた。参加者自身が楽しみながら活動する中で、障がいのある人を特別扱いするのではなく、共に助け合い、支え合うという関係を強めることができた。		

〔平成25年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
にこにこママの子育て講座	講話と実技「絵本の読み聞かせ、エプロンシアター、食育について、ミニコンサート」子育てママのお悩み相談室を実施。	6月14日 ～7月19日	4	40
親子で挑戦！仙台再発見	体験学習「仙台みその簡単クッキング、星空観察、仙台弁であそんじゃお、仙台白菜のクッキング」を実施。	6月15日 ～1月25日	4	116
わいわい農園 Part3 「野菜を育てよう会」	講話と実技「種まき、苗植え、草取り」など畑の作業の基本を学び世代間交流を図り野菜づくりを実施。	4月27日 ～8月24日	5	70
ママのリフレッシュおうえん講座	講話と実技「カントリーダンス・マクロビオテッス入門」や情報交換を実施。	10月4日 ～1月28日	4	30
さいわいどんぐりクラブ	体験学習「ダンゴムシ迷路で学ぼう、ハンド・グライダー作り、未来都市作り、伝統凧作り」を実施。	6月1日 ～1月19日	4	21

＜宮城野区＞

仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童および世話人を対象に、子ども会活動に役立つ知識やレクリエーション・ゲームの学習を実施。	2月 8日	1	52
ジュニアリーダーとあそぼう	市民センターまつりでジュニアコーナー、的当てコーナー、もぐらたたきを実施	11月 17日 12月 7日	2	200
さいわい男子会	講話と実技「男を磨くセンスアップと会話術」支援活動「子どもたちとサバメシ交流会、伝統凧づくり」	5月 18日 ～1月 12日	5	28
幸町生涯大学	講話「井上ひさしの生涯をたどりながらの作品の解説、介護保険について、なつかしい昭和の話を歌と映像等」実技「ストレッチ運動・気功等」実施	4月 25日 ～2月 20日	13	545
学校へ行こう隊	幸町小学校「自然観察、手話体験、昔あそび」幸町南小学校「畑の話、しめ縄づくり、百人一首、昔あそび、戦争体験」柞江小学校「しめ縄づくり」を実施。	7月 16日 ～2月 19日	10	32
●宮城野区まちづくり推進課委託事業 幸町南学区地元学推進事業	ワークショップを行い情報をまとめ、幸町南小学校学区の地域の紹介マップの作成を実施。	7月 19日 ～3月 18日	7	166
●一人ひとりにやさしい防災の輪	幸町中学校生徒が調べ学習を行い、幸町中学校周辺の「防災・防犯マップづくり」の取り組みを実施。	5月 15日 ～3月 11日	21	1997
★第17回幸町市民センター・児童館ふれあいまつり	幸町地域の3つの連合町内会と健全育成会、団体、サークルのステージ演技発表・作品展示発表など。	11月 17日	1	3000
地域連携会議 ハッピーナイトコンサート	「ハッピーナイトコンサート」に向けて、企画会議を行い、コンサートを開催した	7月 3日 ～1月 22日	7	127
幸町市民センター地域懇談会	各町内会、福祉施設、幼稚園、保育所等地域団体との防災マニュアルについての情報交換を実施。	7月 17日 ～2月 18日	3	56
地域に発信！さいわいまちづくりプロジェクト地域の防災養成講座	講話「障害の特性について、地震・津波のメカニズムについて、仙台的な地域防災計画について」ワークショップ「理想的な避難所運営とは」。今年度の振り返りと次年度に向けての話し合いを実施。	8月 2日 ～3月 20日	5	44
どきどきわくわく一緒に体験 支え合一人の人になる	実技「和紙の花器づくりを片手で作業し支援する側、される側の体験や風船バレーを体験」講話「障害をもつ方の接し方」笑顔のふ・ふ・ひろばを開催しふれあいの場を実施。	2月 5日 ～3月 9日	4	89
ジュニアリーダー定例会	ジュニアリーダー活動についての打合せ等を実施。	5月 11日 ～3月 15日	12	33
市民企画会議	子育て支援をテーマに講座の企画運営を実施。	6月 13日 ～2月 22日	12	56

田子市民センター

〔沿革〕

田子市民センターは、平成 11 年 8 月、仙台市で 53 番目の市民センターとして開館し、児童館とコミュニティ防災センターを併設し、多目的ホール、会議室 2 室、和室 2 室、調理実習室、児童館図書室などを備えている。

当市民センターの位置する田子地域は仙台市東部に位置し、市中心部と直結する JR 仙石線(最寄駅:福田町駅)や国道 45 号線等に近い交通の利便性から開発が進み、人口が増加している。幼稚園や小中学校、高校等の教育施設にも恵まれ、地域リーダーとして活躍する人材が豊かで、地域づくりに関する住民意識も高く、防災訓練等の特色ある活動が活発に行なわれている。当市民センターは、これらの立地要件を活かしながら、地域団体や学校との連携に努め、事業を展開している。

こうした中、平成 26 年度には田子西復興公営住宅が入居開始となり、その田子西第二復興公営住宅建設や集団移転用地造成の完了に伴い、平成 28 年度までには約 700 世帯を新たに住民として迎えることとなる。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	★季節のハーモニー～田子で出会えるすてきなコンサート～		
参加者	地域・近隣の方	延参加者	544 人
開催日	全 3 回 4 月 27 日(土)、8 月 24 日(土)、12 月 21 日(土)		
協力者・協力団体	地域の方		
ねらい	田子地域は、震災復興に係る復興住宅や集団移転用地の整備等により、今後多くの転入が予定されている。そこで、市民センターが地域の交流拠点を担うべく、多くの人が身近で上質の音楽に親しみ気軽に集えるコンサートを行い、音楽を通して転入者と地域住民との交流拡大のきっかけとする。また、市民センターの取り組みや各種事業を広報し、地域への理解と新たな利用者の増加を図る。		
概要・成果	誰もが参加しやすいコンサートを開催したことで多くの交流が図られた。1 回目は地域在住の音楽家の協力により、東京より弦楽四重奏団を呼ぶことができ、2 回目のブラジル音楽では「夏の講座」でパーカッションを体験した子どもたちが参加するなど、聞くだけではない参加型のしかけにより来場者の反応も前回とは違った趣向に大変良い印象を感じた。3 回目のコンサートにおいては地域のコーラスサークルの指導者が企画・運営に携わって実行委員会を立ち上げ 3 つの出演団体が連動したプログラム構成を組み立てたり、合同合唱をするなど手作り感あふれるコンサートとなった。また、広報では地元の新聞店が協力を申し出るなど、講座を通して地域の諸団体間のつながりも深められた。全 3 回のそれぞれ違った試みにより転入者・転入予定者も多く来館し次年度への期待が高まっている。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
★ちょっとひと息タイム～子育てしゃべり場	学校や世代が違う母親達が生育について語り合う場を開催。アイスブレイクの後グループでおしゃべりし、発表。テーマは 1 回目「家庭でのお手伝い」2 回目「ドキュメンタリー映画：南相馬原町区ぼくの町の住人を見て」3 回目「親離れ子離れ」	6 月 26 日 10 月 4 日 3 月 5 日	3	67
インリーダー研修会	行事プログラムの作成、子ども会活動全般・世話人の役割・情報交換会、レクゲームの進め方を学んだ。	3 月 2 日	1	30
夏の講座	手話講座、動物とのふれあい講座、茶道講座、ベガ号での星の観察講座、太極拳講座、打楽器ワークショップ、マイスタンプづくり講座、竹トンボ製作講座、合唱サークルのコンサート、朗読サークルのお話会等 15 講座開催した。	7 月 19 日 ～8 月 2 日	15	445

★オイルパステルで描く アートサロン	実技が中心で、五感や感情を刺激しながら作品を描いた。題材はりんご・さつまいも・里芋など季節がら新聞紙を丸めて南瓜の形にしてその上に和紙をちぎって貼っていく。又色鉛筆で線を重ね引きモチーフのようにして色を楽しんだ	9月12日 ～10月24日	4	27
田子老壮大学	「笑いと健康」講話、「軽体操」、講話試食「野菜で夏バテ予防」、講話「今どきの子育てについて」、講演「歴史津波が語るもの」、講話「漢方とハーブ」、講話「東北地方の気候の変化」、映像鑑賞「昭和の仙台を語るもの」、新春演芸「歌と踊り」	5月8日 ～2月5日	10	312
みんなで学ぶ地域防災	10町内会による地域防災訓練、一時避難所に移動、安否確認、避難者確認、要援護者避難支援活動、仮設テント・仮設トイレ組み立て、負傷者救護訓練、炊き出し訓練等を行った。	11月10日	1	1573
たごっ子まつり	田子小・田子中ジョイントコンサート、消防分団や高砂日赤奉仕団・地域の活動団体やサークルによる展示発表とステージ発表、田子小・高砂小・田子中・宮城野高の作品展示各町内会による模擬店。	2月15日	1	2000
田子市民センター懇談会	各町内会長・学校・地域団体と①年間の行事等についての情報交換②防災訓練についての意見交換③次年度事業についての意見交換を行った	5月22日 12月4日 3月1日	3	46
三館共催事業 地域の絆 「講」の再発見～旧高砂村 の講を探る～	仙台市歴史民俗資料館職員より調査方法等講座運営のアドバイスを受けながら、オリエンテーションを開催。地域住民で構成された9名の調査員による聞き取り調査。調査表の作成。中間発表会で調査対象者に経過及び成果報告。	4月11日 ～3月6日	21	173
★田子地域連携企画会	田子社会学級、田子中学校PTA、子育て支援クラブと連携し、地域の家庭教育の課題について話し合いを持った結果、様々な世代の母親の交流の場として「子育てしゃべり場」を企画し、運営した。	4月23日 ～3月12日	13	59
★●田子のきずなステーション	きずな通信の発行（5回）。「オープンクラス卓球」の開設（6回）。実技「七夕づくり」街歩き「田子のさんぽ道」講話「こう変わる！田子のまちの姿」「田子のお茶っこサロン」。ロビー展示。復興関連部局等に情報提供依頼。	6月23日 ～3月22日	21	94
市民企画会議「田子愛する住民塾」	高齢者の生きがいづくりのためのアンケート報告書の作成、集計結果から今後の取り組みについて検討。福田町駅のバリアフリー化への提言検討、JRなど関係者から情報収集。生きがいづくりの講座について検討し、昔遊びに着目し企画。	4月11日 ～3月14日	15	111
★集まれ！卓球仲間～オープンクラス運営ボランティア養成～	受講生17名実技が中心で、サーブの出し方・打ち方など。また二人一組になりダブルスのボールの出し方ルールを体得した。また、ボランティアとしての心構えを学習した。	5月25日 ～7月20日	10	142
はじめませんか？花と緑のボランティア 植栽管理ボランティア養成講座	春の花壇の手入れと柵作り、緑のカーテン植え付け、夏の講座準備・竹とんぼ作り、夏の講座竹とんぼ作り手伝い、緑のカーテン収穫、緑のカーテン撤去・四つ目垣作り、お正月飾りを製作。	5月24日 ～12月20日	8	63
図書ボランティアスキルアップ講座 ～本の修復と整頓術を学ぶ～	ボランティアの方のスキルアップとして第1回目は本の修繕、第2回目はPOP作りを学んだ。第3回目は選書体験をした。	11月14日 11月21日 11月28日	3	21

福室市民センター

〔沿革〕

福室地区は西に七北田川、北は多賀城市に接し、南は仙台港背後地に囲まれた地域で、かつては豊かな田園地帯であった。昭和 30 年～40 年代にかけて住宅地や市営住宅が造成され、住環境が急速に整備された。国道 45 号線、JR 仙石線の沿線という利便性から、最近では仙台港背後地の開発や商業施設の増加に伴い、高層住宅、集合住宅が増え、人口は増加傾向にある。旧来の農地は激減したが、今も七北田川周辺の豊かな自然は健在である。

同地区に位置する福室市民センターは、中野中学校区を対象地域として平成 15 年 3 月に開館し、児童館、コミュニティ防災センターを併設している。年々利用者も増加し、地域住民の生涯学習の拠点として、広く親しまれ利用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	見なし仮設入居者支援講座～だれでもサロン「まざらいん」～		
参加者	見なし仮設住宅入居者および地域住民	延参加者	162 人
開催日	全 3 回 6 月 28 日(金)、9 月 27 日(金)、1 月 25 日(土)		
協力団体	支えあいセンターみやぎの、高砂第二地区民生委員児童委員協議会		
ねらい	東日本大震災から 2 年が経過した現在も、当センター館内では多くの人々が見なし仮設住宅に暮らしている。他地域から移り住んだ人たちは地域とのつながりが薄く、孤立の危険にさらされている人も少なくない。そこで、気軽に参加して地域住民と出会い、交流ができる場を設けて、新たな人間関係を育んでもらう機会とする。		
概要・成果	見なし仮設入居者、地域住民と分けることなく、気軽にみんな一緒に参加できるよう、健康体操や当センターで活動しているサークルを講師にカラオケを実施し、その終了後には講師や参加者のお茶会を設定して、雑談や情報の交換等で交流を深めた。また、3 回目には「福室縁芸場」を開催し、福室児童館有志の特技の発表や地域団体による昔の農作業の寸劇、センターで活動しているカラオケサークルの発表やちんどんパフォーマンスなど、地域の来場者と出演者が一体となり、演芸を楽しみながら地域住民同士の交流を深めて、新たな出会いの機会を提供することができた。		

〔平成 25 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
市民企画講座「子育てママのハッピータイム」	ママ企画員の企画運営で、0 歳～3 歳児の親子を対象に「親子で楽しむリトミック」「ちびっこまつり」「地元の食材で楽しいお弁当を作ろう！」の講座を実施した。	7 月～2 月	3	130
インリーダー研修会	子供会のリーダーとして活躍できる児童及び世話人を対象に、子供会活動に必要な知識や行事の企画づくりや集団ゲームの実技演習を行った。	2 月 15 日	1	46
福室みんなの体験楽校	「学びのコミュニティづくり推進事業」で培った人的ネットワークを活かしながら、「ピザづくり体験とみんなで遊ぼう！」「みんなで小さな演劇をつくらう！」「みんなでもちつき体験」「みんなでつくろう！新聞紙基地」の講座を実施した。	9 月～2 月	4	276

学社連携事業	福室小学校・中野栄小学校と連携して、地域人材を活用し、「福室歴史ウォーク」「戦争体験を聴く」「昔遊びを体験する」「地域の昔の話～農業編～」を行った。	11月～2月	7	712
★市民企画講座「災害の歴史を解き明かす」	過去から学ぶことの重要性を再確認し、後世のために今何が出来るかを考える機会として、「地名と災害」「自然災害と人災～仙台藩に見る天明の大飢饉～」、東日本大震災を風化させない！」の講座を実施した。	7月～8月	3	106
福室老壮大学	「福室老壮大学生の歌を歌う」「3B体操」「気象に関する基礎知識」「映画ふくむろ座」「認知症の理解と予防」「復興シャンソンコンサート」「行政相談」「川柳」「宮城野区の現状」「演芸みやび座」などの講話と実技を行った。	5月～2月	10	679
ふくむろ和みサロン	福室若葉・高砂住宅西・福室新田前の各町内会と高砂社協および（財）音楽の力による復興センターとの連携で、仙台フィル団員による「復興コンサートいきいきサロン」と、高砂東集会所に出向いて「仙台弁昔語り」を行った。	11月～3月	2	213
三館共催事業 地域の絆「講」の再発見～ 旧高砂村の講を探る～	各館ごとに地域の方に調査員になってもらい、三館の管轄地域に現存する、または途絶した「講」について聞き取り調査を行って、3月に中間報告会を実施した。	4月～3月	18	147
社会学級との連携事業	社会学級との講座の打合せを経て、地元で活動しているJポップのコピーバンドによる「みんなの輪コンサート2013」を開催した。	12月1日	1	105
市民企画講座「ふくむろおたから見つけ隊！」	世代間交流を図りながら地域の歴史や特性を学習するため、「おたからザクザク！？向田文化財整理収蔵庫へ行ってみよう」「からむしのミサンガづくりに挑戦！（2回）」の講座を実施した。	7月～9月	3	29
★平成25年度福室学区町内会協議会・防災会議	地域防災活動推進のため、町内会を始めとする団体と市民センターが連携し、運営委員会を重ねながら組織作りから防災学習、防災訓練等を実施した。	4月～12月	12	251
第9回福室市民センターまつり	地域の生涯学習発表と地域団体や住民との交流を深める場として、「舞台発表」「展示発表」「出展販売」等を実施した。	11月3日	1	2500
地域懇談会	地域の町内会会長、小中学校校長、地域団体の代表と意見交換の場を持ち、市民センター事業への理解や地域の情報共有を図った。	5月17日	1	19
★緑のまちづくり 庭木 剪定講座Ⅱ	植栽や緑化・剪定についての講義の後、市民センター内の樹木の剪定と福室小学校校庭の松の剪定の実技を技を行った。	6月～10月	5	54
市民企画会	「高砂おたから探訪の会」メンバーが専任となり、検討や学習会を重ねて地域の歴史や産物の地域資源を活かした講座を企画し、2講座を実施した。	4月～3月	15	8
市民企画会 「子育てママの市民企画会Ⅲ」	子育て中のママ企画員と育児中の母親の視点を入れて地域の親子のための講座を企画し3講座を実施した。講座実施に合わせて参加者のプレゼント用のメダル等の作成も行った。	4月～2月	24	156
ぐるっと！ふくむろサークル体験	センターを拠点に活動しているサークル団体の活性化と活動の情報提供のため、サークルの活動日に合わせて「サークル体験・見学会」を実施した。	7月～8月	17	38

若林区中央市民センター

〔沿革〕

若林区中央市民センターは、昭和 53 年、当時の養種園の改築に伴い、養種園の複合施設として「南小泉市民福祉会館」の名称で開館し、その後、条例改正により「南小泉市民センター」と名称を変え、平成 5 年 9 月 28 日、若林区文化センターの新設に伴い移転して、現在の「若林区中央市民センター」となった。旧建物は児童館・社会福祉協議会等との複合施設となり、「若林区中央市民センター別棟」として運営されている。当市民センターを含む若林区文化センターは図書館・市政情報センターも併設されている複合施設である。こうした立地の下、当市民センターは地域の生涯学習活動の拠点として多くの区民に活用されている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	おもちゃドクター養成講座		
参加者	高校生以上	延参加者	72 人
開催日	全 5 回 8 月 31 日、9 月 7 日・14 日・21 日・28 日（各日とも土曜日）		
ねらい	若林区中央市民センターで養成したおもちゃドクターが、若林区中央児童館を中心に、ボランティア活動を行っているが、最近ドクターが不足している状況であることから、新しいドクターを養成し、ボランティア活動が広がるきっかけとなるようにする。		
概要・成果	「おもちゃドクター」としての活動は単におもちゃを治すだけでなく、子どもたちに治すところを見せて、子どもたちが治す手助けをすることが大切であることなど、講話とおもちゃの修理の基本を学んだ。受講生は欠席することなく、技術習得に意欲的に取り組み、その後、おもちゃ病院のメンバーとなって、ボランティア活動の広がりにつながった。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
みんな集まれ！音楽ひろば	音楽とおはなし、音楽と運動をコラボレーションした親子で一緒に楽しめる音楽会を開催した	7 月 10 日 12 月 4 日	2	195
●家庭教育講座 幼児編 「わたしと子どもと子育てと」	子育て中の保護者が、講話やワークショップを通して、親が自分を大切にすることを学び、交流を深めた。	6 月 21、28 日 7 月 5、12 日	4	31
子ども会インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとなる児童及び世話人を対象に、子ども会活動についての知識やレクリエーションなどの実技を学習した。	インフルエンザの為に中止	1	
ワカチュウ子どもランド 「ジュニアリーダーと遊ぼう」	秋休み期間中に子どもたちの居場所づくりと、市民センターを利用するきっかけとなるよう、かさぶくのロケットを作って飛ばす体験コーナーを担当した。	10 月 14 日	1	80
開館 20 周年記念事業 「七夕飾りを作ろう」	七夕飾りがホールを彩る七夕のシンボルとなるように、地域住民が交流を図りながら、七夕飾りを作成した。	6 月 13、20、27 日 7 月 4、11、25 日	6	116
仙台市史講座「仙台を支えた近郊農村」	若林区の六郷村・七郷村・南小泉村の地域の歴史の紹介やこれら地域の歴史的な意味について学習した。	9 月 16 日	1	78
南小泉老壮大学教養コース	60 歳以上の方を対象に、ともに学びあう場を設定し、心身ともに健康で実り豊かな生き甲斐のある人生を送るために、文学・福祉などの多種多様な学習の場を提供した。	4 月 17 日 ～3 月 5 日	11	843

《若林区》

南小泉老壮大学健康コース	60歳以上の方を対象に、ともに学びあう場を設定し、心身ともに健康で実り豊かな生き甲斐のある人生を送るために、健康講話や軽運動などの多種多様な学習の場を提供した。	4月24日 ～3月12日	11	753
★●【出前講座】 シニア元気倶楽部	仮設住宅や地域の集会所に出張して、ものづくり、軽運動、健康講話を実施し交流を図った。	9月29日 10月10日 11月9日	3	68
シニア世代向け栄養講座 「お手軽！バランス食生活」	シニア世代がすぐに取り入れられる低栄養予防のための食事の仕方を学んだ。	11月7日	1	20
仙台七夕に願いを	七夕飾りを中心とした七夕を文化センターのエントランスホールに飾り、そこで七夕にちなんだ折り紙体験コーナーや短冊コーナー、パネル展示を行った。	7月27日 8月3日	2	130
★タぐれどきのミニコンサート	地域の方どなたでも気軽に参加し、音楽を楽しむように夜間のコンサートを開催した。	8月3日	1	50
市民企画講座「地域で暮らすということ一足で確かめる南小泉界限」	若林区の魅力を再発見し地域を知るきっかけとして、「地域の歴史学習講座」を開催し、講話や館外学習、交流会を実施した。	6月1、15日	2	44
★●南小泉地域防災訓練 一避難所での過ごし方	地域防災訓練において、地域の1団体として訓練に参加し、地域との連携を図った。	10月26日	1	800
社会学級共催事業企画会議	地域の社会学級と地域課題を共有し、地域のニーズにあった事業「暮らしの中の簡単ヨーガ」を企画・実施した。	6月19日 7月17日 8月28日 11月6、20日	6	20
暮らしの中の簡単ヨーガ	社会学級共催事業企画会議から生まれた講座。健康づくりのために、ストレッチヨガ、指ヨガの紹介、体験をした。	11月20日	1	48
●若林区東西線沿線魅力探検隊	平成27年度開業を予定している地下鉄東西線の宮城野通・連坊・薬師堂駅界限を街歩きし、マップを作成した。	7月28日 8月24日 9月29日 10月12日 11月16日 12月15日 3月9日	7	142
若林区中央市民センター 第20回学習発表フェスタ	若林区中央市民センターを利用している団体・個人、また若林地区で活動している団体・個人の学習成果の場、及び地域住民が気軽に集え、交流できる場を提供した。	2月15、16日	2	979
若林区中央市民センター 事業懇談会 田んぼっ区 懇話会	市民センターの事業を魅力あるものにするために、地域の課題やニーズの聴取を行う。また、市民センター運営に関する意見を通して、地域住民とともに良い市民センターの運営を考える場とした。	9月4日 3月1日	2	35
ジュニアリーダー田んぼ っ区定例会	ジュニアリーダーの活動及び地域の子ども会活動の活性化のために定例会を開催した。	4月14日 ～3月9日	12	95
市民企画会議「地域で暮らすということ」	地域住民が企画・運営を通して市民センター事業に関わることで、地域の学習ニーズを反映したより豊かな学習の場を提供し、学ぶことの楽しさや必要性を知る機会とした。講座「足で確かめる南小泉界限」を企画・実施した。	4月8、20日 5月22日 6月1、15、21日	6	16
若中サークル案内月間～ あなたもはじめてみませんか	展示ギャラリーを利用し学習情報やサークル情報の提供を行った。	2月1日～28日	1	700

七郷市民センター

〔沿革〕

七郷市民センターは、地元住民の要望により「七郷公民館」として昭和58年4月に保健センター・コミュニティ防災センターとの複合施設として開館し、平成元年には「七郷公民館・市民センター」となり、若林区の拠点館となった。平成2年には「七郷市民センター」と改称。平成5年9月には若林区中央市民センター開館に伴い、拠点館機能を移行した。平成14年4月児童館を併設、さらに平成22年2月に大規模改修工事を終え、再開した。

近年、七郷地区は、復興住宅を含めた荒井土地区画整理事業及び地下鉄東西線の開業を見据えた中での新しい街並みが形成されつつあり、今後の街づくりに向けて市民センターの果たす役割は大きくなっている。新旧住民が交流しながら発展する街づくり・文化づくりに当市民センターは機会と場を提供している。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★あの時を忘れないー震災の記憶(地域の絆づくり推進事業)		
参加者	七郷地区民生委員・福祉委員・各種団体・事業所 荒浜地区住民	延参加者	591人
開催日	全28回 4月9日(火)～1月23日(木)		
協力者・協力団体	東北大学災害科学国際研究所、せんだいメディアテーク、六郷・七郷コミネット		
ねらい	東日本大震災の被災者や支援活動者等から震災における体験や記憶を聞き取り、次世代へ記録として残す作業を通して、また、その作業過程で見出した課題等の解決策を講じることで、多くの地域住民が関わり合いを持ち、地域の絆の再生、そして復興への歩みを進めていくことのきっかけづくりとする。		
概要・成果	地域の絆づくり推進事業として平成24年度から3年計画で取り組んできた事業の2年目。平成25年度は、七郷地区の民生委員・福祉委員・各種団体・事業所等から当時の被災状況や活動状況など生の声を聞き取り、まとめて記録集を発行した。その聞き取りを通して地域の団体が抱える様々な問題点、課題の把握へとつながった。また、荒浜交流イベント「秋だ！みんなで芋煮会」の開催により、住居が分散してしまっている荒浜の方々の絆を繋ぐ場づくりができた。		

〔平成25年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●子育て応援講座 「子育ての輪をひろげよう」	子育て世代が不安に駆られ孤立しないように、情報交換・仲間づくりの場を提供した。幼児期の心身の成長の講話、軽食にもなるおやつ調理実習、日本語と英語のお話会、ピラティスでリラックス。	9月27日 10月4、11、18日	4	32
七郷子どもクラブ	子どもの学校間交流、異年齢交流の場を提供。ヒップホップダンス、木工教室、アフリカンリズムコンサート、タップのリズム、フラッグフットボールなど。	6月29日 ～3月25日	5	156
インリーダー研修会	子ども会活動の充実のために、研修会を開催。児童向け：子ども会行事のプログラムのたて方、世話人向け：子ども会と世話人の役割についての講話、全員に活動に役立つゲームと進行の仕方。	2月22日	1	37

★第 31 回 七郷老壮大学	合唱サークルによる唱歌・童謡、魚偏の漢字の話、戦争体験講話、映画鑑賞、健康体操、仙台弁の魅力、くらしとお金の講話、邦楽器による演奏、看護師による健康講話、震災後のボランティア活動のお話。	4 月 10 日 ～3 月 12 日	11	815
★週末ファームクラブ	地域の農家及び農業支援団体 ReRoots と連携・交流しながら、地域特色である野菜作りの体験学習を実施（トマト等夏野菜と大根）。さらに調理実習で収穫の喜びを実感することにより、農家を支援する機運が高まった。	5 月 25 日 ～12 月 14 日	21	269
★市民企画講座 「七郷ハートフルコンサート」	被災された方々が地域の方々と共に楽しい時間、癒される時間を過ごすことで復興への歩みを進める一助とした。吹奏楽、ジャズ、合唱とハーモニカのコンサートを開催した。	10 月 6 日 11 月 16 日 2 月 8 日	3	200
七郷学びの応援隊企画講座「七郷の歴史と未来」	「七郷学びの応援隊」で企画した七郷の温故知新講座。地下鉄東西線荒井駅見学会、『七郷かるた』による地域の歴史講話。	11 月 27 日 2 月 18 日	2	61
七郷学びの応援隊	地域内小学校社会学級との連携により地域への理解を促す講座「七郷の歴史と未来」を企画、運営した。	6 月 18 日 ～2 月 28 日	10	48
★第 30 回 七郷市民まつり	謝恩即売、展示（サークル・中学校）、演芸、保健センターまつり、青少年健全育成、消防展示・体験、バザー、児童館まつり、オークション、30 回記念イベント。	11 月 23、24 日	2	14000
七郷地域懇和会	市民センターが補助避難所となることから、町内会、民生委員、各種団体等と避難所運営マニュアル策定に向けた事前協議の前段階として懇話会を実施した。参加者間で問題点の洗い出しをし、様々な課題を共有した。	2 月 21 日	1	29
★未来への伝言 ー七郷を語り継ぐ	変貌著しい七郷の歴史や震災の記憶を次世代に語り継ぐための語り部育成講座。歴史講話、地域探訪会、遺跡見学会、震災体験を語る会など。	9 月 14 日 ～3 月 8 日	8	69
読み聞かせボランティア フォローアップ講座	図書館司書による読み聞かせに向く本の紹介、グループに分かれお話しプログラム作りワークショップ、発表および検討。	5 月 24 日 ～6 月 14 日	4	58
ジュニリーダー活動支援 「郷郷七郷」定例会	子ども会や地域のイベント等への要請対応、スキルアップのための研修、ジュニアリーダー同士の交流。	4 月 14 日 ～3 月 9 日	12	19
★市民企画会 「七郷ハートフルコンサート」	当市民センターで活動するサークル自らの手で、被災した地域住民が癒し時間、交流を深めることのできるコンサートを企画、運営した。企画会、講座運営、反省会。	5 月 25 日 ～3 月 22 日	10	66

荒町市民センター

〔沿革〕

荒町市民センターは、昭和 47 年に旧斎藤記念館を全面改築し、「荒町市民福祉会館」として昭和 48 年 5 月に開館した。昭和 58 年 4 月「荒町市民センター」と名称変更した。施設は、老朽化と機能拡充の必要性から現在地に建物を改築し、平成 22 年 2 月 2 日に開館した。

当市民センターが所在する荒町地区は、仙台市のほぼ中心部、昔からの老舗街である荒町商店街の一角に位置しており、仙台藩の名残を今尚残している地域である。

地下鉄五橋駅から徒歩 5 分、JR 仙台駅から徒歩 20 分と交通の便に恵まれ地域の方をはじめ市内全域から多くの市民に利用されている当市民センターは、日中はもとより、夜間も仕事帰りの活動の場として、幅広い年齢層に活用されている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画会議「ガチンコ企画会」		
参加者	一人暮らしの若者	延参加者	59 人
開催日	全 18 回 5 月 18 日(土)～3 月 9 日(日)		
ねらい	荒町地区は文教の町で、ひとり暮らしをしている若者が多く、普段の生活に様々な不安や悩みを持っている。その若者が集まって知恵を出し合い、交流を深め、若者が不安や悩みを出し合い解決できるような講座を企画し、実施する。また、より多くの若者に市民センターを利用してもらうきっかけとする。		
概要・成果	SNS を活用するなど若者の視点を取り込んで、“共有”をテーマとした一人暮らしの若者向けの全 5 回の講座を企画、実施。内容は“話す”ことに重点をおきながら、生活に密着した題材をとりあげた。若者らしさ溢れる開催講座のチラシは大変好評だった。この企画会が同年代の一人暮らしをしている若者の交流の場となり、それぞれの悩みや不安を共有し解決を図ることへの一助となった。また、企画員も、市民センターを知り、利用しはじめるなど若者の市民センター利用につながった。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
あらまち子ども囲碁クラブ	囲碁を通じて地域子ども達に土曜日の余暇活動の場を提供するとともに、コミュニケーション力の向上を図った。児童館と連携し会場とすることで、自由来館の子ども達にも囲碁を広く知らせ仲間づくりへと繋げた。囲碁の基礎知識の習得と対局練習、礼儀とあいさつの指導。	4 月～3 月	26	194
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活動する児童及び世話人を対象に、講話「子ども会と世話人の役割」実技「レクリエーションゲームの進め方」等を行った。	2 月	1	70
広瀬川とサケ	地域子ども達にサケの遡上を通して広瀬川の自然に親しみ、命を大切にすることを育成。サケの卵の育ち方と稚魚になるまでを観察し記録に残す。稚魚の放流までを行った。	11 月～3 月	4	106
あらまち子ども企画室	地域の小中学生が、自ら企画運営など自主活動を行い、子どもの自主性や社会性を養う機会とした。定例企画会の他、地域のゴミ拾いやミニイベント、市民センターフェスティバルへの参加等。	5 月～2 月	23	245

★荒町いきいき講座	聴覚障害者と手話通訳学習者を対象に、気軽に参加できる情報交換や生涯学習の場を提供。コミュニケーション力向上や心を癒す物作り。	9月	3	71
荒！こんにちは！	一人暮らしをしている若者が共通の生活課題に関する学習を通して気軽に時間、情報、気持ちを共有し直接繋がるきっかけとなる場を提供。	11月～2月	5	27
あらまち町民大学シルバーセミナー	高齢者を対象に、健康で心豊かな生活を送るために生涯学習の機会を提供。また、各種クラブ活動を支援した。定例講座（月1回）：時事問題や健康に関する講座等と館外学習、運営委員会自主企画講座。クラブ活動：コーラス、ハーモニカ、散策、川柳。	4月～3月	11	660
荒町シニアのための健康講座	高齢者を対象に介護予防に必要な知識を習得し介護予防の向上を図った。地域包括支援センターとの共催で、専門的な講話や実技を実施。	9月～11月	6	119
伝統の仙台七夕	荒町商店街の七夕まつりに参加し地域活性化を図った。また、聴覚障害者も参加できるよう学習のバリアフリーを目指した。	7月～8月	5	111
荒町市民センター・児童館フェスティバル	地域住民と利用サークルが学習の成果を発表する場として開催。生涯学習および地域住民とコミュニティづくりを促進。作品展示、ステージ発表、チャリティバザーなど。	10月	2	2910
★あらまち”ほっとハート”音楽会	震災後の地域のつながりを重視し、「出会い・ふれあい」をテーマに、音楽を通じて気軽に参加できる地域住民の交流の場を提供。商店街を会場とした音楽鑑賞会と交流会。	11月～3月	2	75
★地域懇談会	地域課題の共有・解決をテーマに広く利用者や地域住民と意見交換を行った。24年度に5年ぶりに総合防災訓練を実施した結果見出された種々課題について議論を重ねた。より実効性の高い訓練を目指した。	11月～3月	3	24
伝えよう荒町の歴史・繋げようみんなの輪	荒町の歴史や生活の様子を知る人や語れる人が少なくなっており、荒町大好き企画会受講生らがこれまで学んで得た学習の成果を活用しながら地域の子ども達や住民に荒町の歴史や魅力を伝えた。	1月～3月	3	28
荒町小学校地区 総合防災訓練	前年の課題をふまえ、専任の活動班を組織して避難所運営訓練を実施し、各団体とのネットワークの取り方について学んだ。マニュアルや体制の見直しも検討した。	9月	1	411
ジュニアリーダー定例会	ジュニアリーダーの活動準備や報告、要請の調整、自主企画および準備、情報交換。助言やサポート、自主的活動を支援し校外活動の充実を図った。	4月～3月	12	34
荒町大好き企画会～探ってみよう歴史・文学の町荒町～	昨年度の中将七五郎記念室運営講座を継続し、その受講生が自ら企画員となり、荒町の歴史講座を企画。企画にあたり、造詣を深めるため、昨年度からの途中段階である資料、遺品の整理・調査研究も行った。	4月～3月	16	49
市民企画：荒町小学校区防災委員会	前年度5年ぶりに総合防災訓練を実施した結果、見出された種々の課題を整理し、より実効性の高い訓練を目指すとともに各団体のネットワーク化を図った。訓練に向けての打合せと振り返り。	5月～11月	7	263

〔沿革〕

昭和 56 年、地域住民の福祉増進を目的に保健センターとの複合施設「六郷市民福祉会館」が開館し、昭和 58 年に「六郷市民センター」と名称を改め、地域の社会教育活動の場として地域に定着した。平成元年には公民館としての機能が加わり、平成 2 年には「六郷児童館」を併設、さらに平成 22 年 12 月に大規模改修工事を終えて再開し、生涯学習の拠点として現在に至っている。

六郷地域は名取川と広瀬川の合流点を有し、かつて河口には美しい干潟や貞山堀運河、屋敷林の居久根など自然環境や歴史的遺産が残されていた。しかし、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、沿岸の東六郷地区は住宅・学校・農地・事業所といった生活基盤のほとんどが壊滅的かつ甚大な被害を受け、地域が一変した。

現在、地域住民・町内会・各団体と連携を保ち、情報を共有しつつ、地域を支えられる人材育成の推進と地域の活性化に努めている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	六郷お月見会		
参加者	地域住民	延参加者	57 人
開催日	全 1 回 9 月 18 日(水)		
協力者・協力団体	「ハートフル六郷協議会」(六郷地区民生委員児童委員協議会・六郷地域老人クラブ連合会・六郷スポーツ少年団・六郷地域包括支援センター・託児ボランティアクリップ・六郷児童館)		
ねらい	地域住民相互の繋がりや豊かな地域作りを目的に、六郷地域の人材とボランティアによる天体観測や昔あそびなどのワークショップを開催する。		
概要・成果	お話し会・月の観察会・簡単工作・お茶会を通して、若い世代に伝統文化を伝えると共に、様々な年代の住民同士が交流する機会を持つことができた。子育て中の親子や高齢者と幅広い世代の地域住民が関わることで、世代間交流が広がった。		

〔平成 25 年度 (地区館) 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
中高生の「六郷クラブ」	小学生対象に中高生の発表や指導、および交流。 ①マジックショー (東高) ②バスケットボール (六郷中) ③ドッジボール (六郷中) ④⑤英語 (東高)。	6 月 29 日 8 月 3、24 日 10 月 26 日 1 月 18 日	5	149
ジュニアリーダーと遊ぼう	①レクリエーションゲーム②復興の集いのジュニアリーダーコーナーで工作	10 月 5 日 11 月 2 日	2	45
インリーダー研修会	児童及び世話人を対象に子供会の意義・役割・運営方法を学ぶ。実践に役立つレクリエーションゲーム。	2 月 15 日	1	26
子どもボランティア育成支援	「ジュニアリーダーと遊ぼう」講座のお手伝いをする形で①打合せ会②ゲーム進行スタッフとして参加・反省会。	10 月 5 日 11 月 2 日	2	12
中学生と学ぶ「パソコン講座」	六郷中学生にパソコンを使ったハガキ作成を学んだ。	7 月 27 日	1	4
●六郷あすなろ大学	漫談鑑賞、ニュースポーツボッチャ体験、マジックショー鑑賞、国際交流講座 (イラン)、健康講座 (口腔ケア)、音楽鑑賞、健康体操、漢字についての講話、自主活動 (移動学習・新年を祝う会)。	5 月 16 日 ～3 月 6 日	10	682

●六郷地域防災事業	①六郷中学校区総合防災訓練②反省会③講話 (仙台市地域防災計画と避難所運営マニュアル の概要)	9月15日 10月5日 12月1日	3	412
ハートフル六郷協議会	協議会主催で世代を超えた地域交流ができる催し物(六郷ふれあい広場・六郷お月見会)の会議。	4月11日 5月14日 6月13日 9月14日 10月12日	5	50
★●元気!六郷復興の集い〜希望の光を〜	サークル・地域住民の作品展示・ステージ発表、地域の小中高生の学習成果発表、模擬店など。	11月2日	1	2500
市民センター・児童館事業運営懇談会	市民センター・児童館の運営方針や事業内容を地域諸団体・ボランティア・サークル等の人達に知ってもらう中で、企画の意見・要望を取り入れる場とした。一層親しまれる地域の為の拠点としての機能を果たすよう努めた。	6月27日	1	6
★六郷地域支えあい事業	「いぐねおちゃっこの会」 気軽に参加できる企画とお茶飲み。 企画内容は、健康体操、昔遊び、「六郷の遺跡」についての講話、ジャズによる唱歌の演奏と語り、お楽しみ企画、ボッチャで体遊び、振り込み詐欺にあわないための講話、演芸大会、プロ演奏家によるミニコンサート、僧侶が結ぶビーズブレスレット作り、軽体操。	4月16日 〜3月20日	11	287
六郷ふれあい広場〜みんなと昔遊びを楽しもう〜	昔遊び、飯盒炊飯、カレー作り。	5月25日	1	39
市民企画講座「学校に泊まろう」	小学生の親子と一緒に学校に泊まり、夕食作りや肝試し、レクリエーションゲームをおこない、学校・家庭・地域が協力して子どもたちを育てる環境作り。	7月27日	1	45
★ジュニアリーダー六郷村定例会	事務連絡、要請に関する調整、前月の反省、交流会など。	5月12日 〜3月9日	10	11
★語り部ボランティア養成講座	震災の体験についての聞き取り。「震災時の様子(どのような行動をとったか・地域の様子)、苦労したこと、現在の状況、後世に伝えたいこと」等をインタビュー形式で聞き取った。	11月20日 〜3月12日	4	5
★市民企画会「六ゴーイング」	地域の活性化をねらいとした事業の市民企画会議。	5月8日 7月20、24日	3	15
★住民参画・問題解決型学習推進事業「子どもたちに伝えたい六郷の暮らし」〜平成の六郷をふりかえる〜	学校給食・子どものおやつなどについての勉強会、「子どもに伝える場」プログラムづくり、「六郷たんけん隊」発表、事業ふりかえり。	5月19日 〜2月23日	10	258

若林市民センター

〔沿革〕

若林市民センターは、平成 3 年 4 月に若林児童館、コミュニティ防災センターを併設して開館した。以来、地域の社会教育活動や福利厚生活動に活用され、親しまれて現在に至っている。

管内は藩政時代伊達政宗公ゆかりの史跡や広瀬川舟運、商人の町の歴史ある町名を残すとともに、広大な河川公園などがあり、自然に恵まれている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	なるほど地域学・若林		
参加者	成人	延参加者	53 人
開催日	全 3 回 9 月 26 日(木)、10 月 3 日(木)、10 月 10 日(木)		
協力者・協力団体	なし		
ねらい	東日本大震災を経験し、断層の存在がクローズアップされている折、若林地区について特に地形の観点からやさしく読み解き、災害への正しい知識を得ることで、いざというときのための日頃の備えへと役立てる。		
概要・成果	1 回目：講話「地形から学ぶ地域特性と歴史①」は、若林(地名)の由来と地域の概括、地図を読む、若林・沖積平野の形成について、長町一利府断層についての学習。若林区における高台の有無や断層の存在が分かり、日頃の備えを考えるための一助となった。 2 回目：講話「地形から学ぶ地域特性と歴史②」は、なじみの地名の由来についての学習。地名の由来からその地域が以前どのような地質だったかを判断し、それを理解しながら生活していくことの大切さを学んだ。 3 回目：講話「地形から学ぶ地域特性と歴史③」は、縄文時代・弥生時代の信仰、遺跡や古墳について、律令国家時代についての学習。昔起きた災害のことを知り、これから考えるのに役立てることができた。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●ホップ・ステップ・子育てタイム	未就園児の親子を対象に同室託児を行い親子ヨガ、子どもの虫歯予防と育児相談、親子ビクス、ママビクスを行った。	6 月 6、20 日 7 月 4、18 日	4	75
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会活動についての講話・研修・レクリエーションゲーム等。	2 月 22 日	1	36
つくってみよう My キャラ弁	1 回目と 2 回目は小学生を持つ親子を対象に、3 回目は就学前の親子を対象に託児を付けてキャラクター弁当作り。	10 月 12、19 日 2 月 6 日	3	20
若林小学校連携事業「若林を知って好きになろう」	仙台をテーマにした図書の紹介と若林城を中心とした地域の歴史と校外学習。	10 月 24 日 11 月 15 日 12 月 6 日	3	144
古城小学校連携事業「仙台再発見」	地域学習授業の一環として、総合学習の時間を使い仙台・宮城に関する本のブックトーク、歴史講話、校外学習、発表会を行った。	6 月 27 日 7 月 3 日 11 月 22 日 2 月 26 日	4	347

《若林区》

市民企画「地域学習仙台の今・昔」	字名から知る地域特性に始まり千駄仏をキーワードに館外学習、次年度に向けた話し合い。	6月26日 ～3月26日	10	238
若林老壮大学	高齢化社会に対応した一般教養、時事問題、健康に関する講話等、幅広く学習。	4月12日 ～3月7日	12	944
アフタヌーンコンサート in わかばやし	1回目声楽とピアノ、2回目ハーモニカとピアノ、3回目三線による沖縄音楽、4回目サックスとピアノの演奏。	7月13日 11月9日 12月14日 3月8日	4	136
実践！身近な防災術	1回目は建物耐震診断・ガラス飛散防止フィルムの張り方・家庭での防災術等、2回目はクロスロード、3回目は地震体験車による震度体験と応急処置等を学習。	9月25日 10月2、9日	3	35
若林ふれあいまつり	近隣小中学校による参加や、若林市民センターを拠点に活動しているサークルの作品展示やステージ発表、地域団体による出店コーナー等。	9月8日	1	980
若林地域懇話会	地域課題や復興公営住宅等について地域諸団体と意見交換。	11月6、7、12日 3月5日	4	51
夜間避難の危険を探ろう	前年度の市民企画会での話し合いにより、緊急時や夜間の安全な避難路作りを行った。	9月19日 11月7、21、28日 1月16日	5	14
ジュニアリーダー「にゃくりん」とあそぼう！	ジュニアリーダーの企画によるゲームやダンス。	7月24日	1	31
ジュニアリーダー定例会	要請確認、研修、連絡等。	4月14日 ～3月9日	10	36
読み聞かせボランティア フォローアップ	読み聞かせの基礎について学び、選書の仕方、実技や研修、講師の体験談等。	10月30日 11月6、20、27日	4	61

沖野市民センター

〔沿革〕

沖野市民センターは、平成3年4月、児童館・老人福祉センター及びデイサービスセンターとの複合施設としてオープンした。東側に田園が広がり、西側はバイパスを境に住宅が密集している。多種の木々と、老人クラブや地域の方々が善意で植えてくださった花壇が、センター前広場に彩りを添えており、こうした花と緑豊かな広場を持つ当市民センターは、地域住民の憩いとふれあいの場所として利用されている。

地域住民の生涯学習活動に対する関心は高く、また自主サークル活動も盛んである。また、町内会や老人クラブの結束力が強く、活動も活発で、学校や他の公共施設等とも円滑な関係を保っている。様々な分野の達人も多く、地域人材も豊富な地域である。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	おきの学園 ～学びのスクール～		
参加者	沖野地区の小学生と中学生	延参加者	331人
開催日	全9回 7月30日(火)－5コマ 31日(水)－4コマ		
協力者・協力団体	沖野東小学校、沖野小学校、沖野中学校、沖野東小学校支援地域本部、若林区中央市民センター共催		
ねらい	地域の3校による「おきの学園＝自分づくり教育」への支援として、夏休み期間を利用し開催する。地域の児童生徒に様々な体験の場を提供し、地域の人々とのふれあいを通して、自分づくりへの意識を高めるための一助とする。		
概要・成果	2つの小学校・中学校・市民センター等を会場に実施。「洋菓子作り・茶道・フラワーアレンジメント・座禅・動物とのふれあい」等を体験することにより、チャレンジ精神が生まれ、新たな友達とのコミュニケーションにつながった。また、地域講師が教えることの難しさを実感し、自分達の学習意欲がかりたてられたという相乗効果も、大きな成果となった。		

〔平成25年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
笑顔で子育て	子育て中の母親同士の交流や情報交換を目的として、育児相談、音楽鑑賞、体操等の講座を実施した。	9月6、20日 10月4、18日	4	110
沖野でザリガニつり！	東高校周辺用水路を使って行った毎年恒例の沖野でザリガニつり。参加者が自分の手で作った釣り竿でザリガニを釣り上げた。ザリガニについての話を講師から受けて、生態についても学んだ。	7月28日	1	70
伝えよう 仙台伝統七夕	小学生が地域の高齢者や養成されたボランティアから伝統的な仙台七夕飾りの作り方を学び、竹飾りを学校に飾った。	6月12、19日 7月2、5日	4	313
宮沢賢治の童話鑑賞－みんなで楽しむおはなしの世界	地区内の2つの児童館と連携し、舞台俳優の語り手による宮沢賢治の童話鑑賞会を実施し、プロジェクタ投影紙芝居や朗読を小学生が鑑賞した。	2月5、19日	2	88
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活動を期待されている児童及び世話人が子ども会運営の知識やレクリエーションゲームなどの進め方を学んだ。	2月15日	1	51
めざせ、バイリンガル沖野っ子	沖野地域の小学生と仙台東高等学校英語科の生徒が英語を使ったゲームで一緒に遊んだ。	8月8日	1	17

ジュニアリーダーと遊ぼう	地域の小中学生を対象にジュニアリーダーが企画した工作やゲームを2つの児童館と連携して3か所で開催した。工作物「らっかさん」「かさぶくロケット」	6月29日 10月12日 12月7日	3	46
日本の伝統文化「茶道」から学ぶ～おもてなしの心～	茶道によっておもてなしの心を学び、和の心や相手への思いやりについて理解を深めた。	10月4、10日 11月3日	3	46
市民企画講座日本の伝統衣装「着物」を学ぶ～あなたも着物美人になろう	着物とその文化に関する基本知識を学びながら日本の伝統文化の良さを再認識した。	10月2、9日 11月2、3日	4	48
「自分磨きサロン」～コミュニケーション力アップ講座	コミュニケーションについての講話と実践。健康・内面等いろいろな角度から分析しながら、他人との関わり方のより良い方法を学んだ。	9月10日	1	16
沖野耕友大学	歴史講座・サイエンス講座・防火・防災講座・健康講座・文学講座・介護予防講座等	5月10日 ～3月14日	11	646
★沖野地区総合防災訓練一若い力で地域を守る	沖野地区で年1回実施している総合防災訓練の中で、地域住民と中学生が主体となる訓練を地域諸団体と連携して企画した。当日の訓練は悪天候により中止。	10月10、22日	2	18
社会学級との事業企画検討会	沖野東小学校社会学級生と地域の社会教育に結び付け講座を企画、実施した。	4月20日 5月10日 9月10日 (午前・午後)	4	30
沖野地区市民まつり	ステージ発表・作品展示・はっと汁配布・餅まき・フリーマーケット・茶席・介護予防コーナー・出店・児童館まつり・老人福祉センターまつり	11月2、3日	2	9340
沖野地区懇話会	地域の諸地域団体代表者らと必要な情報を得て交換するとともに様々な課題を共有した。	8月29日 2月20日	2	33
★東日本大震災の記録～おきのかわら版～	おきのかわら版2号と3号を1000部ずつ発行。	6月6日 ～3月5日	10	43
ジュニアリーダー定例会	地域のジュニアリーダーの活動支援や青少年の校外活動の充実を図る為、定例会を開催。	4月14日 ～3月9日	12	193
庭木の剪定を学ぼう	住民同士の交流と庭仕事での助け合いを目的として講師より剪定の基本技術を学び、歩道沿いの植え込みやセンター・児童館の庭で実習した。	6月13、20、27日	3	27
市民企画会議	地域住民が市民センターの役割や在り方を学び、情報交換しながら、地域課題や現代のニーズに応える講座開催に向け企画会を実施。	5月16、30日 7月11日 9月27日 11月12日	5	32

太白区中央市民センター

〔沿革〕

太白区中央市民センターは、平成 11 年 6 月長町商店街の中核をなす JR 長町駅前に開館した複合施設内にある。同施設には当市民センターの他、太白区文化センター、太白図書館、太白区中央児童館及び太白区情報センターも設置されている。JR 長町駅前と国道旧 4 号線沿道という立地条件に恵まれ、JR やバス、地下鉄などの公共交通機関の利便性に優れているため、近隣の広い地域の生涯学習活動や交流の拠点として、多くの市民が利用している。

当市民センターの周辺は、昔から仙台市南部地域における商業の中心として活況を呈してきた歴史のある地域であるが、近年は地下鉄沿線・あすと長町地区での大規模小売店の進出やマンション建設等が進み、人口の増加が著しく、かつ仙台市立病院の移転等、これまでも増して多くの滞在人口がのぞめる地域となってきた。当市民センターではこうした状況を踏まえて、地域コミュニティの活性化にも積極的に取り組んでいる。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	●飛び出せ長町探検隊		
参加者	小学 4～6 年生	延参加者	計 117 名
開催日	全 5 回 7 月 23 日(火)、7 月 25 日(木)、7 月 26 日(金)、7 月 30 日(火)、7 月 31 日(水)		
協力者・協力団体	長町商店街連合会、ゼビオアリーナ、長町駅前プラザ、エフエム太白		
ねらい	小学生が長町地域の自然・社会施設・商店街等、学校を離れた環境の中で様々な体験を重ねることで地域を知る機会を持つとともに、社会性を身に付けていく一助とする。		
概要・成果	①町歩きのポイント②町探検(宝物探し)③町の宝物マップ作成④ラジオから発信⑤駅前プラザで発表、の内容を実施。地域の歴史や施設を探検し、この地域の魅力を学び発信した。歴史のある長町、新しい長町の両方の魅力を知るとともに、地域の人にその魅力を発信する中で社会性を学ぶことにつながった。		

〔平成 25 年度 (地区館) 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、リーダーとして活躍する児童と世話人を対象に知識やレクリエーションゲームなどを学んだ。	2 月 1 日	1	91
★●子ども防災キャンプ	防災意識を高めるためにサバ飯作りや地域探検クイズラリー等の体験を行った。他校との交流や中高生ボランティアの参加により、地域のネットワークの広がりや防災意識向上に繋がった。	8 月 1 日	1	76
太白区中央老壮大学校 公開講座	楽楽楽ホールにおいて記念講演会「仙台城大手門を語る～その構築時期の謎を探る～」とコンサート「哀愁のロシア民謡の調べ」を開催。老壮大学の周知と参加者交流の機会となった。	5 月 17 日 2 月 14 日	2	998
太白区中央老壮大学校 いきいき健康コース	いきいきと健康に暮らすために、主に体を動かす講座を行った。受講生が講師となり、脳トレやボイストレーニングも行い交流を図った。	5 月 17 日 ～2 月 14 日	9	607
太白区中央老壮大学校 せいかつ教養コース	心豊かに生きていくために、年中行事やストレス解消法などを学んだ。また仙台市電の写真を見ながら昭和の風情に思いを馳せた。	5 月 17 日 ～2 月 14 日	9	640

《太白区》

太白区中央老壮大学校 ふるさと文化コース	ふるさと文化という特色を活かし、地域の歴史「長町の中世史」を学んだり「世界遺産平泉」など幅広く歴史を学んだ。	5月17日 ～2月14日	9	633
ひと・まち賑わい七夕作り	サポーター「仙台七夕作り応援隊」の主導で七夕飾りを制作。地域の七夕まつりを盛り上げた。児童館との交流会で次世代への伝統継承の場をつくり、更に活動の場を広げることができた。	5月25日 ～8月8日	14	227
〈複数年事業〉 市民企画会議	地域住民や当施設利用者のニーズを反映させ、地域に根差したイベントとして地域活性化に繋がるように企画実施した。	7月23日 ～3月1日	6	19
社会学級連携事業 「食育講座」	長町南・鹿野小学校社会学級と連携、月1回の企画会を通して交流を図りながら学校給食に焦点をあて食育講座を企画実施した。	5月24日 ～11月12日	7	44
太白区中央市民センター まつり ながまち交流フェスタ 2013	今年は1日開催で行った。当市民センターで日頃活動している各種サークル・団体および地域住民による学習成果の発表の場として開催した。今年は地域の幼稚園の参加やとすけコーナーもあり、子供連れの姿が多く見られた。	10月26日	1	3616
●魅力アップ懇話会	市民の学習ニーズや地域課題を踏まえた特徴ある事業を実施するために管轄地域の町内会、地元商店街、生涯学習ボランティア、施設利用者から助言を受けて事業の手法、運営等の参考とした。	7月13日 11月16日 3月8日	3	16
市民企画講座 人情長町どうぶつ物語（年 央）	ペット写真（コメント付）を募集し、長町駅前プラザを会場に「自慢のペット写真展」を開催した。また応募者交流会を実施。仙台市動物管理センターと連携を図りながら、成果を次年度に生かす機会となった。	11月20日 ～3月1日	3	1092
ジュニアリーダーながま つくる定例会	毎月第2・第4土曜日の10時～12時に定例会を持ち、地域の要請等の連絡調整や情報交換を行った。また研修会を開催し、メンバーのスキルアップを図った。	4月13日 ～3月22日	16	75
七夕作りボランティア・ス キルアップ講座	「仙台七夕作り応援隊」を対象に次年度の七夕制作のためのスキルを高めるためにデザインや竹の使い方、色合わせ等の実技学習を行った。	2月8日 ～2月22日	3	24

生出市民センター

〔沿革〕

生出市民センターは、昭和 24 年 4 月生出村公民館として発足し、生出小学校の一隅で公民館活動を行ってきた。昭和 31 年には仙台市との合併により「仙台市公民館生出分館」と改称された。地域住民の強い要望から昭和 42 年 4 月、地域社会教育の拠点として、現在地に「生出公民館」が建設された。その後昭和 55 年 5 月には、地域住民から自由に利用できる体育館を併設した公民館の新設が要望されたことから、公民館・診療所・保健センターが一体となった複合施設として開館した。後に、敷地内に調剤薬局・証明発行センターも開設され、各施設の連絡調整のため「五舎会」が発足した。その年の 10 月に第 1 回生出コミュニティまつりが開催され今日に至っている。

平成 2 年には「生出市民センター」に改称され、市民相互の交流と地域活動の振興の拠点、また地域づくりの拠点として利用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	蛭と平家琵琶のタベ		
参加者	一般	延参加者	1000 人
開催日	全 1 回 6 月 29 日(土)		
協力者・協力団体	ふる里坪沼実行委員会		
ねらい	坪沼地域活性化のため、地域住民と市民との交流の場を提供する。地域に古くから伝わる伝統文化や農産物を広く PR するとともに、地域の良さを改めて認識し、地域の活力に繋げる機会とする。また、蛭の生息を通して、環境保全と自然の豊かさを伝えていく。		
概要・成果	ふる里坪沼実行委員会と共催で実施。25 回を迎えた今回も平家琵琶の演奏、蛭観察、地元の坪沼祭囃子の演奏に加えて、産直野菜や子どもたち手作りの行灯など、多数の来場者に坪沼の良さを周知できた。また、地域の実行委員が準備から当日の運営まで主体的に活動し、地域住民同士の絆を深め、地域づくりに繋がった。更に、回を重ねることで、親から子へ子から孫へと文化伝承が図られている。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
おいで子育てサロン	地域で子育て中の親たちに対して年間を通して遊びの場や交流の場を提供。紙芝居や七夕作り・本の読み聞かせなどを地域サポーターが実施した。	5 月 22 日 ～3 月 12 日	13	197
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に子ども会についての知識や活動に必要な技能を学習した。	1 月 25 日	1	53
おいでわんぱく広場	小学生が集える場とし、新しい可能性にチャレンジできる自己開発の場として各種の講座を展開した。	5 月 18 日 6 月 22 日 8 月 24 日 9 月 28 日 10 月 27 日 1 月 17 日 2 月 22 日	7	167

市民企画会議「生出コミュニティまつりを盛り上げ隊」	地域の児童・生徒の健全育成、コミュニケーション力の向上を図るために、コミュニティまつりに主体的に関わり、まつりでの遊びのコーナーを企画した。	8月3、18日 9月14日 10月5、20、26日 12月8日	7	32
市民企画講座 生出コミュニティまつり～遊びのコーナー	生出コミュニティまつりにおいて、幼児・小学生を対象にまつりを楽しんでもらうことを目的として、クイズラリー、工作、ヨーヨーつりを行った。	10月27日	1	80
出前講座	市民センターが8つの地域に出向いて実施。婦人部と協働で、ミニコンサートや物づくり・軽体操・防災講座など各種の講座を展開した。	5月22日 ～3月16日	15	322
漬物名人の技 伝授 生出の“おいしい漬物”講座	地域の採れたて・おいしい白菜や大根を使って、地域の漬物名人に漬け方のコツを学んだ。	11月16日 11月30日	2	31
生出朗壮大学	地域住民の身近な生涯学習の場であると同時に住民同士が気軽に交流する場として、健康づくり、歴史、伝統文化などの講座を行った。	5月17日 ～2月21日	10	184
★生出地区「災害対応」講座	地域の災害対応力の向上と支え合いの輪を広げるため、他町内会の防災事例を紹介するなどの防災講座を実施した。	6月23日 11月16日	2	94
生出すずめ踊りスキルアップ講座	主催講座から立ち上がった「すずめ踊り生出組」が技術を身につけ、地域の支援を受けて青葉まつりやコミュニティまつりに参加した。	4月13、27日 5月11日 10月5、12、19日	6	193
生出コミュニティまつり	舞台発表・展示・広場・模擬店などの地域の子どもから高齢者まで地域住民の交流の機会になった。	10月27日	1	1500
地域活性化懇談会	生出市民センター運営協力委員会を構成する25を超える団体と地域がさらに活性化するように意見交換した。	6月1日 11月29日	2	48
市民企画講座 「生出物語資料展」	今年度発行された地域紙「生出物語」の資料や写真などをコミュニティまつりにて展示・説明した。	10月27日	1	180
生出物語 ～いにしえから現在、そして未来へ	歴史や文化を継承できる人材の育成を目指し、地域誌「生出物語」を活用した講座を開催する。そのための調査探索を実施した。	12月4日 1月22日 3月6日	3	8
花植栽ボランティア講座	地域内の環境美化のため、ボランティアの方々が季節の花々の植栽について学んだ。	6月5、16日 2月20、25日	4	6
ジュニアリーダー「おいでください」育成支援（定例会支援）	「おいでください」のジュニアリーダー不在のため、中学校での広報活動を太白区内のジュニアリーダーの参加により実施した。	4月4日	1	4

中田市民センター

〔沿革〕

中田市民センターは、昭和 44 年 10 月、中田中学校跡地に同校の旧体育館と旧校舎の一部を改築して仙台市で 5 番目の公民館として開館した。昭和 56 年 3 月に本館を鉄筋コンクリート二階建てとして新築し、平成 2 年 4 月には「中田市民センター」と改称。平成 19 年 7 月からの大規模改修工事を経て、平成 20 年 1 月に再開し、現在に至っている。

平成元年度から平成 11 年 6 月までの間は、太白区内市民センター13 館の拠点館として太白区全体の生涯学習推進を担っていたが、現在は地区館として事業を展開している。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	★●災害対応力を身につける「防災・減災を学ぶ講座」		
参加者	どなたでも	延参加者	174 人
開催日	全 6 回 8 月 24 日(土)、9 月 7 日(土)、9 月 21 日(土)、10 月 6 日(日)、10 月 12 日(土)、11 月 26 日(火)		
協力者・協力団体	太白区役所街並み形成課・中田地区町内会連合会		
ねらい	仙台市地域防災計画を基に「自助・共助」と「公助」の協働による減災まちづくりを目指し、市民一人ひとりが災害から身を守る基本的な知識を、体験を交えて習得する。また、町内会の自主防災組織が災害時に機能できる人材の育成を図る。		
概要・成果	誰もが楽しく学んで防災知識が習得できるよう「体験」に力を入れた。女性の受講生が多く、いざという時の「備え」が身に付いた。中田地区町内防災訓練では初めて要援護者支援体験コーナーを設け、新しい視点から防災訓練を実施できた。また、このことにより町内会に入会していないマンション住民の参加もあり、更なる中田地域の防災意識の拡がりが見られた。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
中田社会学級連携事業	①講話「世界の水環境と日本の食卓とのつながり」市民環境講座の共催により、環境教育・学習に関する講座 ②実技「地産地消クッキング」仙台白菜など地元の食材を使用し調理実習	7 月 2 日 11 月 30 日	2	18
中田わくわく☆げんき塾	①中田小学校庭でのディキャンプ:テント設営、巨大絵画制作、工作、野外料理 ②～⑥七夕飾りを制作し、センター玄関に設置 ⑦ポンプ車見学、ロープ結び、水消火器訓練、ポンプ放水・ペットボトルロケット作成と噴射 ⑧親子での餅つき、鏡餅作り、試食	6 月 2 日 7 月 25 日 ～8 月 1 日 9 月 29 日 12 月 21 日	8	134
インリーダー研修会	第一部・分科会：児童と世話人に分かれて、子ども会活動の意義とそれぞれの役割を学ぶ。第二部・合同研修会：分科会のまとめと発表、レクリエーションの進め方を実技で学ぶ。	2 月 15 日 (大雪・インフルエンザで中止)	1	
職場体験学習	市民センター業務内容の学習、講座見学や後片付け、図書貸出手伝い、センターだより・簞コンサートプログラム印刷、配布準備、消防訓練避難誘導、お茶っこサロンでの地域の方との交流(話し相手)など、社会体験の場を提供	8 月 21 日 8 月 22 日 8 月 23 日	3	9

市民企画講座 「こどもたちのための なか・ベジ・クッキング」	企画員の講師のもと、はっと汁や小松菜のケーキなど地域縁の野菜を使い調理。地産地消や中田の農業についての学習	10月14日	1	10
●「医・食と運動」で健康 づくり講座	①血管年齢や脚筋力、足把持力、長座体前屈等の健康度測定・セラバンド体操 ②③ノルディックウォーキング ④メタボ予防の調理実習 ⑤公開講座講話「薬との上手な付き合い方」	9月28日 11月2、16日 12月7日 1月26日	5	69
中田老壮大学	①入学式記念講話「笑いと健康」 ②ゆる体操 ③歴史講話「中田宿」 ④講話「文学の魅力」 ⑤文学館見学 ⑥⑦調理実習 ⑧民謡の歌い聞き ⑨介護保険と介護予防 ⑩昭和の仙台を映像で振り返る ⑪修了式記念講話「出会いから学ぶ」	5月16日 ～3月6日	11	585
出前講座「あなたの町の市民センター」	町内会のサロン会において地域包括支援センターと連携し開催。仙台弁の語りで笑いを誘い、身体と心をほぐし包括支援センターの介護予防体操へとつないだ。	3月4日	1	24
「中田の魅力探訪」-昔編- 中田の～昔・今・これから～をまとめる	①講話「中田の歴史」・オリエンテーション ②③⑤⑥地域在住の方々を囲んでの座談会 ④講話「中田の魅力」 ⑦⑧座談会のまとめ ⑨探訪 ⑩まとめと振り返り・次年度へ向けての話し合い	7月3日 ～11月27日	10	114
シンポジウム・若者が参加 する地域防災活動	シンポジウム「若者が参加する地域防災活動」 基調講演・若者の意見・意見交換	9月23日	1	120
中田まつり	作品展示、ステージ発表、模擬店、ジュニアリーダーコーナー、バザー、町内会対抗大会等	10月19日 10月20日	2	5000
なかだ篝火コンサート	中田神社境内を会場に、地域住民同士が交流できる機会としてコンサートを開催。出演：仙台ガブリエリブラス	9月14日	1	600
nakada はあとふるコンサート	テーマを「色」に設定し開催 ①センター利用サークルによるサクソ、ドラムによる演奏 ②センター利用サークルによる民謡 ③中田児童館児童によるハンドベルと手話、センター利用サークルによるギター演奏	5月11日 11月9日 2月8日	3	77
中田市民センター主催「気軽に話し合う会」	①市民センター事業に対する懇談会 ②隣接する教育機関との「地域行事に関する」情報交換会	11月22日 2月20日	2	16
つながろう子育てママプロジェクト	企画会にて子育てママのニーズの洗い出し。カフェ開催に向けての企画会・準備を重ねカフェの開催。振り返りと今後の活動の話し合い	5月31日 ～12月11日	12	148
ジュニアリーダー「なかだかな」定例会	要請の調整、活動準備や報告、情報交換を行うため定期的に開催。日程の調整上、3回を太白区中央の「ながまっくる」と合同で行った。	通年	12	89
市民企画会議「子どもに伝える、中田の宝」	①顔合わせ・交流会 ②テーマの決定 ③企画会 ④⑤試作 ⑥講座開催 ⑦振り返り	6月12、19、26日 9月11、25日 10月14、29日	7	43

西多賀市民センター

〔沿革〕

西多賀地区は、桜で有名な三神峯公園や富沢遺跡があり、仙台でも暖かく環境に恵まれた、住みやすい土地である。昭和 50 年代、福祉に対する住民の要望が多様化し、自らが福祉活動に参加する傾向が現れてきた。そのため、活動拠点となる地域の施設を求める要望が高まったことから、昭和 53 年仙台市として 5 番目の福祉会館として開設された。昭和 58 年、地域住民のより幅の広い利用を可能にするため、名称を市民センターと改めた。平成元年政令指定都市移行に伴い地域の社会教育の充実のために公民館が組み込まれ、生涯学習の拠点として活用されている。平成 3 年には児童館が併設された。以後子どもから高齢者まで誰でも気軽に利用できる市民センターとして親しまれている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	出前講座・中学生職場体験の心構え		
参加者	西多賀中学校 2 年生	延参加者	6 人
開催日	全 2 回 8 月 22 日(木)、11 月 12 日(火)		
ねらい	子どもたちの生活や意識の変容、学校から社会へと巣立っていく過程で抱える様々な課題がある中、望ましい勤労観、職業観を育む体験活動として中学生により効果的なものとなるよう中学校と連携し、対象の学年に職場体験の事前・事後の学習会を提供する。		
概要・成果	昨年度に引き続き 2 回目。講師から実習中の注意事項やコミュニケーションの大切さの講話をうけ、子どもたちは目的意識を持って体験に臨むことができ、実際の職場体験先でも好評であった。事後には将来に繋がる生活を促す講話が行われ、生徒からのアンケート等からも意識の高さがうかがえた。後日、保護者向けの進学就労に関する学習会も開催し、家庭でも就労について語り合う機会を提供できた。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
ニコニコ子育て楽しく子育て	地域で子育て中の母親を支え、見守ることを目的とした講座を開催。市民センターを拠点として児童館や区内の施設と連携し、「子育て中の母親にやさしいまちづくり」をめざした。	10 月 31 日 11 月 7、14、21 日	4	23
ジュニアと遊ぼう！	ジュニアリーダー「にしたがつつまん」の指導のもと、参加する異年齢の子ども達が遊びのルールを守り、お互いを認めながら元気に遊べるような場を提供し、子どもの健全育成につなげた。	7 月 27 日 10 月 27 日 12 月 26 日	3	221
●インリーダー研修	子どもたちには、子ども会のリーダーとして「プログラムの立て方やレクゲームの進め方」の講話と実技。世話人には子ども会の意義や危険予知トレーニングについて学んだ。	2 月	1	53
中学生の職場体験受け入れ	望ましい勤労観、職業観を育む体験活動の場として中学校と連携・協力し、地域の市民センターについて知ってもらう機会とした。	7 月～8 月	1	6
西多賀はあとふるくらぶ	市民センターの利用が少ない 30 代から 40 代を対象に生活に潤いを与える内容としてハーブやアロマ、ヨガについて学び、体験した。子どもたちとも同室で学んだ。	6 月～12 月	5	96

西多賀寿大学	地域に居住する高齢者を対象に、地域の歴史について学んだり、コンサートや、体操を体験した。また、受講生の自主企画の講座や交流会を開催した。	5月～2月	10	633
西多賀市民センターと地域を結ぶ懇談会	地域の学習ニーズや地域課題を把握し、地域の資源や人材情報を入手するとともに、地域連携の糸口を得るために地域懇談会を実施	6月～2月	3	41
西多賀ふれあいまつり	地域住民やセンター利用サークルの活動の学習発表を開催。児童館と共催、商店街振興組合・センターボランティアと協力。職場体験の中学生の企画した、管内小学校の作品展示をした。	10月26、27日	2	3980
和布手縫い塾	着物を再生した作務衣とベストづくりを開催。習得した技術を生かしボランティア活動を目指した。センターまつりでの協力も得られた。	5月～2月	10	174
こどもへ、未来へ残そう・伝えよう地域の自然	地域内の三神峯公園の豊かな自然を三神峯公園愛護協力会の方々と協力して観察会を開催し、植生観察するとともに樹木リスト・樹木名板を作成。	4月～2月	14	181
★地域防災ネットワークづくり	災害時のそれぞれの役割を考え日ごろから顔の見える関係で連携・協働できる地域防災ネットワークを作り、地域の各団体の防災交流と防災活動の底上げ及び充実を図った。	7月20日 2月4日	2	35
シンポジウム・若者が参加する地域防災活動	地域防災活動への若い世代の参加が少ないという問題点の認識を共有した3館によるシンポジウムを開催。次代の担い手が育つ地域防災活動推進の一助とした。	9月23日	1	120
西多賀今昔巡り PartⅡ	西多賀の歴史を学んでいる「西多賀百問委員会」を講師に地域のことを学び現地を実際に訪れた。	10月3、9、27日	3	33
市民企画会議「読み聞かせの活動に生かせる講座を企画しよう」	管内の小学校や児童館等で活動している読み聞かせボランティアサークルが、子どもが読書に親しむ機会をより適切に提供することができるようスキルアップを図った。	5月16日 6月27日 8月6日 10月10日	4	32
市民企画講座「楽しいおはなし会を作ろう」	子どもたちに読書に親しんでもらうためのスキルアップを兼ねて、地域の方々に読み聞かせの活動への理解を深めてもらいボランティアとの交流を深めた。	9月19、26日 10月3日	3	47
ジュニアリーダー「にしたがつつまん」の定例会	ジュニアリーダーが地域の中で育まれ、地域のリーダーとして活動できるように西多賀市民センターを拠点とするジュニアリーダーの「にしたがつつまん」を育成し、支援をした。	4月～3月	12	48
地域の自然協力者養成講座	地域内にある「三神峯公園」の自然を次世代に伝えるため公園内の植物を観察・調査し地域団体と共に活動する協力者を養成。	7月24日 ～2月22日	6	202

八本松市民センター

〔沿革〕

八本松市民センターは、八本松地区の国有地を取得し、昭和 60 年 5 月に、コミュニティ防災センターを併設した複合施設として開館した。さらに平成 20 年 4 月には、八本松児童館が新たに併設された。

近辺には広瀬川が流れ豊かな自然環境に恵まれ、歴史資産として国指定を受けた郡山遺跡、北目城跡がある。長町副都心長町駅東再開発が行われ、歴史的情緒を持ち合わせつつ、近代的な街並みを呈した地域である。

建物は八本松公園と隣接しており、町内会の集会や文化活動、レクリエーション、スポーツにと、子供から高齢者まで誰もが気軽に利用できる市民センターとして、地域住民に親しまれている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	お父さんの一日ガキ大将		
参加者	地域住民(小学生と保護者)	延参加者	36 人
開催日	全 1 回 8 月 10 日(土)		
協力者・協力団体	八本松小 PTA、東長町小 PTA、郡山小 PTA		
ねらい	地域活動に貢献できる人材育成と地域団体組織の強化をねらいとする市民企画会議「男を磨き隊」を経て企画。3 小学校 PTA と連携して男性たちが参加しやすい交流の場づくりを行い、地域に貢献できる 30～50 代男性の発掘により既存の地域団体の強化を図る。30～50 代の男性の方々の地域コミュニティ参加の契機とする。		
概要・成果	広瀬川でのボート遊びとして、「カヌー体験およびダンボールを使ってボートを製作」「ダンボールで作ったボートの試乗会と川遊び」「生き物観察」「お父さんが焼いた串焼きをおかずに交流会」等を実施した。「男を磨き隊」への新規参加希望者があったことなど、新たに地域活動に参加する契機となった。また、講座の企画・実施を通じて 3 小学校の連携が強化された。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
子育てカフェ～ママと子どものホッとサロン～	一人育児など孤立しがちな若い子育て世代の親子を対象に「親子ビクス・読み聞かせ・おやつ作り・幼児の救命救急」等の学習を通して、親子の交流や子育てに関する情報交換等の機会を提供した。	6 月 5、26 日 7 月 24 日 8 月 28 日	4	114
社会学級共催事業「笑顔のちから～心をほぐして元気をチャージ」	心の不調からコミュニケーション能力の低下や身体の不調へと繋がらないように、心の整え方・自律神経を安定させる呼吸法・ラフターヨガ等心をほぐす方法を講話と実技で学習した。	11 月 14 日	1	48
キッズの元気時間	地域にある小学校 3 校の児童を対象に、移動天文車による天体観測等の環境学習を体験し、学びの興味対象を広げた。また、他小学校の児童・保護者が集い・交流する機会を提供した。	5 月 17 日	1	80
仙台市子ども会インリーダー研修会	大雪のため中止			

中学生職場体験学習	地域の中学生在が職場体験を通して勤労観や職業観を育む機会として、市民センター業務（窓口対応・サークル体験・中学生にできる防災をテーマとした企画書作成等）を体験した。	11月27、28日	2	8
20～30歳代の夜間教室	集客に苦慮する若い世代の興味・関心を引く内容（ニュースポーツにチャレンジ・救急法・防犯・環境問題・お金の活かし方）で実施し、若年層の掘り起こしと市民センターの周知を図った。	6月22日 7月20日 8月31日 9月28日 10月26日	5	51
八本松寿大学	高齢化社会に対応した学習の提供と、高齢者が生き生きと元気に暮らせるように社会環境の変化・健康講座・音楽鑑賞・などの内容で実施した。	5月23日 ～2月27日	10	497
市民企画講座「みんなが主役！なつかしあそび」	子供も高齢者も楽しめる伝承遊び・紙芝居・地域にある遺跡「北目城の話」等を共に学習し体験した。気軽に参加できるよう、事前申込不要としたことにより幅広い世代の参加があり、交流が図られた。	12月14日	1	34
八本松地域防災サミット～住民による住民のための災害対策～	町内会・小学校・中学校等地域団体で組織された「八本松地域防災サミット委員会」により地域災害対策方法について企画・運営した。	4月17日 ～3月19日	11	1390
市民企画会議「男を磨きたい」	地域の課題を解決するための人材育成と組織体制を確立するための事業を企画・運営した。	4月28日 5月26日 6月30日	3	15
★「郡山・八本松魅力再発見」企画会議	八本松・郡山地域研究会と連携し、地域にまつわる文献・写真等を整理しながら地域住民に発信できるよう企画した。	4月5日 ～9月20日	11	76
郡山・八本松魅力再発見	八本松・郡山地域研究会と連携し、地域にまつわる文献・写真等を整理しながらプロジェクターを使い地域住民に発信した。	12月6日	1	31
社会学級共催事業企画会議	地域の学習団体である社会学級と情報交換しながら当地域にとって必要なことや問題点等を共有し、家庭教育力の向上とより多くの地域住民が学習体験を得るための事業を企画運営した。	6月18日 7月17日 9月25日 10月18日 11月7日 11月14日 (午前・午後)	7	91
八本松・郡山地区市民まつり「第18回うぶすなフェスティバル」	市民センター利用団体・町内会等の参加発表の場とし、地域住民のコミュニケーションづくりの場とした。	11月2、3日	2	4410
八本松スマイルコンサート	ピアノ・フォーク・マンドリン等質の良い音楽・心に響く音楽の演奏会を開催し、地域住民の交流と癒しの時間を創生した。	7月6日 10月12日 1月18日	3	173
地域懇話会「八本松のあすを考える」	地域のオピニオンリーダー・センター利用者代表者に地域のニーズ・地域課題について懇談し問題解決に向けた事業・施設管理の実現を図った。	2月26日	1	4
●生涯現役～あなたも心と体のサポーター～	太白区家庭健康課・郡山地域包括支援センターと共催し、高齢化社会を健康で生き生きと暮らしていくために必要なことや、学んだことを家庭や地域社会で発信できるように、講話と運動実技で学んだ。	6月8日 ～1月11日	10	73
市民企画会議 地域の力	地域課題や地域ニーズに対応できる内容の事業を企画・運営した。	6月14、28日 7月4、17日 9月5日	5	23

八木山市民センター

〔沿革〕

八木山市民センターは、仙台市南西部に位置し昭和 30 年後半～40 年代中頃にかけて整備・開発された、豊かな自然が残る調和の取れた住宅地である八木山地区に、昭和 62 年 4 月 6 日開館した。平成 20 年 11 月には新しい体育館も増設されており、市民の自主活動及び生涯学習の拠点施設として利用され親しまれている。

当市民センター周辺は、八木山動物公園や八木山ベニーランドなどのレクリエーション施設をはじめ、大学、野草園、放送局、総合病院など学術・文化・医療の施設等が揃い、地域住民ばかりでなく広く仙台市民に親しまれている地域である。また、センター隣接地が平成 27 年開業予定の地下鉄東西線西起点（八木山動物公園駅）となることから、地域の生活環境が地下鉄東西線の開通とともに大きく変貌することが予想される。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	自転車で学ぶ社会のルール		
参加者	八木山中学校 1 年生	延参加者	約 134 人
開催日	全 1 回 6 月 25 日(火)		
協力者・協力団体	八木山中学校		
ねらい	交通ルールや自転車の正しい乗り方・点検方法等を学ぶことを通して、社会の中で自分の行動に責任を持つことの大切さを認識する機会とする。		
概要・成果	交通ルールや自転車の正しい乗り方等の講話、毎日できる「最速 10 秒点検」等を行った。また、各クラスの代表生徒がモニター画面を見ながら自転車で町中を走行するシミュレーション体験、自転車の危険性をテーマとした DVD 視聴も行い、様々な角度から自転車走行について学ぶ機会を提供した。実技では地域の交通安全協会メンバーがサポートに入り、和やかな雰囲気の中、生徒との交流も図られた。自転車の危険性を初めて知ったという意見が多く寄せられ、安全な自転車運転への意識の高まりや、迷惑をかけないことなど社会の中での行動に伴う責任を考えることにもつながった。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
八木山こどものくにまつり	八木山こどものくにをつくろう企画会が企画。地域の子どもの健全な成長を見守る催しとして「たこ作成・揚げ、焼き芋」を開催	11 月 17 日	1	48
中学生職場体験	中学生の社会的・職業的自立に向けて必要な能力を育てる一助とした。	8 月 20、21、22、23 日	4	12
子どものための囲碁教室	子ども達の土曜日の居場所作りとして、健全な余暇活動の場を提供。囲碁同好会有志から囲碁を学び、対局しながらお互いの技能を認め応援し合う等、異世代・異年齢の交流や人格形成の一助とした。	4 月 6 日 ～2 月 22 日	41	593
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、児童及び世話人を対象に、子ども会活動の意義や役割を学びレクリエーションゲームの技術を習得する機会を提供。	2 月 8 日	1	72

「ぼうさいダック」になっ てみよう	幼児向け防災教育用カードゲーム「ぼうさいダック」を伝える、教えるという立場から体験・受講し、消防関係者と一緒に実際に指導に当たることで、若者の地域防災への関心を高め、若者の地域貢献、異世代間交流を図った。	9月21、27日	2	52
やぎやまシニア大学	高齢者が健康でこころ豊かな生活をするため、知識・情操などの学習の機会を提供し、参加者同士の交流を図った。オカリナコンサート、館外学習、落語鑑賞会など。	5月9日 ～2月13日	9	419
青山さろん	市民センターへの交通手段がよくないとの声に応え、出前講座を行ない、中高齢者が楽しく交流・学習する機会をつくった。	7月9日 1月31日	2	40
在仙外国人向け日本語講座「日本語ティールーム」	外国人へ地域ボランティアが生活日本語を教え、快適に生活できるよう支援。国際理解・交流を深めた。	通年	69	1357
集ま LINE 地域見守り隊～ 認知症を正しく知ろう～	高齢者や家族が「認知症」を具体的に学び正しく理解することによって、地域の中で高齢者を見守る住民が増えるよう、地域全体で考える契機とした。	6月26日 7月3、10、17日	4	48
「八木山こどものくに」をつくろう企画会	震災後、子育てに関わる団体のネットワーク作りを行ない、25年度は地域へ向けての催しを企画した。	4月16日 5月23日 7月9日 9月4日 10月2日 11月8日 12月13日	7	84
第25回八木山市民センターまつり	地域で活動しているサークル・団体の学習成果発表を通して、地域住民の交流を図った。	10月12、13日	2	3663
第8回八木山フェスタ	八木山動物公園、ベニーランド、市民センター、東北工業大学とそれぞれ立場も目的も異なる4者が、地域貢献の協定に基づき、人づくり、まちづくりのためのイベントとして実施した。	11月3日	1	13116
八木山気軽に懇話会	地域課題を把握し、地域の特性にあった市民センター運営のための情報交換の場とした。	11月8日 2月27日	2	25
探そう、つくろう、八木山 新名物	地域の小・中・高・大学の学生とその保護者世代を中心に、八木山を学び地域の新たな名物づくりを通して、地域を支える人材を育成。また、新しい名物を地域が共有・活用することで地域全体のつながりを強めコミュニティ活性化を図った。	4月13日 ～3月9日	23	353
地域防災シンポジウム	地域の小学生から大人までが一堂に介して、防災について話し合い、自分達が出来ること、やるべきことを確認し合い、地域防災意識の向上と共有化を図った。	12月7日	1	130
シンポジウム・若者が参加 する地域防災活動	若者が地域防災活動に参加し、各地における次代の担い手として育つための一助として、西多賀・中田・八木山の三館が連携して防災シンポジウムを実施した。	9月23日	1	120
図書ボランティアスキル アップ講座	再開館後、活動に対する意識がより前向きになれるよう、図書について改めて学び、地域における生涯教育と文化の向上に貢献していることを再確認。	11月12、15日	2	34

山田市民センター

〔沿革〕

山田市民センターは、昭和 62 年 4 月 17 日、旧笹谷街道沿いに戦後住宅街として開発され発展してきた山田地区に、コミュニティ防災センターを併設して開館した。

当市民センターは縄文遺跡や鹿除土手などの歴史遺産や昔ながらの自然を残す恵まれた環境の中にあり、太白消防署、鉤取郵便局、鉤取球場、縄文の森広場などの公所・施設や小中学校、大学などの教育機関も多く立地している。また、国道 286 号線沿いには大型商業施設が立ち並び、高い集客力を有している。

こうした環境の中、当市民センターは地域の生涯学習や地域コミュニティづくり、交流の場として地域住民に広く活用されている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★市民企画会「絆プロジェクト」		
参加者	成人	延参加者	143 人
開催日	全 13 回 4 月 25 日(木)、5 月 24 日(金)、6 月 14 日(金)、7 月 23 日(火)、8 月 23 日(金)、9 月 11 日(水)、10 月 23 日(水)、11 月 10 日(日)・29 日(金)、1 月 29(水)、2 月 8 日(土)、3 月 7 日(木)、3 月 8 日(土)		
協力者・協力団体	社会福祉協議会 中核支えあいセンター		
ねらい	仙台市震災復興計画に基づき、被災された方々と心の交流を図ることを目的に、ボランティアに関心のある方に呼びかけ、共に取り組める講座を企画・実施する。		
概要・成果	被災された方との定期的な交流の場「絆カフェ」をほぼ月 1 回のペースで開催できるよう企画運営した。被災者の体験談や復興の現状を被災者本人に話していただくとともに、心の交流が図れるようなコンサートも企画した。後の反省会で、この講座の参加者を中心に地域ボランティア「絆プロジェクトほほえみ」の立ち上げが話し合われるなど、これからにつながる動きが現れた。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
子育てほっとカフェ	1 回目は軽体操体験、2 回目は講話「子どもの病気や薬について」3 回目も講話「お父さん・おじいさん・おばあさんと一緒に子育て」4 回目は「楽しい子育て！情報交換」と題し講師の先生と子育て講座の企画体験。	8 月 29 日 9 月 5 日 21 日 26 日	4	20
山田わんぱくクラブ	1 回目は人来田小学校を会場に工作教室（巣箱作り）2 回目は太白小学校を会場にマリンバ等の打楽器コンサート 3 回目はセンターで軽運動の後食育講話と調理実習 4 回目は上野山児童館を会場にバルーンアートに挑戦。	7 月 28 日 10 月 5 日 12 月 14 日 2 月 15 日	4	95
インリーダー研修会	講話で「子ども会活動の意義とプログラムの立て方」「子ども会活動の意義と世話人の役割」を学んだ後ワークショップ形式でレクリエーション（ゲーム）の進め方を体験。	1 月 25 日	1	74

集まれ！山田市民センター★ジュニアスタッフ	センターの花壇の植物の世話、「山田ときめきコンサート」での来場者誘導等の手伝い、「山田ふれあいまつり」で来場者に配るポプリの製作、七夕飾りやクリスマスリースづくり、ネイチャーゲーム、トランプ大会、紙飛行機飛ばし大会、誕生会、ありがとうの集い。	5月～2月	23	153
中学生の職場体験活動	窓口対応、講座準備手伝い、施設整備（和室の障子張り）講座運営、事業企画書作成とそのプレゼンテーション体験。	12月	3	3
おもてなしの心を学ぶ	1回目は「洋室でお抹茶のおもてなし」2回目は「香りでおもてなし」と題して海外で人気の良い香りのする「ボマnder」作り。	2月6、20日	2	22
社会学級連携事業「地域でいきるコミュニケーション力を身に付ける」	スッキリ・いきる・しつもんスキルと題し、講話の後実践し、人との付き合い方に大切な事を学んだ。	12月5日	1	30
山田豊齢大学	①「筑川について」②「太白山から大年寺までの足跡」講話③ジャズストレッチ体操体験④科学館館外学習⑤「大学の野菜園芸学」宮城大学外学習⑥クワイアチャイムコンサート⑦「笑う門には」健康血管」が宿る」講演⑧「漢字物語」⑨「最先端医療について」⑩世話人会で今年の反省と来年へ向けた話し合い。	5月～3月	10	751
身近な自然 筑川に親しむ	筑川流域の踏査・観察3回（内1回は台風で講話に変更）とため池の池干しと生息生物の計測実施の後筑川散策マップ作りの会議を2回開催。	6月29日 7月27日 9月7日、28日 10月1、10日	6	78
ジュニア地域防災エキスパート養成講座	山田中学校で講座の趣旨説明と今後の会議日程打合せ。	12月13日	1	4
社会学級連携事業企画検討会	3回の企画検討会を経て決定した講座を企画・運営し、その後反省会開催。	6月5日 7月18日 10月2日 12月5日 (午前・午後)	5	39
地域防災力向上「地域地震対処総合訓練」	小学校・中学校合同で準備会議を3回開催した後各学校毎の会議を各1回開催。本番の防災訓練を各学校毎に実施後両校合同の反省会開催。	7月19日 9月18、26日 10月3、4、18、26日 11月15日	8	1527
★山田ときめきコンサート	①陸上自衛隊第6音楽隊（吹奏楽団）②田口忠誠とコンパスオーケストラのビッグバンドジャズ演奏③ヴァイオリン・オーボエ・ピアノコンサート④笛とピアノのコンサート	5月11日 7月13日 10月12日 2月1日	4	711
★第17回山田ふれあいまつり	展示・舞台発表・体験コーナー・こどものひろば・復興支援コーナー・模擬店及び出店コーナー等	11月9日 10日	2	1250
★山田地域懇話会	1回目が山田鉤取地域教育関係団体、2回目が山田鉤取地域有識者を招いての地域の情報収集とセンターの運営方針及び事業概要の説明。	9月20日 2月14日	2	27
★市民企画講座ー小さな復興支援の輪ー「絆カフェ」	被災された方の体験談を聞く機会を設けると同時にコンサートを開催し、終了後にはお茶を飲みながら歓談できる交流会を実施した。毎回義援金箱を設置し集まった義援金を東日本大震災の孤児を支援するJETO宮城に寄付した。自主サークル「民謡・絆ひまわりの会」が立ち上がりCD「民謡で絆のひまわり音頭」を制作。	5月31日 6月12、26日 7月25日 9月14日 10月20日 11月30日 2月8日	8	441
にこにこダンベル倶楽部フォローアップ講座	講話と実技で高齢者向け運動サロン活動にすぐに役立つ手遊びや体操ダンス等を体験。	8月30日 1月31日	2	15

茂庭台市民センター

〔沿革〕

茂庭台地区は仙台市西部に位置し、市内中心部から約 20 分の距離に位置しながらも、豊かな自然環境に恵まれている。

茂庭台市民センターは、昭和 63 年 4 月にコミュニティ防災センターを併設して開館し、平成元年 4 月から地域社会教育の拠点として公民館事業を開始した。平成 2 年には児童館が併設された。

近隣には高層マンションや多くの福祉施設があり、高齢者、子ども、福祉施設の方々や外国人居住者の利用も多く、当市民センターは地域コミュニティの場となっている。また、地域住民、各種団体とともに、地域性を生かした事業や地域人材を活用した講座などを開催している。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	水道山自然観察会		
参加者	一般	延参加者	24 人
開催日	4 月 27 日(土)、6 月 29 日(土)、10 月 12 日(土)		
協力者・協力団体	水道山整備ボランティア		
ねらい	水道山(茂庭台緑地)は 21～24 年度の遊歩道整備や倒木整理などの継続的な整備事業によって里山としての自然を取り戻しつつあり、多様な植物群が生育している。この水道山の自然を広く地域の方に知ってもらい、地域資源としての定着を図る。		
概要・成果	平成 25 年度より、これまでの「整備と観察」という学習から「観察会」となり、参加者が季節ごとの植生の変化をこれまで以上に体験でき、理解が深まった。事業を続けてきたことで水道山の認知度も増した。また、観察会を通して水道山に関心を持ち、整備ボランティアに加わった方もいる。これからも継続して植生観察を通して里山保全・整備の重要性を伝え、人材育成にもつなげていく。		

〔平成 25 年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●市民企画講座 「茂庭台おしゃべりカフェ」	①実技「楽しく親子工作に挑戦！」②実技「子育ての疲れをフラダンスで解消！」③講話「子どもの事故防止について」④交流会「ネイルでリラックス！みんなで交流会」を開催。	8 月 29 日 9 月 5 日 10 月 10 日 11 月 12 日	4	62
水道山工作教室 ～森の材料でクラフトを作ろう～	水道山(茂庭台緑地)と市民センター周辺から集めた自然の素材を使って、クリスマスリースづくりをした。	11 月 30 日	1	15
インリーダー研修会	子ども会活動の活性化を図るため生出・茂庭台地区の次年度最上級生・世話人に対して子供会行事のプログラム作りや子ども会の目的、行事で使えるゲーム等の研修を行った。	1 月 25 日	1	53
中学生職場体験	施設管理業務(窓口・受付等)・講座等市民センター業務の体験をした。また中学生が参加したくなる講座の事業企画書を作成した。	8 月 6、7、8、9 日	4	12
バルーンパフォーマーになろう！	青少年が地域の活動に参加できる機会をつくるため、いろいろなバルーンアートを練習し、茂庭台市民文化祭にボランティアとして参加した。	7 月 20 日 8 月 10、24 日 9 月 14、28 日 10 月 1、2、4 日	8	38

市民企画講座 「もにちゃんランド」	家庭ではできない体験活動を通して子どもの考える力や学ぶ力を育む。第1回はリコーサイエンスキャラバン、第2回は木工工作（ベンチ作り）を実施。	10月19日 11月9日	2	53
梨野野菜ファーム	茂庭台地域の梨野の農家に畑を借り、キュウリ・枝豆・とうもろこし・いんげんを栽培し、地域での農業を体験する講座を開催した。	5月11日 6月15日 7月13、27日 8月10、24日	6	59
ノルディックウォーキングで健康づくり	①ノルディックウォーキング座学（歴史、トレーニング）②実技、ストレッチング③周辺清掃	5月22、29日 6月5日	3	31
茂庭台大学	開講式、記念演奏、講話（歴史・天文・政治・食生活・医療など）、落語、中学校に出向いて授業参観や給食試食など	5月17日 ～3月7日	10	445
「茂庭台いきいき健康塾」～知ろう、学ぼう、ヘルスプラン～	①講話「認知症を予防する脳力アップ術」②実技「知って得するあなたの体力作り」を開催。	10月30日 11月6日	2	43
ほのぼのタイム 一ふるさとの山「太白山」の昔話とお月見ミニコンサート	昔話：生出が森、つきうさぎ他 オカリナ演奏：うさぎ、十五夜お月さんなど月に関する曲の演奏	10月18日	1	18
移動天文台「ベガ号」～夏の天体観望会～	地域住民に星座や天体・宇宙に親しむ機会を提供し自然科学への関心を深めてもらった。金星・土星・月等を移動天文台で観察した。	8月21日	1	32
地域防災講座	防災シュミレーションゲーム「クロスロード」実施 ①中学3年生対象、②地域住民、各団体対象	6月25日 12月14日	2	96
茂庭台地区市民文化祭	市民センターで活動しているサークル・団体や地域の福祉施設の作品展示やステージ発表を行った。また、「じどうかんまつり」や出店・フリーマーケットなども開催した。	10月5、6日	2	3684
地域懇談会	地域課題の発掘、把握、解決に向けた意見交換を実施。①学校関係者、②地域住民、サークル関係者	7月5日 10月30日	2	15
読み聞かせボランティア 「フォローアップ研修会」	講話と実習：年齢にあわせた本の選び方、読み方、プログラムの立て方など 実習：実際に読んでみて、お互いに講師にアドバイスを受けた。	6月12日 6月19日	2	11
市民企画 「茂庭台子育てママの企画会」	親子の孤立化を防ぐため「地域課題の解決やニーズ」を把握し、地域の未就学児親子対象に「情報を得る場・交流する場」を提供する事業の企画・運営を行なった。	6月11日 7月9、23日 8月22日 9月5日 10月10日 11月12日 (午前・午後)	8	40
市民企画 お父さんと楽しむ「もにちゃんランド」企画会	地域男性の視点や意見を取り入れた「子どもの考える力・学ぶ力」を育むことができる講座を企画・運営（設営・受付など）した。	5月18日 6月22日 7月28日 9月7日 10月19日 11月9日 (午前・午後)	7	49
「茂庭台サークル体験会」～あなたもチャレンジしませんか？～	サークル・団体の高齢化等での会員減少に対応する為、市民センター利用サークルの活動体験の機会を設け、広く地域住民に参加を促した。	6月11日 ～9月18日	10	19

東中田市民センター

〔沿革〕

東中田市民センターは、平成元年4月に児童館、保健センター、コミュニティ防災センターを含む複合施設として開館した。

当市民センターが位置する東中田地区は、仙台市太白区の東南端・名取川下流域にあり、名取川と広瀬川の合流点にも近く、素晴らしい自然環境に恵まれ、古墳や寺社仏閣などの歴史的資産を有している。

農村であったこの地域に、近年は高層の市営住宅や高齢者福祉関連施設、ミニ開発による一戸建て住宅が次々に建設され、商業の発展も著しい。新旧住民が混在し、急速に発展している地域環境に対応した地域コミュニティの確立が望まれている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	手作り味噌で避難所メシを作ろう！		
参加者	小学生、成人	延参加者	58人
開催日	全1回 1月25日(土)		
協力者・協力団体	東中田町内会連合会、四郎丸小学校		
ねらい	東日本大震災後に避難所開設時の炊出し用として作られ保存されている四郎丸小学生手作り味噌を使って、市民センターが避難所になった想定での炊出し訓練と、避難所運営について実地訓練を行い、災害時の住民の絆が強まることを図る。		
概要・成果	東中田町内会のうち、四郎丸小学校を避難所とする町内会及び四郎丸小学校と連携し、東中田防災ネットワーク講座と合同で開催した。1部は防災講話と防災グッズビンゴゲームを行い楽しみながら用意しておくものを考えていく工夫を施した。2部は小学校手作り味噌を使い避難所の食事作りの実地訓練を行った。3部は試食をしながらグループワークで避難所について考え発表し、模擬体験を通して、防災災害時の行動について地域が協力することの必要性、大切さを学ぶことにつながった。		

〔平成25年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
子育てママのハッピータイム	フラワーアレンジ、クッキング、育児相談会と多様な内容で開催した。子育て中の母親が交流しながら、育児について学んだり子どもから解放される時間を過ごすことで、母親の孤立化を防ぎ、子育ての軽減を図った。	10月～11月	4	13
おらほのごつつお ～大切な日の精進料理五膳～	地域に伝わる食文化を聞くとともに、調理実習を通して新旧住民の交流を図り、地産地消の食の安全を知る機会となり、また小学生親子との世代間交流も図った。	12月	2	57
東中田わくわくタイム	センター活動サークルや地域講師から学ぶ体験学習を通して世代間交流を図り、地域での子育てを支援する一助とした。	7月～1月	13	247
かにっこおはなしタイム	小学生が読み聞かせを通して言葉を学び、豊かな感受性や創造力を育み、本に親しむ機会を提供した。	5月～3月	6	201

インリーダー研修会	子ども会の児童や世話人を対象に子ども会活動についての知識や技能を学習する機会を提供し、子ども会活動の充実を図った。	2月	1	68
緑と歴史の散歩道	「緑」や「歴史」、「文化」を守り育てている秋保・二口地域を訪問し、自然環境や歴史的・文化的資源をどのように調和・保全してきたのかを学んだ。蕃山・大梅寺は天候により座学となった。	5月・3月	2	22
東中田老壮大学	高齢者が仲間づくりや交流を図りながら、生きがいを見出し、健康で豊かな生活を送るための学習の機会を提供した。	5月～3月	10	469
みんなのコンサート	絵本とピアノのコラボ演奏、弦楽合奏団による演奏、南米音楽の演奏を実施。地域の人々が気軽にコンサートを楽しみ、地域に居ながらにして質の高い音楽を聴く機会を提供した。	7月～2月	4	293
ひとにやさしい街づくり 「知ろう、学ぼう、認知症」	認知症の方やその家族をサポートし孤立化を防ぎ、地域で充実した生活を送れるような意識を持つために、認知症に関する正しい知識や対応の仕方を学んだ。	11月～12月	3	52
★東中田防災地域ネットワーク	地域の町内会や各団体と連携し、他地域の防災の取り組みを紹介して、住民意識の向上とコミュニティづくりを推進することで、地域防災力を高め防災ネットワークの強化を図った。	5月～2月	4	138
東中田市民まつり	町内会や地域団体、地域サークルと連携し、学習発表の場と地域住民の交流の場を提供し、地域活性化を図った。	10月 6日	1	4000
東中田コミュニティ懇話会	町内会や学校、地域住民と意見交換し、地域課題やニーズ、要望等を把握すると共に市民センターへの理解を深めた。	6月～2月	2	22
東中田の語り部ボランティア養成講座～物語創作編～	地域に数多く残っている伝説やおとぎ話、また地域の生活の様子や慣習などを掘り起こし文章化し、語りの原稿を作成した。	10月～3月	12	114
センターだよりで地域情報発信	地域住民の目に留まるような魅力的な情報紙の作り方を学び発信するボランティアを養成し、市民センターだよりによりコーナーを設けて地域情報を発信できるようにした。	2月	4	17
「みんなで東中田もりあげ隊」市民企画会議	地域住民が交流しながら、それぞれの立場から地域を見直し、東中田の食文化を伝える講座を企画した。	5月～1月	9	36

柳生市民センター

〔沿革〕

柳生市民センターは、平成9年4月に、市内52番目の市民センターとして児童館・コミュニティ防災センターを併設して開設された。

当市民センターが位置する柳生地区は仙台市南端に位置し、住宅地・商業地として発展している。また自然環境に恵まれ、柳生和紙など伝統工芸も残されている。マンション等の建設に伴い、他地域からの転入者も多く、若年層の世帯が比較的多い地域である。

こうした地域の特性と施設の機能を活かしながら、住民の多様化に対応した生涯学習の地域拠点として各種事業を展開し、地域のコミュニティ・住民の自主的活動の場としての役割を担っている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	科学あそび		
参加者	小学生	延参加者	65人
開催日	全2回 7月20日(土)、11月30日(土)		
協力者・協力団体	柳生児童館		
ねらい	実験を通して科学現象の不思議さやおもしろさを体験し、科学への興味・関心を高め、学習意欲の向上へつなげる。また専門学校学生との交流で、異世代間交流を図る。		
概要・成果	①「ロボットとあそぼう」仙台高専名取キャンパスメカトロニクス研究会によるロボコン大会出場のロボットの実演見学と、操作・プログラミング体験を行った。専門学生たちとの交流も深め、専門的な学習への興味が高まった。また、学生にとっては、自分たちの学習成果のよい発表の機会となった。②「そめものキレイ色」身近な植物を用いての染色体験。媒染によって染め色に変化する現象を体験した。講座を通して、子どもたち同士で協力して作業をすすめることもできるようになり、異学年交流にもつながった。		

〔平成25年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
★みんなであそぼ！	広いホールで自由遊びを行い、土曜開催で父親も参加し、親子コミュニケーションを楽しんだ。JLや大学生プレイリーダーとの世代間交流も行った。①親子体操 ②わらべうたであそぼう ③つくってあそぼう！ダンボールラント	6月1日 11月9日 2月8日	3	147
おはなしタイム	絵本の読み聞かせや手遊び・紙芝居などで乳幼児の情操教育に役立てた。参加親子同士の交流を広げたり、おはなしボランティアが子どもの成長を見守っていくことができ、育児中の親の支援にもつながった。	4月～3月	10	170
社会学級共催事業 「子どものころとキャッチボール～学童期から思春期のかかわり方」	企画会や懇談会からの課題の提供を受けて、専任相談員より子どものころと身体の成長について特長や対処のポイントについて学んだ。託児付きで、親子ともそれぞれ集中して学習に取り組むことができた。	12月10日	1	22
柳生ワンダーランド	子どもたちがのびのびと自由に遊ぶ空間を提供し、集団遊びやもの作りを楽しみ、世代間交流を図った。①勾玉づくり ②ポッチャで遊ぼう ③楽しいヒップホップダンス	7月13日 10月16日 1月11日	3	82

柳生こどもクラブー楽しく作ろう！	ものづくり体験を通して、作る楽しさと難しさ・作品完成充実感を味わうことができた。陶芸作品は、センターまつりで展示し、子どもたちの励みにもなった。①陶芸編 ②手芸編（お正月かざり） ③食育編（クリスマスデザート）	8月21日 12月14、21日	3	59
インリーダー研修会	次年度、子ども会のリーダーとして活躍する5年生の児童・世話人を対象に、子ども会活動に必要な知識や会のすすめ方について学んだ。	2月22日	1	45
快適エコライフ！	重曹を使ったクレンジャー、風呂敷の活用術、和紙や古紙のリサイクル小物作り講座を通し、環境にやさしい3Rを学習した。①エコ家事で楽しく3R ②ふろしき活用術 ③④古紙で作るリサイクル小物	11月1、6日、 29日 12月6日	4	48
★柳生シニアスクール	現代社会における様々な課題に対応した内容で実施し、受講生の学習意欲向上につなげた。座学形式でも、講師と受講生同士がコミュニケーションをとれる工夫をし、仲間作りにもつながった。	5月～2月	10	486
おいしく学ぼう in 柳生	社会学級と共催し、地場野菜の特性や活用を学び、地域の豊かさや食の安全性を再認識した。また社会学級生同士の交流も図った。①野菜の基礎知識 ②③野菜を知ろう・調理実習	11月7、21、22日	3	31
★柳生地域防災講座	ゲームなどで、自主防災への認識を高めるために、町内会の防災取組について学んだ。小学生の参加で、意識の活性化も図れた。①自宅内避難所設置について ②クロスロードゲーム ③中田西部地区の防災対策現状について	11月16、25日 2月1日	3	56
柳生小学校社会学級・西中田小学校社会学級共催事業企画会	学童期から思春期の子どもについて親の心構えや子育てで不安解消の課題が出され、家庭教育講座を開催した。センターまつり参加や「おいしく学ぼう in 柳生」の企画検討も行い、連携強化につなげた。	5月～1月	6	24
★柳生サタデーコンサート	幅広い世代で気軽に楽しめる演奏会として定着した。地域住民の交流を深め、音楽サークルの発表の場の提供にもなった。①弦楽四重奏の午後 ②トロンボーンの魅力をあなたに③ギターデュオの世界へようこそ	6月29日 12月7日 2月8日	3	125
★第9回柳生市民センター・児童館まつり	①オータムコンサートの部ー児童館・小中学校・サークル団体など幅広い世代が参加し、バラエティにとんだ音楽会を行った。②おまつりの部ー小・中学生と町内会スタッフの活躍で、住民が気軽に集い交流する場を提供した。	9月28、29日	2	2300
地域懇談会	センターについて、地域の理解を深め、協力関係の強化ができた。学校関係との会合は、年央の家庭教育講座開催につながった。町内会や学校等の行事が把握でき、センター事業開催日程の参考になった。	6月14日 2月21日	3	35
おはなしボランティアスキルアップ講座	1回目は講話、2回目以降は、近隣の保育所の協力を受けて、読み聞かせの実技体験を行った。年齢別や全園児対象など様々な体験ができた。また地域施設と新たなつながりをもつことができた。	6月1、28日 7月18日 1月31日	4	23
市民企画 地域の魅力発見！ ＜複数年事業計画＞	1回目に「柳生なりわい探検」を行い、小学生から成人の幅広い企画員が、多様な視点から地域の魅力（食・公園・和紙）を検証した。随時新たな参加者が加わり、情報の検証等積極的な自主活動にも広がった。	10月～3月	14	155

富沢市民センター

〔沿革〕

富沢市民センターは、平成 13 年 11 月、地下鉄富沢駅近くにコミュニティ防災センターを併設して開館した。当市民センターの位置する富沢地区は、名取川・JR 東北線・国道 286 号線に囲まれた地域で、中央部を笹川が流れ、かつては富沢・大野田遺跡のある田園地帯であった。地下鉄開業以来、交通の利便性から宅地化が急速に進み、高層マンションと昔ながらの農地が混在する地域に変貌した。当地区は、単身・核家族世帯が多く、住民の転出入の頻度も高い。

当市民センターは、市民が気軽に利用できる共有スペースとして親子室・娯楽室・図書室やラウンジを有し、年間を通し多くの地域住民が来館し、生涯学習の拠点として活用されている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画講座「富沢アクティブエイジングサロン」		
参加者	50 代～60 代の成人	延参加者	87 人
開催日	全 6 回 5 月 11 日(土)、6 月 1 日(土)、7 月 6 日(土)、8 月 3 日(土)、9 月 7 日(土)、10 月 12 日(土)		
協力者・協力団体	JA 仙台青年部西多賀支部		
ねらい	退職後に地域活動や何かを始めたいと考えているシニア世代が活動始めるきっかけをつかむことを目指し、講座を通して、震災後にクローズアップされた人と人とのつながりや地域でのつながりの大切さを学び、地域の中で魅力ある生き方をする為の一助とする。		
概要・成果	複数年事業の 1 年目。「ゲームや歌を交えた交流会」「ヨガ体験」「地元野菜を使った調理」など、月 1 回のペースで開催し、富沢地域のシニア世代が地域活動をスタートするきっかけ作りを図り、受講生同士の交流を深めた。講座終了後、シニア世代が気軽に集まり地域活動をするサロンとして交流会を行った。サロンでは来年度の講座の内容について受講生と企画を考え、地域活動へと繋がる道筋を立てることができた。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
おはなしの部屋	5 月～3 月(10 月休み)第 2 水曜日の 10:30～11:00 の間に実施。当市民センター利用サークル「おはなし・はらっぱ」「人形劇団プーポイ」に講師を依頼し講座を開催。子育て世代の交流の場と、読書推進に繋がっている。	5 月 8 日 ～3 月 5 日	10	490
にこにこ子育て倶楽部～イクメンプロジェクト	男性の立場からの子育てに関する学習や情報交換、交流の場を提供、父親の育児参画をテーマに富沢児童館と連携し講座を開催。1 回目は「親子で一緒にふれあい遊び」、2 回目は託児付で「パパだって読み聞かせ」を実施した。	1 月 18 日 2 月 1 日	2	10
社会学級共催事業 「ちゃんと見てるよ、あなたのことを」	親として、また、地域の大人として、「子どもをきちんと見る」とはどういうことなのかを学び、地域全体で子どもを育てることをテーマに、講座を企画した。内容は、父親目線の子育ての話と教育現場での事例の紹介。	11 月 15 日 2 月 7 日	2	141

とみざわ子どもの広場	学校休日のおもに土曜日を活用して様々なテーマを設け、子供たちの体験・学習・交流の場を提供する。「筑川観察会」「八木山動物園バックヤードツアー」「科学で遊ぼう!」を実施。	6月8日 12月26日 3月1日	3	61
市民企画講座 「〜つどえわこーど〜富沢なんでもフェスタ」	中高生企画。若者の「自己表現力」を通じた地域参加を目的に開催した。富沢地域の小中高生6組が参加し、地域の観客も40人ほど集まった。	11月10、16日	2	39
富沢小学校連携講座 「地域を知って富沢博士になろう!」	地域の歴史や史跡について、クイズラリー形式で体験学習し、地域への愛着や興味・理解を深める。学習成果は市民センターに展示し、地域学習資源の共有を図った。	7月17日 10月31日 12月12日	3	377
中学生職場体験	富沢中学校・長町中学校2年生を受け入れた。市民センターの仕事内容を体験させることにより、中学生に「仕事をするための心構え」や「責任をもって仕事を行うことの大切さ」などを学ぶ機会を提供した。	8月20〜23日 11月12〜15日	2	8
大野田小学校連携事業「国際理解講座」	仙台国際交流協会と連携し、ワークショップを開催し、各回に留学生が参加。これからの国際社会を生きる日本人としての基礎的な考え方を学んだ。①3年生対象「世界がもし100人の村だったら」②6年生対象「異文化体験ーバーンガ」	11月26、28日	2	227
★心にふれる読書会	「震災からの心の復興」を目指し、本を媒体にして、お互いがそれぞれの思いを語り合い交流を深める場として「読書会」を開催した。継続を望む声も出ているので、今後自主サークルに進む可能性もある。	9月25日 10月23日 11月27日 12月18日 1月22日 2月26日	6	57
富沢シニアクラブ	富沢地域の中・高齢者が人生を楽しく豊かに過ごす為に、また変化する社会情勢に対応するための学習や親睦、交流を図る機会を提供した。企画講座や閉講式の司会など、運営委員の活動が活発になった。	5月1日 〜2月20日	10	418
社会学級共催事業企画会	市民センター管内の3つの社会学級（西多賀・大野田・富沢小学校社会学級）と企画会議を持ち、地域課題として「子供が健やかに育つ地域の環境作り」について話し合い、講座を企画実施した。	5月23日 〜2月28日	8	24
富沢市民センターまつり	市民センター利用団体、町内会等の参加発表の場とし、地域住民のコミュニティづくりの場とした。中学生ボランティアやジュニアリーダーが運営に参加し、地域住民と交流した。	10月6日	1	3000
地域懇話会	市民センター利用サークル及び「親父の会」との情報交換を通じて地域のニーズや課題を把握し、市民センターの事業運営に反映させた。	6月23日 2月22日	2	20
図書ボランティア養成講座	ボランティア活動を希望する人材の発掘を行い育成すると共に既存ボランティアのスキルアップ研修を実施し、充実した図書室運営とボランティア活動の活性化を図った。	5月29日 7月11日 9月11日 2月22日	4	28
市民企画会議 とみざわ中高生サミット	富沢中学校の生徒5人が企画委員になって「若者の表現する力」をテーマに企画会を開催し、講座を企画実施した。	5月26日 6月29日 7月20、30日 8月17日 11月16日	6	18
サークル体験会〜地域へ広げよう、サークルの輪	地域懇話会で出された意見を反映し、サークルの活性化と生涯学習のきっかけ作りを目的に講座を開催した。12サークルが参加し、新規入会者もあった。	1月17日 〜2月18日	10	25

秋保市民センター・馬場市民センター・湯元市民センター

〔沿革〕

秋保市民センターは、昭和 26 年 4 月「秋保村公民館」が設置されたのが始まりで、昭和 42 年 4 月町制施行に伴い「秋保町公民館」、昭和 63 年 3 月仙台市と秋保町の合併により「秋保公民館」、平成元年 4 月には「秋保市民センター」と改称され現在に至っている。

馬場市民センターは、昭和 52 年 3 月、旧秋保町時代に開設され昭和 63 年 3 月仙台市と秋保町の合併により「馬場公民館」、平成元年 4 月に「馬場市民センター」と改称され現在に至っている。

湯元市民センターは、昭和 53 年 3 月、旧秋保町時代に開設され、昭和 63 年 3 月仙台市と秋保町の合併により「湯元公民館」、平成元年 4 月に「湯元市民センター」と改称され現在に至っている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	秋保自然紀行「森づくりとトレッキング」		
参加者	成人	延参加者	56 人（全 4 回）
開催日	全 4 回 平成 25 年 5 月 15 日(水)、6 月 12 日(水)、11 月 13 日(水)、12 月 4 日(水)		
ねらい	秋保の里山と住民の関わり方の変遷や、里山が今日抱えている問題を、植生観察や講話を通して学習し、自然環境保護への意識を高めることを目的とする。		
概要・成果	長袋五山と呼ばれている内の三山(愛宕山・大旗山・ヤケ山)の散策と植生観察を実施。また、山のふもとに所在する向泉寺に立ち寄り、秋保町の歴史を学習し理解を深めた。単なる植生観察ではなく秋保町の歴史から自然保護を考える切り口での内容となり、受講生の学習意欲、自然環境保護への意識の高まりにつながった。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●あきう子育て広場	調理実習やリトミック等親子で一緒に出来る事業を展開した。また、同じような悩みを持つ保護者が集う機会を設けることによって、情報交換を促した。	6 月 26 日 10 月 23 日 11 月 27 日	3	47
秋保ファミリー体験講座 「あきう遊々クラブ」	秋保の自然を四季を通して満喫できる事業を展開した。春は二口の自然観察、夏は親子で水生生物を観察し、秋は楯山のトレッキング、冬は冬芽を観察した。	6 月 8 日 8 月 17 日 11 月 16 日 1 月 25 日	4	43
インリーダー研修会	小学 5、6 年生の児童は、子ども会の行事計画作りを学習し、保護者は世話人の役割を学んだ。	6 月 22 日	1	41
「がんばれ秋保っ子」キックベースボール大会	広域に点在している学校・学年の枠を超えた秋保地区の子どもたちの健全育成と交流を図るため、ドッジボール大会とニュースポーツを実施した。	10 月 20 日	1	57
地域の施設を使ってみよう ～簡単スイーツをつくろう～	秋保中学校の生徒が秋保市民センターの施設を利用してお菓子作りを行った。利用者層の拡大と施設紹介につながった。	12 月 7 日	1	15
秋保の地産地消を考える 「伝統食を食卓に」	秋保の地場産品を使った伝統料理を学んだ。おくずかけ、おはぎ作り、おふかし等を作った。食を通して秋保地域の食文化を学んだ。	7 月 11 日 9 月 12 日	2	35
男子の厨房はアウトドア にあり ～パパのアウトドアクッキング～	料理が苦手なお父さん方が、アウトドアクッキングに取り組んだ。2 回目は、家族に料理の腕を披露した。	8 月 11 日 9 月 8 日	2	15

健康づくり「温泉地でフラダンス」講座	健康増進のためフラダンスを実施した。無理なく楽しく体を動かした。健康づくりに対する意識が高まった。	6月21日 7月5、19日 8月2日	4	50
里山からの贈り物 ～自然素材でリースづくり～	里山で採取した材料を使って、ナチュラルリースを作成した。また作成した作品を秋保ふるさと文化祭や移動展示会に出品し展示も行った。	9月20日 11月2日	2	14
あきう熟年のひろば	秋保地区の高齢者を対象に、教養を高める事業を展開した。健康・教育・文化・スポーツ・音楽・物作り等で交流を深めた。	5月16日 6月19日 7月18日 9月19日 10月17日 11月21日 12月19日 1月16日 2月20日	9	189
秋保郷土かるた大会	秋保学びのコミュニティ推進事業の一環として、秋保の風土・伝統・文化についてわかり易く綴った「秋保郷土かるた」を用いたかるた大会を実施した。	1月11日	1	66
秋保地域出前講座	秋保市民センターまで距離のある馬場・湯元地区へ出前講座を実施した。クラフトを作成したり、映画鑑賞を実施して交流を図った。	7月18、25日 9月3日 11月17日 1月26日	5	84
●秋保資源活用委員会	複数年事業として、秋保地域の資源を調査し、有効活用法を考え、秋保の活性化を図った。今年度は長袋・境野地域の調査を行った。	4月20日 ～3月8日	13	199
秋保市民センターリニューアルオープン記念コンサート	移転に伴うこけら落としとして、マーチングバンドによるコンサートと、地元の舞踊サークルによる日本舞踊を披露していただいた。	4月27日	1	148
秋保ふるさと文化祭	地域の文化団体、小中学校、幼稚園、秋保市民センターを利用するサークルや個人の方々の作品等の発表の場を設け、地域との交流を図った。	10月26、27日	2	793
秋保ふるさと文化祭移動展示会	秋保・里センターで秋保ふるさと文化祭の作品を展示した。サークルの発表の場を広げ、地域文化の発信の場となった。	11月7、8、9、 10、11、12日	1	1058
秋保ふるさと舞台発表会	秋保地域の市民センターで活動中の団体、個人の方々の音楽・舞台発表会を実施した。地域交流のイベントとして大いに盛り上がった。	12月1日	1	395
地域懇話会	移転改築後の利用状況等についてアンケート調査を実施して、地域からの要望・意見など情報を収集した。	11月26日 12月11、17日	3	13
★東日本大震災後の地域の活動記録	地域懇話会やアンケート実施の結果から、震災後の地域の不安や情報を集約し記録した。	7月18日 9月3、19日	3	43
市民企画講座 いってみっぺ、秋保路もみじウォーク	馬場市民センターから森安経由で秋保大滝まで往復約7.3キロを紅葉の真っ盛りの秋保をゆっくり歩いて、秋保の魅力を発見した。	11月10日	1	53
街かどコンサート in 秋保	市民文化事業団の仙台国際コンクール関連事業の一環として、市民センターを会場に、若い音楽家のコンサートを開催した。	3月7日	1	36
市民企画会議「秋保市民センター盛り上げ隊スタッフ会議」	秋保を盛り上げる事業を実施するため、全4回の企画会議を実施した。企画会議を通して秋保を盛り上げる事業を行うことになった。	6月29日 7月10日 9月20日 10月23日	4	22

泉区中央市民センター

〔沿革〕

泉区中央市民センターは、昭和 22 年 9 月、七北田中学校内に七北田公民館として開設された。昭和 43 年 7 月に市名坂字東裏の現在地に移転。平成 16 年 1 月には、施設の老朽化と機能拡充の必要性から改築され新館として開館した。今日まで泉区の生涯学習の拠点として、その役割を担ってきている。

本地域は従来の歴史的・文化的要素が残されている七北田地区と仙台市の副都心として急速に発展した泉中央地区を包含し、住民を取り巻く社会環境は大きく変化しつつある。このような状況の中、現代社会に対応した生涯学習事業の展開を図っている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	男性企画員による「ものづくり講座」企画会		
参加者	成人	延参加者	39 人
開催日	全 13 回 7 月 26 日(金)、8 月 9 日(金)・23 日(金)、10 月 4 日(金)、11 月 8 日(金)・26 日(火)、12 月 3 日(火)、1 月 17 日(金)・24 日(金)、2 月 14 日(金)・16 日(日)・21 日(金)、3 月 14 日(金)		
協力者・協力団体	市名坂小学校、ふれあい学びネットいずみ、泉中一地区民生委員児童委員協議会		
ねらい	当市民センターの利用者及び事業の受講生など、男性の参加が少ない現状がある。そこで、定年退職などで比較的家に多いことが多い男性や「ものづくり」に関心のある男性を企画員とし、仲間づくりをしながら「ものづくり」を通して地域に貢献することを目指す講座を企画・実施する。		
概要・成果	企画会議を重ね、自分達のスキルを生かせる内容(お正月飾り・竹トンボ・竹鉄砲など)から企画し実施した。材料の選択や広報の仕方など細部に渡り綿密な話し合い、確認を重ねたことで、スムーズな運営を行うことができた。また、地域の小学校への出前授業やセンター事業にも大いに活躍するなど、「ものづくり」を通して地域貢献につなげることができた。		

〔平成 25 年度 (地区館) 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
● パパ&ママふあんふあんフェスタ	地域の子育て機関と連携し、誰もが気軽に参加しやすい交流の場となる講座を企画・実施し、他の学習や交流につなげた。おやこびくすで遊ぼうや身長測定等のイベントと乳幼児保護者のため普通救命講習を行った。	9 月 25 日 10 月 11 日	2	124
いずちゅーキッズ	体験型の様々な学習を通して近隣小学校間の交流とジュニアリーダーの中高生と小学生の異年齢交流を図った。また、ジュニアリーダーの活動を周知し、ジュニアリーダー活動支援の場となった。	7 月 25、27 日 9 月 21 日 12 月 21 日 2 月 1 日	5	119
ウェルカムいちんなキッズ 2013 (七北田小学校・市名坂小学校合同インリーダー研修)	小学 5 年生を中心にした小学生を対象に地域のリーダーとなるための研修と体験をした。七北田小学校と市名坂小学校との合同で行うことで両校保護者と小学生の交流と協働意識向上が図られた。	9 月 7 日	1	79
泉区中央市民センター職場体験	小中学生のキャリア教育の一環として、児童・生徒が職業や生き方を考える機会を提供することを目的とする。市民センター生涯学習事業や施設管理業務に関する講話や実務体験。	11 月 12、13、14、15 日、21 日	2	5

ふるさと泉のひとと暮らし	泉区内の貴重な資料が展示されているギャラリーが市民に周知され、訪れた市民が自分の住む地域に愛着を持つことを目的とし、泉区内の文化財・郷土芸能・伊達家の門松についての講話とギャラリー鑑賞を行った。	11月30日 12月7日	2	47
泉シニア塾文化コース	高齢社会を迎え、泉区でも高齢者人口が増えている。高齢者が生き甲斐をもって元気に生活していくために、定期的に学習する場を提供することで主体的に学ぶ機会を作った。講話を中心としてワークショップや館外学習も行った。	5月22日 ～2月19日	9	377
泉シニア塾健康コース	高齢者の方が生涯に渡り、社会と関わりを持ちながら、心身ともに健康で豊かな生活を送れるように情報や学習機会を提供した。また参加者相互の交流を図った。講話・実技・館外学習・給食試食など。	5月22日 ～2月19日	9	377
ゆったりまち歩き～市名坂編～	泉区に転入した方などが、この地域ならではの魅力を学び、地域への理解や愛着を深める事を目的とする。自然、神社仏閣、防災施設、公共施設などを巡った。	10月3、17日 11月7、21日	4	37
★泉中央交流カフェ 2013	震災避難者と地域住民が音楽や手仕事を通して気軽に交流する場を提供し、講師と受講者の生きがいがづくり、仲間づくりの支援の場とした。手芸、染め物、マッサージ、コンサートなど。	6月13日 ～2月13日	11	402
★●泉中央減災講座～災害に強いまちづくり	とっさの時に役立つ救命講習を開催した。また、七北田小学校校区総合防災訓練の中で小学5、6年生及び中学1年生を対象に、防災講話を開催し、大地震が起きた時の対処法や防災の知識について学んだ。	7月6日 11月2日	2	428
作って遊ぼう竹・藁細工	利用頻度が少ない男性をセンターに呼び込み、得意なこと、好きな事を生かしながら地域活動に繋げる事を目的として実施。お正月飾りづくり、竹とんぼ、竹鉄砲作り。	12月6、13日 1月31日 2月28日	4	117
白菜で知る食文化～キムチ作りを体験しよう～	地域の2つの社会学級と共催で食育講座を開催し、仙台白菜を題材にした講話や、キムチ作り体験及び試食時の参加者交流をした。	11月29日	1	35
まつりだよ！泉区中央！	誰もが気軽に集える「まつり」を通じて参加者同士、地域住民間の交流を図るとともに、市民センターを地域に広く周知した。児童生徒作品展示・サークル作品展示・ステージ発表・アート系ワークショップなど。	10月26、27日	2	810
泉中央地域懇話会	当センター利用サークル代表者及び地域の子どもに関係する団体・学校などの代表者を対象に様々な情報を持ち寄り、地域課題を共有する機会とした。	2月8、26日	2	21
七北田 JL サークルありす定例会	地域の担い手としての青少年の社会参加を促す。定例会では、子ども会活動や地域の活動などの報告をしたり、JL 同士の交流を図った。	4月～3月	13	66
ひとかまプロジェクト	ジュニアリーダーとは別に地域を盛り上げる若い人材を育成し、ボランティア意識の向上を図った。地域の若者とジュニアリーダーが共に、地域の子ども達を対象としたイベントを企画実施した。お化け屋敷。	9月22日 10月20日 12月8日 1月5日 2月2日 3月2、25、26日	8	81
学校ボランティア体験講座	地域内の学校支援地域本部と連携し、地域住民及び市民センターを利用している個人にボランティアへの参加を呼び掛ける講座を開催し、学校内で活動するために必要な知識等を提供した。また、実際に小学校の授業で体験実習をした。	9月4日 10月30日	2	14

根白石市民センター

〔沿革〕

根白石市民センターは、昭和 21 年 11 月、根白石小学校内に設置され、昭和 23 年役場の移転に伴い独立した施設としての活動が始まった。旧泉市で昭和 28 年に公民館新築促進が決議されてから 10 年の経過を経て、昭和 38 年 7 月、待望の公民館が移転新築された。以来 20 年余、根白石唯一の社会教育施設として活動が続けてきたが、老朽化により昭和 63 年 4 月、根白石字杉下前に新築移転し開館した。館の特色として、299 席の移動式観覧席を備えた多目的ホールを有している。

当市民センターは泉区西部に位置し泉ヶ岳を背景にした豊かな自然環境に恵まれている。周辺は田園地帯と近年の開発による住宅地からなり、多様な住民構成の生涯学習の場として、また、スポーツ、コミュニティ、自主学習の場として広く利用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	泉区西部のまち興し“かむりの里 春待ち風揚げフェスタ”		
参加者	地域の小中学生、地域の諸団体	延参加者	368 人
開催日	全 20 回 6 月 15 日(土)～3 月 15 日(土)		
協力者・協力団体	泉西部地区連合町内会・ふるさと創生会・根白石商店会・仙台風の会・昔遊びボランティア・根白石小学校・福岡小学校・実沢小学校・根白石中学校・根白石児童館・館児童センター・住吉台児童センター・根白石温水プール・泉西部地区老連		
ねらい	自然や環境の豊富な地域資源を活かし、地域の諸団体と協力し合いながら、人々が互いに支え合い共に生きる“まち”として活性化させることを目指す。それとともに、まち興しには欠かせない、根白石の良さを発信できる人の養成を目的とする。		
概要・成果	泉区中央市民センターと共催事業 2 年目。泉区西部のまち興し会議を 7 回、たこづくり出前講座を 12 回開催し、風揚げフェスタ当日を迎えた。地域の小中学校や地域諸団体の協力を得て、住民同士の結びつきがより強まり、地域人材の新たな掘り起しにつながった。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
根白石の年中行事	根白石の伝統行事「正月飾り作り」と「だんごさし」の講話と実技	12 月 21 日 1 月 11 日	2	25
あつまれ！元気キッズ	福岡小学校、実沢小学校の児童・保護者を対象に物づくりの講座を開催。①木の実を使ったストラップの作成②万華鏡作り③まつりのコーナーでジュニアリーダーによるバルーンアートの指導④キャンドル立ての作成	7 月 3、25 日 11 月 16、27 日	4	119
チャレンジ！体験！親子で楽しく学ぼう！	小学生親子を対象に科学実験や工作を体験。①実験や工作を通して、虹について学習。②紫キャベツを使った水溶液の酸性・アルカリ性の実験。	8 月 3 日 10 月 5 日	2	29
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとしての心構え等の講話・ゲーム体験・保護者向け講話・情報交換	8 月 9 日	1	27
ストレッチできれいを磨こう	女性特有の体の知識や健康づくりの講話の他、バランスボール・ストレッチの実技	6 月 28 日 7 月 5、12 日	3	49
市民企画講座 男のくつろぎ交流会	定年退職前後の男性を対象とした講座①調理実習②調理実習③調理実習と交流会	1 月 18、25 日 2 月 1 日	3	30

●さわやか大学	①開講式・弦楽器コンサート②防災講話③伊達家の家紋と紋切型の体験④軽体操⑤クリニカルアート⑥山里ことば考⑦エンディングノート⑧介護予防⑨口腔ケア⑩開講式・演芸鑑賞	5月16日 6月20日 7月18日 9月19日 10月17日 11月21日 12月19日 1月16日 2月20日 3月6日	10	232
根白石民俗ミニ七夕づくり	根白石に伝わる伝統的な七夕まつりについての講話・七夕製作・地元の「根白石民俗ミニ七夕まつり」に作品展示	7月12、17、24、26日 8月2、3日	6	66
●出前講座	交通の便が悪く来館できない高齢者に学習の場を提供。①ハワイアンバンド演奏とフラダンス②オカリナコンサート③市政出前講座「温泉の効用」④⑤落語鑑賞会	8月29日 9月10、11、18日 11月20日	5	99
ふれあいウォーキング	町内会行事「歩け歩け」と地域防災訓練	11月3日	1	73
市民企画会議「男のくつろぎ交流会～健康編」	企画会議①顔合わせ、テーマ、内容検討②内容の具体化③内容、広報検討④講座の事前打合わせ⑤企画講座実施⑥企画講座実施⑦企画講座実施⑧反省会	5月23日 6月13日 7月19日 1月9、18、25日 2月1日	8	38
冠のふるさと伝承まつり	地元小中学生による地域伝統芸能の発表会。「アセ踊り」「大正踊り」「鹿踊・剣舞」「しの笛・鹿踊」	10月19日	1	300
根白石市民センターまつり	利用団体やサークル等による学習成果の発表。地域内の小学校、地域住民の作品展示。授産施設、地域の商店の物品販売。根白石児童館子育て支援さくらクラブの体験コーナー。	11月10日	1	650
地域ぐるみふれあいコンサート	地域の根白石中学校・住吉台中学校・館中学校による合同吹奏楽のコンサート	10月14日	1	160
地域懇談会	①泉区西部地区連合町内会役員のみなさんと地域課題についての話し合い ②当市民センター利用サークル代表の方との懇談と情報収集・情報提供	6月27日 12月21日	2	29
ジュニアリーダー定例会	要請内容と参加者の確認・活動の報告と反省・仲間同士の交流・技能研修など	4月17日 ～2月22日	17	152
★傾聴ボランティア養成講座（スキルアップ編）	傾聴の基本的な心構え・スキル確認・認知症の方への関わり方・ロールプレイ体験・グループワーク	6月7、14、21、28日	4	27

南光台市民センター

〔 沿 革 〕

南光台市民センターは、昭和 52 年 4 月、「南光台公民館」として開館し、昭和 62 年 8 月に泉図書館南光台分室が併設された。その後、平成 2 年 4 月に「南光台市民センター」と改称され、地域住民の交流の場・生涯学習の場として、その役割を担ってきた。

平成 23 年 3 月の東日本大震災により建物が使用不能となったため、平成 23 年 4 月より仮事務所で生涯学習事業を行っている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	★南光台地域防災力向上計画		
参加者	南光台中学校生徒・南光台地域町内会役員・地域住民	延参加者	127 人
開催日	全 1 回 9 月 27 日(水)		
協力者・協力団体	南光台中学校、泉消防署八乙女分署、南光台地区町内会・老人会・婦人会 他		
ねらい	高齢者の多い南光台地区において、地域の防災力として中学生が果たす役割は大きいことから、災害発生時の様々な想定をもとに、中学校と地域の関係団体が協力しながら、各方面で連携した体制を整えていく。		
概要・成果	今回は主にレスキュー学習(救急救命 AED 訓練、簡易トイレ組み立て、多目的テント設営、非常食づくり等)を行った。 中学生にとっては、地域の方たちと一緒に活動ができ、地域の一員としての自覚が生まれた。また災害に対する危機意識や共助の大切さが、中学生・地域住民それぞれの立場でさらに強く認識されるようになった。		

〔平成 25 年度 (地区館) 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
夏まつり子ども会大会	南光台校区子ども会育成会が中心に開催する夏祭りへ参画。市民センターで育成したボランティア、ジュニアリーダーとともに「昔遊び」のブースを担当しながら、子ども達の健全育成への寄与と関係諸団体との連携を強化した。	8 月 19 日	1	500
ジュニアリーダーと遊ぶ	一人遊びの多い昨今、ジュニアリーダーが楽しく遊べるゲームを通して地域の小学生に交流の機会を提供した。またジュニアリーダーの活動自体も活性化し、地域の絆作りに寄与できるよう支援した。	8 月 1、23 日 12 月 25 日	3	101
ワケルくんに学ぶ	子ども達がゴミ問題について学ぶことで、地域や家庭での環境問題意識を高める。仙台市のゴミ分別の取組について DVD を視聴したり、環境問題について講話を聞いた。	6 月 28 日 9 月 12 日	2	208
地域資源に学ぶ「台原森林公園の魅力を探る」	身近な台原森林公園で山野草を観察したり、講話を聞いて、環境保全の重要性を学ぶ機会とした。	5 月 15 日 5 月 22 日	2	43
南光台学院	高齢者が社会の変化に対応し、安心して暮らせるよう、生涯を通して学べる機会と仲間作りの場を提供し、学びを地域活性化に役立てることを目的とした。講話、実技、館外学習など。	4 月 19 日 ～2 月 21 日	11	638

南光台絆づくりコンサート企画委員会	コンサート運営に携わることで参加サークルの拡充と活性化を図り、交流と連携を地域の絆づくりへ繋げる。企画委員会開催。	7月20日 9月14日 10月5日 11月2日	4	58
★南光台絆づくりコンサート	誰でも気軽に集えるコンサートを開催し、震災の復興とサークル活動の活性化を図った。	10月19日	1	500
南光台市民センター懇談会	地域団体及び町内会との情報交換の機会を設けた。地域課題や地域ニーズを的確に把握し事業運営に反映させていく。	6月29日	1	30
社会学級連携企画会議	南光台地区の二つの社会学級と市民センターが連携し、地域課題について検討し講座を企画立案。	6月13日 7月11日 9月11日 12月19日	4	12
南光台小・南光台東小社会学級連携講座「アラ！うまいっちゃ万能ダレ！！」	仙台味噌を活用した調味料作りで、仙台固有の伝統的食文化を学び、地域食材の一般家庭の普及と次世代への伝承を目指した。万能だれ作成。	11月21日 12月5日	2	42
南光台スマイルひろば企画委員会	市民センターと協働で子育て中の親子向けの講座を企画検討しながら、よりよい地域社会の形成に寄与する人材育成を目指した。	6月26日	1	4
南光台アドバルーン定例会	ジュニアリーダーのスキルアップのための講習会や交流会を設け、地域の絆作りへ力を発揮できるよう支援。定例会開催。	4月16日 ～3月8日	10	21

黒松市民センター

〔沿革〕

黒松市民センターは、昭和 47 年 4 月に開館した八乙女公民館を前身とし、平成 4 年 10 月に現在地に新築移転され開館した。

当市民センターは、地域における生涯学習及びスポーツやサークル活動などの交流の場として活用されている。また、地下鉄黒松駅に隣接しており、交通の利便性が良いことから、利用者は広域にわたっている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★●防災プロジェクト 2013 ～その時わたし達にできること～		
参加者	中学生、地域住民	延参加者	900 人
開催日	全 1 回 12 月 7 日(土)		
協力者・協力団体	八乙女中学校、校区各町内会、泉区役所区民生活課、泉消防署		
ねらい	高齢化した地域の中で、災害発生時には貴重な力となる中学生が、災害時の「共助」を目指し、適切な対応や処置ができるよう、地域住民と一緒に防災体験学習を行う。		
概要・成果	中学生ができることを地域の中で実践できるよう、町内会、マンションなどの協力をもらって、中学校区内(1 中学校、2 小学校)の地域全体が一体となった訓練を実施した。前半は、中学生が自分の居住する各単位町内会の防災訓練に参加し、地域の防災対策についての講話を聴いたり、テント組立、救援物資配分、マンションでの安否確認などを実施した。後半は、中学校に登校し、消防署からの講話、及び学年毎の実技訓練(簡易トイレ組立、避難所体験、毛布によるけが人搬送訓練、車椅子使用訓練、AED、濃煙体験、アルファ米炊出し訓練、一部地域での模擬安否確認)を実施した。東日本大震災で中学生の活躍が見られたことで、この防災プロジェクトは地域の期待が益々高まっている。H25 年度は、地域が一体となった訓練が実施できたことで、中学生のみならず、地域住民の防災意識の向上につながり、地域防災への取り組みに大きく貢献することができた。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
黒松子育てステップバイステップ	黒松保育所と連携して子どもの健やかな育ちを支援することと、子ども同士のふれあいの機会を提供することを目的に、子育てに関する講話、調理実習、小物作り、交流会を実施。	6 月 5、12、19、 26 日	4	29
黒松わんぱく親子農園	黒松老人憩いの家の空き地を利用した野菜や花の栽培を通して、親子の共通の話題づくりと、地域の老人会との交流促進を目的に、野菜作りの基本学習、農園整備、野菜の栽培管理、収穫と調理（ピザ、ずんだ餅作り）を行った。	4 月 28 日 5 月 12 日 6 月 8 日 7 月 20 日 8 月 3 日	5	118
親子で Enjoy！ちびっこフェスティバル	近隣の児童館と市民センターが、お互いの協力関係を強め、地域の子育て支援をさらに充実させることを目的に、乳幼児親子が交流するためのイベント（遊び・工作・相談の各コーナー他）を開催した。	11 月 14 日	1	373
ママのリフレッシュタイム	親子のつながりを深め、心身ともにリフレッシュし、健やかな子育ての一助となる講座を実施。交流会、パン作り、軽体操、小物づくり、講演「親学」を行った。	10 月 11、25 日 11 月 15、27、 29 日	5	117

職場体験学習	中学生が勤労観・職業観を深め自分の将来について考える場を提供するとともに、地域が一体となって子どもを育む環境を作ることを目的に、中学校の職場体験活動の受け入れを行った。	10月22、23、24日 11月12、13、14、15日	2	12
黒松わくわくタイム	子どもたちが、学校では学べない様々な体験学習をする場の提供と、地域の素材を学ぶことで地域への愛着を育むことを目的に、自然観察、工作、昔遊び、伝統文化体験を行った。内容：科学実験、ジュニアリーダーと遊ぼう、地域の里山探検、料理講座、ニュースポーツ講座	7月26日 8月17日 10月6日 12月14日 2月8日	5	70
ジュニアリーダー定例会	青少年のボランティア活動であるジュニアリーダー活動の月1回の例会を行った。	4月20日 ～3月29日	15	86
シルバー世代の食事と介護	包括支援センターと社会福祉協議会と共催し、高齢者のための食事の提案と福祉情報の提供を目的に、調理実習及び講話と交流を行った。	10月10、24日 11月28日	3	23
国際交流で地域の輪	孤立している外国の転入者が増えている。地域の人にとって接し方や文化の違いを学びながら稚気の中で国際交流の一步を踏み出せるためのきっかけとした。	2月5日	1	20
黒松寿大学	高齢者が健康で心豊かに生活を送るための学習の機会を提供し、運営委員会による企画・運営を行うことで、高齢者の主体的かつ意欲的な学習を促進。内容は、コンサート、NIEワークショップ、館外学習など。	5月16日 ～2月20日	10	562
第3回黒松ポッチャ大会	高齢化の進む黒松地域において、関係する諸団体と共催し、地域の活力向上を目的に、高齢者が気軽に参加できるスポーツ大会を実施。	11月13日	1	25
社会学級共催事業検討会	八乙女中学校区の2つの社会学級とともに、地域の課題を共有し、地域のネットワークや生涯学習環境の整備・向上を図ることを目的に、共催事業の企画のための会議を行った。	5月29日 6月26日 7月13日 10月25日 11月19日 2月5日	6	22
●真美沢公園ネットワーク事業	真美沢公園に関する現状や課題を共有し、公園に関わっている様々な団体や住民を中心にネットワークの輪を広げ、公園を地域の寄り所にするを目的に、ワークショップでの話し合いと現地調査、報告会を行った。	8月17日 10月19日 11月16日 12月21日 1月18日 2月9、15日 3月15日	8	96
黒松市民センターまつり	地域住民や各種サークルの交流の場の提供を目的に、ステージ発表、作品展示、体験コーナー、子どものコーナー、防災展示、炊出し訓練などを行った。	9月28日	1	1500
黒松市民センター懇談会	地域課題の共有・解決のため、広く地域団体から意見を聴取し情報交換を行うとともに、市民センターの役割や事業への理解を深めてもらうことを目的に、学校や地域諸団体等と懇談会を行った。	5月8日 2月27日	2	44
読み聞かせボランティアフォローアップ講座	活動に必要な技能や知識を学ぶことでレベルアップを図り、継続的なボランティア活動を支援することを目的に、読み聞かせの仕方や選本について実技で学んだ。	4月26日 5月10、24日	3	48
地域の魅力を記録しよう	住んでいる町の魅力を取材し、センターだよりやブログへの発信やビデオを作成した。	5月28日 ～3月6日	12	97
市民企画会「黒松ママの企画会議室」	新しく転入してきた母親と地域の子育て中の母親達がつながりを持ち、自分達で見つけた課題を学習する場を提供することを目的に、事業企画のための会議を行った。	7月3日 ～12月27日	10	53

将監市民センター

〔沿革〕

将監市民センターは、昭和47年11月、将監団地の開発・発展を背景に地域住民の交流の場として開館した「将監会館」が始まりで、昭和53年4月、新たに地域生涯学習の拠点施設として名称を「将監公民館」に改め、昭和54年6月には研修室棟も竣工し施設の拡充が図られた。その後、仙台市との合併に伴い、平成元年4月から「将監公民館・将監市民センター」となり、翌年4月には「将監市民センター」と改称された。

平成3年度には、施設の大規模な改築が行われ、平成4年4月に再開し現在に至っている。当市民センターは、軽スポーツ活動が可能な多目的ホールを有し、多くの人々に利用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	みんななかよくグラウンドゴルフ大会		
参加者	どなたでも	延参加者	58人
開催日	全1回 9月7日(土)		
協力者・協力団体	共催 将監児童センター、将監児童館、将監西児童館		
ねらい	将監地域は、高齢者世帯と新興住宅地の若い世代が共存しているが、異世代間の交流の機会が少なく、交流することが難しい状況にある。そこで、地域の児童館や児童センターとの4館共催で、子どもから高齢者までが気軽に参加することができるグラウンドゴルフ大会を開催し、地域住民同士の交流の機会を設け、地域の活性化と世代間交流を図る。		
概要・成果	チーム編成を大人(主に高齢者)と子どもの混合とすることで、プレイ中同じチームの大人が小学生にアドバイスや励ましの言葉を掛ける場面が多く見られ、異世代間のコミュニケーションが活発に行われた。子ども達にとってはゲームを通じて、勝敗のくやしさと楽しさ、他の人のプレイ中静かに待つこと等を学ぶ絶好の機会となった。また、近隣の児童館・児童センターとの共催により職員同士の協力体制を深め情報共有の場として役立った。		

〔平成25年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
知って安心！健康で安全な生活	子育て世代の関心を喚起し、情報の取捨選択の不安を取り除くために専門家からの指導を受ける講座を開催した。子供へのワクチン接種に関する講話、バランスのよい献立作りによる健康講話・バレエストレッチを学ぶ講座を開催。	9月27日 11月8日 12月3日	3	35
ちょっとひと息カフェサロン	社会学級企画会議から出来た講座で、女性の身体や心の変化や病リスクについて学び家庭で出来るちょっとした気分転換の方法やコツを学んだ。具体的には、乳がんについての話を聞き、おいしいコーヒーの入れ方を学んだ。	12月5日	1	18
こどもチャレンジ講座	将監地域の小学生に体験学習の機会を与えることを目的に開催した。ニュースポーツ・地域探検・ジュニアリーダーと遊ぶ・ドーナツ作り・ヨーグルトを使ったデザート5回開催。	7月～12月	5	169
将監こども映画館	地域の子供に居場所を提供するとともに映画や絵本の読み聞かせ等に触れ合う機会を与え、豊かな感性を育む一助とした。将監市民センター・泉ヶ丘児童センター・将監中央コミュニティセンターをそれぞれ会場とし、出前講座にもなった。	8月23日 9月14日 12月26日	3	88

こどものまち	教育振興基本計画を受け、地域全体で子どもの健やかな育ちを支えあう学びの環境づくりに関わる事業。市民センター全館に子供たちによる仮想社会を作り、子ども達はボランティアの助けを借りながら就労体験をした。	11月30日	1	80
楽しく！きれいに！ボディメイク	若い世代が参加できるように託児付の講座で、健康を維持し子育てのストレスを解消するために、明るく楽しいラテンのリズムに合わせてステップを学んだ。20歳から65才までの幅広い受講があった。	11月22、29日 12月6日	3	92
将監寿大学	老壮大学。10回講座で、コンサート・映画鑑賞・歴史講話・木の実を使った工作・軽体操等を開催した。運営委員会による講座運営もスムーズで、運営委員による講座の企画もあった。	5月～2月	10	577
泉ヶ丘小学校連携「夏の講座」	センターと距離がある泉ヶ丘地域の住民を対象に、泉ヶ丘小学校と連携し夏休みの子どもの居場所の提供とさまざまな講座を開催することで地域交流の機会とした。絵画・ゲートボール・ダンス・編み物・ちぎり絵・将棋・書道・折り紙・パソコン・空手等。	7月23日 ～31日	10	97
ぶらり将監～みんなで歩こう～	将監地域を含む七北田の緑地計画を行政の出前講座で学び、地域の将監沼を散策した。将監沼の歴史や自生している植物などを観察し、環境整備の大切さと保存の現状を知った。	10月11、18日	2	18
将監ふれあいコンサート	「将監沼の自然」とふれあいを育む会を共催で地域交流の機会と場の提供をかねたコンサートを実施した。打楽器アンサンブル・混声コーラス・吹奏楽・フルート演奏など多彩な出演者で参加者も300人を越えた。	11月10日	1	300
★将監東中学校連携「災害に備えて」	将監東中学校、泉区社会福祉協議会と連携し「ゲームで学ぶ防災」を開催した。ゲームを通じて、それぞれの災害時の判断等について、意見交換を行い、考察した。	12月14日	1	56
みんなの居場所を作ろう	住民参画問題解決型学習推進事業として泉区中央と連携し、6回の企画会議と3回の居場所カフェを開催した。10回目は来年度につなげるために地域共生に関する講話を聴いた。	4月～2月	10	444
将監市民センターまつり	2日間のまつりで、1日目を「元気っ広場」と名づけた子どもまつりと作品展示、2日目は舞台発表と作品展示で地域交流の場となった。	10月5、6日	2	1800
★将監地域懇談会	市民センターを利用しているサークルを中心にアンケートを実施し、その結果を元に懇談会を開催した。情報交換により問題点等に関する相互理解が図れた。	9月19日	1	30
将監沼育林ボランティア養成講座	複数年事業の1年目として将監地域の資源である「将監沼」を整備する人材を育成するとともに、次世代へ引き継ぐための講座をした。既存の団体の活動状況や整備計画を学び、下草刈等を実践した。	5月19日 6月16日 9月29日 11月17日	4	15
市民企画講座「自分達で考える！安心安全な生活」	公募により3人の企画委員が集まった。安心して子育てが出来る環境について話し合い、出来ること必要なこと知りたいこと等、意欲的な話し合いが出来た。	6月14、21、28日 9月27日 11月8日 12月3日	6	15
社会学級共催講座企画会議	将監地域の3つの小学校区の社会学級生を企画委員をし、地域のニーズに合わせた事業を実施するために会議を開催した。	6月20日 8月27日 11月26日 12月5日	4	36
気軽にサークル体験	サークル支援と学習の機会を模索している人をマッチングさせ、新しいセンター利用者を得るためにサークル体験会を開催した。体験者は25人だったが、その8割に当たる方が入会した。	2月19日 ～25日	5	25

加茂市民センター

〔沿革〕

加茂市民センターは、昭和 58 年 4 月、加茂公民館として開館した後、仙台市と泉市の合併や公民館と市民センターの併設を経て、平成 2 年に現施設名に改称された。平成 10 年には併設されていた加茂体育館が編入され、現在に至っている。開館当時は長命ヶ丘・泉中山の区域まで対象としていたが、平成 5 年 4 月の長命ヶ丘市民センター開館に伴い、現在は加茂・虹の丘・上谷刈・みずほ台を対象としている。

当市民センター周辺地区は、賀茂神社や古内志摩の墓、中世の館跡である長命館公園などが点在しているほか、七北田川や丸田沢堤・三共堤がある水の森公園などの自然環境にも恵まれている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	家族の絆プロジェクト 家族で防災「いざ！学ぼう」		
参加者	小学生とその保護者	延参加者	44 人
開催日	全 4 回 6 月 15 日(土)、6 月 29 日(土)、7 月 20 日(土)、8 月 3 日(土)		
ねらい	災害は必ずしも家族が一緒にいるとは限らないため、災害時に一人ひとりがどのように身の安全を守り、どのように行動したら良いかを考え学び、災害への対応力向上を図ると共に、家族で学ぶことで、家族の絆をより深める。		
概要・成果	防災についての講話やサバ飯づくり体験、また地域の防災協議会の協力を得て、実際に歩いて地域の危険箇所を確認し、家庭における防災ルールを考えたり、今後の災害に備えて再度家庭での話し合いを行う等のきっかけづくりとなった。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
かも子育てひろば	親子について専門の講師を交えながらのお話し、またお弁当づくりをしたり外国人の講師と楽しく英語で歌やゲームを行った。	6 月 6、13、27 日 7 月 4 日	4	71
市民企画講座「子育てママのハンドメイドライフ」	市民企画講座として企画、運営、実施。子育て世代のお母さん方を対象に、スクラップブッキングとパン作りを行った。	9 月 25 日 10 月 2 日 11 月 19 日	3	37
わくわくキッズクラブ	様々な体験学習を通し、子どもたちの気づきや学びにつなげた。調理、木工遊び、ホバークラフト作り、フェイクスイーツ、コマ、JL と遊ぶ	7 月 23、31 日 10 月 14 日 12 月 14 日 1 月 7 日 2 月 15 日	6	142
ジュニアリーダー活動（定例会）	ジュニアリーダー活動の充実を図るため、研修やスキルアップを行った。 地域からの要請への対応や情報交換も行った。	4 月 20 日 ～3 月 15 日	12	107
歴史講座（地域の歴史探究）	古内志摩義如をテーマに座学 2 回と史跡めぐり 1 回、仙台藩刑場跡と肩掛山、真美沢公園石碑群の史跡を巡りを行った。	5 月 22、29 日 6 月 12、19、27 日	5	129
ワイワイ若がえり塾	脳の働き、文化財展示見学、リズム体操、七北田の歴史、加茂地域を歩く、健康料理、マジックショー、マンドリンの演奏、お笑い	5 月 16 日 6 月 20 日 7 月 18 日 9 月 19 日 10 月 17 日 11 月 21 日 12 月 19 日 1 月 16 日 2 月 20 日	9	321

一緒に学んで輝いて「素敵な歳の重ね方」	高齢者と若い世代の交流を目的に、おしゃれ講話、ウォーキング、ハンドマッサージの実技、健康講話と茶話会を実施。	6月26日 7月24日 8月28日 9月25日 10月23日	5	80
加茂中学校区青少年健全育成推進協議会共催事業	中学一年生と地域の方達を対象に「ゲームで学ぶ防災」の実施と、子ども守ろうデーの実施。	11月20日 12月13日	2	264
加茂市民センター出前講座	虹の丘・上谷刈・みずほ台地域でコンサート・マジック・ものづくり・ベビーとママのアフターサービスを開催した。	10月29日 11月21日 1月13、18日	4	146
●震災になった時に	6月23日加茂体育館にて心肺蘇生法を学ぶ 10月19日加茂小学校校庭にてグララ体験・発煙筒の訓練を行った。	6月23日 10月19日	2	363
加茂市民センターまつり	子どもの広場、サークル団体のステージ発表、作品展示、歴史講座の成果展示発表、イベントを実施。	10月26日 10月27日	2	839
長命館公園 かたくりコンサート	誰もが気軽に集い交流できるように、コンサートを開催した。	9月14日	1	46
地域懇談会	加茂地域、虹の丘小学校区地域の各種団体と活動報告などでの情報交換を行い、地域の課題の把握、相互理解を得ることが出来た。	1月11、23日	2	34
支えあいの福祉	地域の福祉について学び、地域のリーダーとなって活動を進めていく人材の育成に繋げた。	7月25日 ～3月7日	10	29
市民企画会議「地域再発見」	今まではほとんど市民センターを利用したことが無い方々が市民企画委員となり、話し合いを進め講座を企画した。	6月21日 7月10日 8月27日 9月6日 11月19日	5	23

高森市民センター

〔沿革〕

高森市民センターは、地域住民の生涯学習活動の中心的施設として、平成元年 4 月「高森公民館」として開館した。その後、機構改革に伴い「高森市民センター」と改称された。

高森地区は、昭和 48 年以降、民間企業によって開発された地域で、閑静な住宅地のほか、高森東公園や高森西公園などに豊富な緑地が残され、自然と調和した美しい街区が特徴的な地域である。

地域では町内会や地域ボランティア団体を中心に、「新しいふるさとづくり」を目指して四季を通じたイベント等を行い、地域活性化の推進に取り組んでいる。その中で、当市民センターは、地域への愛着心を育む交流の場として、多くの地域住民に利用されている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	新しいふるさとづくり事業（地域の絆づくり推進事業）		
参加者	一般	延参加者	3183 人
開催日	全 23 回 4 月 1 日・22 日、5 月 8 日、6 月 2 日・5 日・13 日・26 日、7 月 17 日・22 日、8 月 16 日、9 月 12 日・14 日、10 月 17 日・27 日、11 月 20 日・23 日・30 日(2 回)、1 月 16 日・17 日・21 日・24 日、2 月 14 日		
協力者・協力団体	高森中学校、高森小学校、高森東小学校、高森東ふるさとづくりの会、仙台風の会、高森児童センター、高森東児童センター、日本野鳥の会宮城支部、サーラ保育園 等		
ねらい	泉パークタウンが形成されて 40 年が経過し、定住地を泉パークタウンに定めた住民を中心に地域コミュニティが形成されている。そのような中、3・11 の東日本大震災を契機に地域の絆と活性化を求める機運が高まった。この機会をとらえ、高森東公園を核として、ボランティア団体や、地域の諸団体と連携しながらイベントの実施を通して地域で活動する人材の育成につなげる。		
概要・成果	地域交流、世代間交流を図る事業（鯉のぼり吹き流し、野外ミニコンサート、花植え、野鳥観察会、巣箱づくり、灯籠流し、地域交流会、感謝祭、凧上げ等）を行うことを通して、地域で活動する人材の育成につながった。多数の参加が得られ、事業は地域イベントとして定着しつつある。地域の諸団体と共催、連携により多くの団体の賛同が得られ、団体間の連携強化にもつながった。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
私のチャレンジタイム	普段なかなかできない様々なことにチャレンジすることにより身体・気持ち・視点のリフレッシュにつなげた。また、子育て中の方の社会参加の機会を提供すると共に地域の方との交流を図る。料理・体操・ラッピングを実施。	9 月 5、12、19 日	3	32
たかもりキッズクラブ	地域で暮らす小学生に地域の文化や伝統を伝えたり、地域で活躍するジュニアリーダーの活動を紹介することにより、地域にある様々な資源や文化を認識してもらい、次世代へ繋げ引き継いでいけるように世代間交流を図った。	7 月 20、31 日 (午前・午後) 1 月 11 日 2 月 2 日	5	98
インリーダー研修会子ども会交流会	インリーダーとはなにか、リーダーとしての心構えなどを学んだ。参加者同士の交流。	12 月 7 日	1	69
地域安全マップを作ろう！	小学生が子どもの目線で地域内の犯罪が起こる危険性の高い場所を探して歩き地図を作成した。学校公開日で発表した。	5 月 30 日 6 月 6、15、20 日 7 月 6 日	5	199

★高森地域防災講座	講師から地震や津波のメカニズムを教わり防災・減災について学ぶ。グループに分かれてクロスロードゲームを行った。	11月21、27日	2	84
高森流星サークル育成支援	高森流星サークルに所属するジュニアリーダーの育成と、地域の子ども会等での活動や定例会の開催などを支援した。	4月～3月	12	93
クリスマス・お正月料理に挑戦！！	バランスの取れたメニューを実際に調理し、家でも出来るおしゃれな盛付を学んだ。栄養の講話。	2月15日	1	13
自分づくり教育「職場体験」講座	施設概要の説明、サークル体験講座、事業企画の演習、窓口業務、新システム練習、接遇	8月20日 ～8月23日	1	20
高森塾	高齢化社会に適応した学習活動を推進し、地域の実情やニーズに応じた学習内容を提供した。受講生同士の親睦を深め健康で生きがいのある生活を目指す。講話、施設見学等。	5月～2月	9	367
シニアの健康プロジェクト	高齢化率が高くなりつつある現状を踏まえて、シニア世代がこれから健康管理のあり方について学ぶ機会を提供した。	5月～6月	4	75
高森市民企画会議を経て企画する講座	中学生が企画・運営の中心となり、子供から高齢者までどの年代の方でも参加できて気軽に楽しめるスポーツ「グラウンドゴルフ」の大会を開催した。	11月4日	1	64
高森福祉地域交流大会企画会議	高森東社会福祉協議会に所属しているボランティアもくれんと連携して高森福祉地域交流大会を企画、運営した。	6月～11月	4	8
高森市民センターまつり	生涯学習の発表の場として、また地域住民の交流の場として開催した。開会式・オープニングセレモニー・展示・ステージ・こどものひろば・ダンスパーティーなど	9月28、29日	2	5500
★高森絆コンサート	地域の方々が気軽に集って音楽等を楽しめるコンサート。今年度はジャズバンドと講座から立ち上がったコーラスグループが出演した。	12月14日	1	215
高森地域懇談会	地域課題の情報交換、連携事業の在り方について、教育関係の情報交換等	11月12、22日 2月15日	3	30
高森福祉地域交流大会	各町内会で行われている高齢者サロンの高森東地区全体の位置付けとして年1回高森福祉地域交流大会を実施した。どの年代にも受け入れやすい内容を企画し、大会を通して心豊かな時間を提供し、地域住民の交流と健康増進につなげた。	10月26日	1	149
畑の先生養成講座高森ミニ農園	土作り・野菜の栽培・収穫・野菜くずの堆肥化と一連の流れを実践する有機栽培の野菜作りのスキルを身につける。そのスキルを活かし、高森地域の小学校・児童センター等で“畑の先生”としてボランティア活動を行った。	4月～11月	15	400
高森中学生企画会議	地域の中学生に地域の課題について自ら考え、それに取組む講座を企画・運営する機会を提供した。意見交換・内容検討・反省会	8月22、23日 10月25日	3	15

松陵市民センター

〔沿革〕

松陵市民センターは、平成 2 年、泉区の北東に位置する松陵ニュータウンの住宅地に開館した。松陵・永和台・歩坂町・山の寺・向陽台・明石南の 6 つの町をエリアとし、県民の森をはじめ、豊かな自然と緑に恵まれた地域に立地している。子どもの減少により、平成 25 年度から 2 つの小学校が統合されるなど少子高齢化が進んでいる地域であるが、当市民センターは地域における生涯学習の拠点として市民に親しまれる事業を展開し、地域コミュニティづくり、交流の場として地域住民に広く活用されている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	第 22 回松陵ふれあいコンサート		
参加者	地域住民	延参加者	450 人
開催日	10 月 20 日(日)		
協力者・協力団体	松陵中学校区地域ぐるみ青少年健全育成推進協議会、松陵中学校、泉松陵小学校、向陽台中学校、向陽台小学校、泉松陵高校、東北学院榴ヶ岡高校、宮城学院高校、向陽台中学校吹奏楽部親の会、向陽台小学校ひまわり吹奏楽団保護者会、泉地区交通安全協会泉支部松陵分会		
ねらい	地域に根ざしたコンサートとして定着した事業となっている。地域の小学生から社会人までが吹奏楽の合同演奏会を行い、異世代間交流と地域の活性化を図る。		
概要・成果	地域の小中学校・団体による運営委員会と、出演団体・出演校による実行委員会、事務局としての市民センター 3 者が協力し、地域に根ざしたコンサートを開催し、今年で 22 回を迎えた。コンサートは 3 部構成で、第 1 部(高校生から社会人までの小合同演奏)、第 2 部(小学生から高齢者までによる合唱)第 3 部(小学生から社会人までの大合同演奏)の内容。この講座をきっかけに出演団体が小学生に合唱や吹奏楽の指導に出向くなど、地域の子供達への音楽教育にも貢献している。異世代間交流も活発に図られ、地域活性化へと繋がっている。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
市民企画講座「ママのハッピープラン～みんなで楽しく子育てを～」	個別募集で 1 回目ハッピーママカフェ、2 回目フラダンス 3 回目調理実習と栄養講話	8 月 27 日 10 月 1 日 11 月 26 日	3	30
子どもゼミナール' 13	「松陵っ子土っと来い」関係団体の地域の講師による体験学習。1 回目料理、2 回目クリスマスリースづくり、3 回目工作	7 月 6 日 12 月 7 日 2 月 1 日	3	56
職場体験学習	職業人の心構えを学び、市民センター事業の体験を通して、仕事の大変さや接遇、人間関係の大切さなどを学んだ。	11 月 12、13、 14、15 日	1	8
松陵っ子土っと来いまつり	「土っと来い連絡協議会」の各団体が遊びのコーナーを作り、子ども達はスタンプラリーを行った。	11 月 9 日	1	300
わくわく元気広場	向陽台児童館と松陵児童センターとの共催で出前講座として実施した。1 回日向陽台児童館で中学生ボランティアも参加した鏡のふしぎなお話と万華鏡作り、2 回目松陵児童センターで人形劇の鑑賞	7 月 25、26 日	2	94

出前講座「リンパケア講座」	健康講座「リンパケア講座」を山の寺連合町内会、山の寺地区社協と連携で実施した。 会場：山の寺集会所	1月31日	1	62
「春から初夏の県民の森」観察会	地域資源である「県民の森」を散策して東日本大震災前後の自然の変化や環境保護について学んだ。植物のマップを作成した。	4月27日 5月14日 6月11日	3	45
いきいき楽々講座	最先端医療や震災史、経済の講話、ボッチャ大会、コンサート、マジックショー、バルーンアート体験、館外学習など多様なジャンルの講座を実施した。交流会も行った。	5月10日 ～2月14日	9	403
第22回松陵ふれあいコンサート合同練習	松陵ふれあいコンサート出演に向けての吹奏楽練習	8月18日 10月6、14、19日	4	700
「オリエンテーリングとデイキャンプ」	地域4団体との共催により小学生の親子や地域の方が楽しく参加できる事業を行った。旧松陵小校庭でのデイキャンプと県民の森でのオリエンテーリング。地域の方と高校生もスタッフとして加わった。	10月5日	1	58
松陵ふれあい合唱	松陵ふれあいコンサート出演に向けての合唱練習	9月14、21、28日 10月5、12、19日	6	167
●「地域の災害時対策について」	先進地の防災活動及び松陵地域の地盤と地質についての講話	8月31日	1	52
第24回松陵市民センターまつり	市民センター利用サークル、町内会、地域団体による展示、舞台発表、出店、被災地支援等	11月10日	1	1300
地域懇話会	市民センターで開催している事業や役割について説明を行い、情報交換するとともに課題を共有した。	5月28日	1	18
JL定例会（みちのく松陵・向陽台ばびふぺパレット）	毎月第3日曜日15:00～17:00に定例会を実施し、要請の確認、ゲームやバルーンアートの練習等ジュニアリーダーのスキルアップを図った。	4月21日 ～3月16日	14	100
おもちゃドクターボランティア養成講座	おもちゃドクターとしての心構えとおもちゃ修理の基礎知識と実践	5月8日 ～3月12日	14	51
出前市民企画会「子育てママの企画会」	子育て中の母親が情報交換しながら講座を企画運営を行った。	5月28日 ～12月12日	10	46

寺岡市民センター

〔沿革〕

寺岡市民センターは、泉区北西部の大規模団地「泉パークタウン」の西部に位置し、緑豊かな自然が残る寺岡・紫山地区を受け持っている。

寺岡地区は、昭和 50 年代後半から急速に発展し、団地としては成熟しており、高齢化も進んでいる。一方、新しく造成された紫山地区は、若い世代を中心に住民も年々増加しており、寺岡地区とは対照的な年齢構成になっている。団地周辺には宮城県図書館をはじめ、宮城大学や仙台白百合学園などの文教施設があるほか、平成 20 年には大型商業施設がオープンし、週末や休日には遠方からも人々が集まり賑わっている。また、紫山地域の開発が更に進み住宅地が広がっていることから、今後もますます発展と活性化が期待される地域である。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	★寺岡・紫山地域防災ネットワーク推進委員会		
参加者	寺岡・紫山地域住民	延参加者	597 人
開催日	全 6 回 8 月 22 日(木)、9 月 13 日(金)、10 月 25 日(金)、11 月 16 日(土)・30 日(土)、12 月 26 日(木)		
協力者・協力団体	寺岡小学校、寺岡中学校、寺岡地区社会福祉協議会、泉パークタウン防犯協会、寺岡連合町内会、紫山連合町内会、寺岡児童センター、寺岡小学校区子ども会育成会、寺岡流星サークル、寺岡おやじの会、折り紙フレッシュタイム、寺岡おもちゃ病院、泉消防署、泉区区民生活課、泉西郵便局		
ねらい	会議や「防災・減災」をテーマにした地域交流イベントに参加することを通して、地域で災害に備える意識の向上を図る。同時に子ども達に地域の一員として地域に関わり活躍する場を提供することで、地域交流・世代間の交流を図り、地域コミュニティの活性化への一助とする。		
概要・成果	地域の防災情報を共有する場として会議、第 2 回伊達な防災イベント(講演会・ふれあいコンサート・防災ポスターコンクール・被災食試食コーナー・防災用品展示等)を開催。地域の大人や子ども達が共に企画し運営したことで、子ども参画の実践の場となり、地域ぐるみで防災に対する「自助・共助・公助」精神を啓発し共有することができた。		

〔平成 25 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●親子の広場	育児世代の保護者とその子どもが共に楽しむ場を提供することで充実した子育て時期を過ごせるよう支援した。体操、講話、コンサート、運動遊び	6 月 13 日 7 月 9 日 9 月 19 日 11 月 21 日	4	149
野菜の魅力を学ぼう	野菜の良さを知り家庭の食生活の大切さを考える機会を提供した。講話、試食	11 月 27 日	1	46
「寺岡子ども体験塾」	子ども達の創造力や生活力等の向上を図るとともに、市民センターを身近に感じてもらうことを目指した。そば打ち体験、科学実験、料理、手芸、科学館見学	6 月 29 日 7 月 25 日 11 月 9 日 2 月 1、8 日	5	112
中学校職場体験	学校と地域が一体となって子どもたちの健全育成を図り、働くことの意義や職業観を育む一助とした。施設管理業務体験、企画作成等	10 月 22、23、 24、25 日 11 月 6 日	2	24
ジュニアリーダー育成支援「定例会等」	要請に対しての指導、資質向上のための研修などを行いジュニアリーダーの育成を図った。活動支援、勉強会等	4 月 14 日 ～3 月 25 日	13	104

ジュニアリーダーと遊ぶ	ジュニアリーダーの技術向上・活用を提供し、次世代のジュニアリーダー育成のための素地づくりを目指した。市民センターまつりにて「遊びのコーナー」運営、ゲームや工作等	10月20日 3月2日	2	49
寺岡小学校区 インリーダー研修会	子ども会育成会と市民センターが共催しながら、子ども会活動の充実やリーダーとして活動できる児童の育成を目指した。世話人の役割、レクリエーションゲームの進め方等を学んだ。	8月25日	1	78
地域で守る安全 子ども110番の家にいってみよう	寺岡小学校の新1年生を対象に子ども110番の家と子どもたちをつなげ、地域全体で健やかな子どもの成長を支えた。防犯講話、「子ども110番の家」訪問・顔合わせ	5月30日	1	116
多聞塾	地域の高齢者を対象に生涯学習の機会を提供し、受講生同士の交流と生きがい作りの場を提供した。体操、文章講座、園芸、ミニコンサート、歴史、交流会	5月9日 ～3月6日	11	378
●学び直し講座「シニアライフ講座」	中高年齢層の市民が、時代に応じた新しい課題について学び、それによって地域づくりに関わられるよう働きかけた。そば打ち、施設見学、版画	5月16、23、30日 9月4日 10月30日 11月6、13日	7	140
寺岡・紫山地域懇談会	市民センター事業への理解を深めるために地域課題を抽出し、市民センターの事業運営に反映させた。情報交換、要望、意見等の聞き取り	9月22日 1月12日	2	35
いざという時に備えて	いざというときに備え、救急救命講習を学ぶ機会を提供し地域住民が緊急時に対応できるようにした。救命救急の実技、AEDを研修	11月15日	1	26
寺岡市民センターまつり	地域で活動するサークルに発表の場を提供し地域住民の交流を深め文化の向上を図った。ステージ発表、展示発表、イベントコーナー	10月19、20日	2	1150
寺岡コンサート	だれもが気軽に集えるコンサートを通じて地域住民の交流を図った。吹奏楽の鑑賞	11月30日	1	186
市民センターの講座を企画しよう	地域の豊富な人材の掘り起こしと地域ニーズや地域課題を話し合い、課題解決のための講座を企画した。	6月6日 7月2日 9月11日 11月27日	4	21
ボランティア養成講座「寺岡おもちゃ病院」	技術や運営方法等を学ぶことで、受講生自らが生涯学習を実践しながら、地域貢献に繋がるよう働きかけた。修理技術の習得	5月11、18、25日 6月1、9、15、22日	7	148
サークル体験をしませんか	サークルに対して活動の活性化を支援すると同時に、市民に対しサークル選択の機会を与え、主体的な学習活動を始めるきっかけづくりとする見学・体験	2月6日～28日	10	163

長命ヶ丘市民センター

〔 沿 革 〕

長命ヶ丘市民センターは、平成 5 年 4 月に泉区 10 番目の市民センターとして開館した。その周囲は昭和 50 年以降に造成された長命ヶ丘団地で形成されている。利用者の約 65%が長命ヶ丘地区、25%が近隣地区、残り 10%が他地区の利用者となっており、地域に密着した市民センターといえる。地域利用団体の 30 サークルをはじめ、常時 80 以上のサークルが活動しており、平成 25 年度は 47000 名を超える利用者があった。

当市民センターは、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の支持を得ながら、サークル活動はもとより、地域の生涯学習活動の拠点として定着しており、その役割と機能は重要性を増している。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画講座「本と仲良し！長命ワンダーブックランド」		
参加者	地域住民	延参加者	245 人
開催日	全 2 回 11 月 22 日(土)、23 日(日)		
協力者・協力団体	仙台市泉図書館長命ヶ丘分室、長命ワンダーブックランド実行委員会		
ねらい	子どもが成長していく過程で有効な読書活動の習慣化を図るために、大人も含めた地域住民を対象とした図書まつりを開催し、楽しみながら本と出会う場・読書に親しむきっかけの場を提供し、地域全体で子どもの読書活動を支えていく機運を高める。		
概要・成果	市民企画員の意見を取り入れ、さまざまなイベントを実施した。ブックトーク、ブックカフェ、DVD シアター、本の情報コーナー、本譲りますコーナー等を実施。イベントを楽しみながら、自然に本や読書への関心を高めることができた。また、読書を通じて子どもたちの豊かな感性や想像力を育むきっかけにつなげることができた。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
子育て講座	児童センター・子育て支援センターと協働で子育て支援事業を実施し、子育て中の親子が絆を深め互いに育ち合う場を提供すると共に、孤立しがちな親に仲間づくりと交流の場を提供した。3B 体操、子育て講話、大運動会、マカロニリース作り、人形劇とてあそび鑑賞。	6 月 13 日 9 月 5 日 10 月 10 日 11 月 28 日 2 月 27 日	5	292
フレンドスクール	地域にある高校や「長命ヶ丘マイスクール」を活用し、放課後及び長期休業時の小学生の居場所づくりを行った。また異年齢や世代間の交流を図りながら子どもの育ちを支えた。高校生から科学実験やおやつ作りを、地域人材から木の枝工作や書き初めを学び、手品を体験した。	7 月 24、27 日 10 月 23 日 11 月 20 日 12 月 25 日 2 月 19 日	6	58
★中学生の地域の絆づくり～「You&I ネット愛の鐘」活動～	地域貢献委員会の中学生を中心に、長命ヶ丘夏まつりでの模擬店運営と、地域のボランティア養成講座（ゲームで学ぶ防災）参加を通して、中学生が主体的に地域の幅広い世代の人々と交流した。	8 月 3 日 12 月 7 日	2	42

地域のシンボル『愛の鐘』に飾るクリスマスリース	藁の活用方法や縄を綯う等の技法を学び、地域のシンボル愛の鐘に飾るクリスマスリースを作成した。	11月23日	1	38
探訪「とどヶ沢溜池と長命ヶ丘緑地原生林」	長命ヶ丘団地の北部にあるとどヶ沢溜池群を歴史と自然、2つの視点で散策し、これまで地域の人々にもあまり知られていなかった地域資源とその魅力を探訪した。	11月8日 1月19日	2	13
●長命お達者くらぶ	市の関係機関や地域の団体と連携して介護予防の知識や技術を学ぶ機会を提供し、高齢者が心身ともに自立した健康寿命の延伸を図る。介護予防理解のための講話、低栄養予防の調理実習、転倒予防等の運動、心身の健康と機能維持のための音楽交流を実施。	9月6、20日 10月11、25日 11月8日	5	52
長命大学	地域の高齢者を対象に健康、歴史、音楽、海外、防犯、施設見学、交流会などさまざまなテーマの講話や実技で学習機会を提供した。	5月16日 ～2月20日	10	580
長命コンサート	地域の交流・拠点機能である市民センターにおいて、住民が気軽に集い、楽しく交流できる場として、ジャズのコンサートを実施した。	7月13日	1	100
若い世代がリードする地域の絆づくり事業の企画検討会	中学生が主体的に地域の人や社会にかかわることによって地域の絆づくりにつながる具体的な活動を検討した。夏まつりでの出店内容については、中学生が地域行事を支える立場となって検討を進めた。	6月11、25日 7月9日 8月3日 12月7日 3月25日	6	96
ロングライフヒルコミュニティ協議会との企画検討会	地域団体ロングライフヒルコミュニティ協議会とともに、子ども達同士の交流や健やかな成長を目的としたイベントを企画し、運営を行った。	4月13日 6月8日 7月13日 9月21日 11月23日	5	100
長命ヶ丘市民センターまつり	市民センターを中心に活動している団体の学習成果の発表機会と、地域の各種団体や学校も加わった交流の場を提供。	10月19、20日	2	2600
長命ヶ丘市民センター地域懇談会	子どもたちの健全育成に関係している地域団体との意見交換をした。市民センターの役割や各団体の実情について相互に理解が深まり、地域課題を共有した。	10月11日	1	9
長命ヶ丘高齢者支えあいネットワーク研修会	地域で高齢者を支える団体が一堂に集まり、情報交換や活動内容を紹介し合う場を設け、さらに、要望の多かったレクリエーションの研修を実施した。	10月30日 11月27日 2月26日	3	78
市民企画会「本を楽しむイベントを企画・運営しよう」	子どもたちがそれぞれの成長に応じて楽しみながら読書に親しみ、考え、表現する力を育む読書環境をつくる一助とするため、子どもと本との出会いの場、子どもが読書に親しむきっかけの場となる講座を企画した。	6月25日 ～12月17日	10	50
サークル体験講座	10日間にわたって、48サークルが、新しい会員の募集を兼ねた体験会を開催した。また、高齢者に活動のきっかけの場を提供するため、地域の老人クラブもサークルの体験会を開催した。	5月9日 ～5月19日	10	94

松森市民センター

〔沿革〕

松森市民センターは平成12年1月、鶴が丘中学校区施設として、泉かむり訪問看護ステーション、コミュニティ防災センターと併設し、泉区内11番目の市民センターとして開館した。

当市民センターの北側は、戦国時代の武将である国分氏が居を構えた松森城跡を仰ぐ。北東には鶴が丘団地、東西に細長く松森地区があり、周辺は近年大型店舗の進出や幹線道路の整備が進み人口増加の傾向にある。一方南側は、一面広大な田園地帯となっており、七北田川・仙台バイパスまで眺望が広がり、自然環境にも恵まれている。

施設の特徴としては、市民が気軽に利用できる親子室・娯楽室・図書室・市民活動室や広々としたラウンジがある。地域のニーズに応える生涯学習の拠点施設として、相互交流の輪を持てる多様な事業を行っている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	鶴松キッズサイエンスフェスタ		
参加者	小学生	延参加者	38人
開催日	全1回 8月2日(金)		
協力者・協力団体	宮城県泉松陵高等学校科学部、東北鉄道模型倶楽部、おもちゃ病院チャチャチャ、東北工業大学T.EM(工学部学生有志)、仙台市環境局環境都市推進課(せんだいE-Action2013)、仙台白百合女子大学、松森図書室ボランティア、スマイルキッチン、(有)さんま宅配泉中央宅配センター、フォンテーヌ		
ねらい	小学生の理科離れと言われている昨今、夏休み期間の子ども達の体験事業として、地域管内の泉松陵高等学校科学部を中心に地域諸団体や科学サークルの協力のもと、異世代交流を図りながら、学校ではできないモノ作りや科学の不思議さを体験し、科学に親しむ機会とする。		
概要・成果	全館を使用し、科学をテーマにした様々なブースを開設。サークル団体と地域管内高校科学部、仙台市環境局、東北工業大学、さらには仙台白百合女子大学の学生ボランティアが運営として参加したことにより異世代交流が図られ、学校ではできないモノ作りや科学の不思議さを体験することができた。また、図書ボランティアによる古本市、地域ボランティアによる昼食の調理提供があり、ボランティア活動の場を広げる機会となった。		

〔平成25年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
鶴が丘児童センター共催事業「子育てママのシンデレラタイム」13	ポーセラーツと骨盤体操ストレッチという2コマで心身のリフレッシュと母親同士の交流を図った。またさらに託児付ということで講座に集中でき、子どもたちも母親から離れ子どもたち同士で遊びながら交流をもつことができた。	11月7、21日	2	20
ジュニアチャレンジ	全3回講座として開催。夏休み期間中にクリニカルアート編「新聞紙と和紙でカボチャを作ってみよう！」陶芸編「オリジナルデザインの陶芸を作ってみよう」を行った。冬休み中に料理編「クリスマス飾りのカップケーキ作りに挑戦」を行った。	7月24、26日 12月21日	3	43
中学生職場体験	1日目は事業企画書作成、図書ボランティア活動参加。2日目は事業講座の参加、サークル活動参加、窓口予約受付。3日目は施設点検管理、職場体験まとめ。体験後の報告書などから、充実した3日間だったことが感じ取れ、仕事の苦労や楽しさなど、多くのことを学んだようである。	8月2、22、23日	1	3

田んぼのがっこう	松森小学校の総合学習の柱である稲作体験を、年間を通して支援し、子ども達の活動がスムーズに行われるようコーディネートしてきた。春の田植え講習、育苗センター見学、全校生徒による田植え、生育観察、稲刈り、PTAと連携での調理講座等を開催し、地域農家や明成高校調理科、ボランティアなど関係団体との連携を深めることが出来た。	5月8、14日 6月14日 7月17日 8月15日 10月9日 12月10日	7	636
松森小学校社会学級共催事業 新たな国民病「ロコモ」って？	松森小学校社会学級との共催事業。地域住民が心身ともに自立して健康に生活できる「健康寿命」をのばせるよう、ロコモティブシンドロームを理解し、早期に対策する方法を学んだ。最近話題のテーマを取り上げ、講話や実技も楽しく分かりやすかった為、参加者たちも興味深く熱心に受講することができた。	9月18日	1	26
鶴が丘小学校社会学級共催事業 メタボな身体を見直そう！	鶴が丘社会学級との共催事業、メタボリックシンドロームという興味深いテーマを取り上げ、誤ったダイエットの落とし穴や危険性を学ぶとともに、自らの生活習慣を見直す機会となった。参加者全員の骨密度や代謝を計測し、現在の自分の体の状態をすることができ、意識向上が図れた。	11月8日	1	17
●城前大学	全9回実施。講座の準備、後片付けなど班単位で活動する場を多く設定した。そのことで、班長を中心とした受講生同士の交流がより深まった。自主学習の館外学習では、企画から実施に至るまで積極的に関わり活動し、受講生の興味関心に対応した内容となった。	4月18日 5月16日 6月20日 7月18日 8月22日 9月19日 11月17日 1月16日 2月20日	9	540
★松森あったかコンサート	全3回開催、第一回目はフィルハーモニアウィンドオーケストラによる吹奏楽のコンサート、第二回目はピアニスト伊東陽氏によるピアノコンサート、第三回目は「荒川知子とファミリーアンサンブルによるコンサート」を行った。また、回を増すごとに参加者の地域が広がっている。	12月15日 1月25日 3月1日	3	256
月イチ 手作りサロン	毎月第4火曜日に、地域の方に講師をお願いし、古布のリメイクなどの手芸を楽しみながら交流する、サロンを開催。全8回。申し込みを受けずに、自由に参加できる形で、毎回、ロコミで参加者が増えていった。地域講師の丁寧な下準備のおかげで、出来上がる作品も参加者に好評であり、その中の十数名で、サークルが立ち上がった。	6月25日 7月23日 8月27日 9月25日 10月29日 11月26日 1月28日 2月25日	8	220
★●減災をめざして ～地域の防災再確認～	地域住民に対し、市民センターにある防災資機材庫の備品を確認し使用方法を学ぶとともに、地域の緊急対応できる施設及び設備等を知り、仙台市で作成している避難所マニュアルに基づき運営について学び、非常時の活動をスムーズにするための一助とした。	1月21日	1	23
松森小学校社会学級共催企画会議	共催事業の企画会議として3回開催。各々が考える課題を出し合うなどして活発な話し合いが行われた。実施講座についてもそれぞれが役割分担をし、スムーズな運営がなされた。	5月31日 6月12日 9月27日	3	6
鶴が丘小学校社会学級共催企画会議	共催事業の企画会議として2回開催。各々が考える課題を出し合うなどして活発な話し合いが行われた。実施講座についてもそれぞれが役割分担をし、スムーズな運営がなされた。	5月31日 6月28日	2	6
松森市民センターまつり	市民センターで活動するサークルの学習発表と、ボランティア団体や地域住民との交流を促進する場とする。また、実行委員会を組織し、自分たちのまつりであることを確認し、地域とのふれあいを意識したまつりを実施した。	10月20日	1	1200
鶴が森コミュニティサロン2013	地域団体の代表及び利用者が一同に会し、地域課題や地域ニーズ・要望について自由に情報交換することにより、互いが共通認識をもち建設的な地域づくりの拠点機能を果たした。	12月7日	1	30

JL パズル鶴が森定例会	毎月、ジュニアリーダー「パズル鶴が丘」の定例会を実施。子ども会からの要請について、内容を検討し応えることができた。中学生のサークル員を増やすべく、PR 活動を実施。	4 月 3 日 ～3 月 11 日	12	24
本は素敵なパートナー	1 回目はどなたでも参加できる「おとなのためのお話会」を開催。物語の楽しさを感じてもらい、図書ボランティアの紹介も行った。2・3 回目は、泉図書館、榴岡図書館から講師を招き、図書運営の実務や人気の本の紹介などをしていただいた。4 回目はワークショップを開き、ボランティア同士の交流の場とした。	5 月 21 日 6 月 4、18 日 10 月 9、10、23、 30 日 11 月 13 日	4	39
子育てママ企画' 13	鶴が丘児童センターとの共催事業。児童センター利用者 6 名が企画員として参加した。子育て中の母親としての悩みや問題について話し合い、子育て支援に沿った内容で企画を進めることが出来た。	5 月 21 日 6 月 4、18 日 10 月 10 日	4	20
サークル一日体験	今年度は、各サークルの活動日に合わせた日程でサークル体験を実施した。その結果、地域の方々に 16 団体のサークル活動紹介と体験することができた。また、地域の方々の交流の機会となった。	6 月 12 日 ～10 月 9 日	14	364

桂市民センター

〔 沿 革 〕

桂地区は仙台市の北西部に位置し、緑に囲まれた住宅と高層マンションで構成される新興住宅団地で、高齢化率も比較的 low、若く活気にあふれた街である。一方、将監地区は昭和 40 年代に開発された歴史の古い団地で年々高齢化が進んでいる。桂市民センターは、この両地区を受け持っている。

当市民センターは児童センターとの併設館でもあり、利用者の年齢層は乳幼児から高齢者まで幅広い。開館以来、これらのさまざまな年齢層の地域住民と地域団体を意識した事業を展開し、生涯学習の拠点を目指して取り組んでいる。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	桂島緑地未来プロジェクト		
参加者	地域の方	延参加者	500 人
開催日	全 33 回 通年		
協力者・協力団体	泉区建設部公園課、泉区中央市民センター、桂地区各町内会、桂島緑地公園愛護協力会		
ねらい	桂島緑地には素晴らしい自然が多く残っているが、手入れが不十分で荒れ放題になっている所や、防犯上も問題になる所があった。住民の中には潜在的に桂島緑地の環境を整備したいと思っていた方々もいることから、地域資源を活かすために、地域住民に呼びかけ、桂島緑地の再生に主体的に取り組める「組織づくり」「人づくり」を支援していく。		
概要・成果	緑地面積が広いあづま屋周辺の草刈作業を行うなどの中で、多くの人の手が必要なこと、息の長い活動が必要なことへの理解が深まったこと、公園課の協力を受けて活動が活発になったことなど、桂島緑地の再生というテーマを通して、地域づくり、人づくりに結びつけることができた。		

〔平成 25 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
桂の森のキッズランド	親子で楽しめる参加型のコンサート。地域の子育て関係の 4 団体が共催で事業を行い、「こどもが明るく心豊かに育つまち」を目指すために開催した。	9 月 18 日	1	257
ママとキッズのフラタイム	親子参加のフラダンス入門講座。子育て中の母子の交流と親のストレス解消、健康維持、仲間づくりにつながった。	9 月 6、13、20、27 日	4	84
桂ジュニアカレッジ	学校や家庭以外の場所で、様々なジャンルの学びや体験が出来た。「七北田川の生き物を知る」「カルメ焼きを科学する」「ジュニアと遊ぼう」「ヒップホップダンスをおどる」を学んだ。	7 月 23 日 11 月 13 日 12 月 25 日 1 月 8 日	4	57
桂友くらぶ	生きがい作り、歴史、川柳などの講話や軽体操、製作等の実技、演奏会、受講生企画の内容で開催。受講生同士の交流と自主性を育む一助となった。	5 月 9 日 6 月 1 日 7 月 11 日 9 月 12 日 10 月 10 日 12 月 12 日 1 月 9 日	7	372
★桂地域防災事業	桂地区の防災力を高めるために防災講座と避難訓練を行った。	6 月 22 日 9 月 7 日	2	1048

桂の街並みを描く！はじめてのスケッチ	桂地域は自然が豊かで街並みの調和がとれている。スケッチする技術を得し水彩画で街並みの美しさを表現、また文化祭に出展し創作する楽しさも伝えた。	9月4、11日、 18、25日 10月2、9日	6	54
桂小学校区社会学級連携事業企画会議	地域に生活の場を持つ桂小学校区社会学級と連携し、地域課題を明確にして、解決に結びつく講座を企画した。桂市民センターが「情報」を共有できる「場」を提供し、人々の円滑な結びつきを促した。	5月30日 6月13、27日 11月12日	4	27
桂文化祭	市民センター利用団体に学習成果発表の機会を提供し、学習意欲高揚の一助となった。地域住民同士のふれあいと交流を深め、地域活性化に貢献した。舞台発表・展示発表・活動紹介・出店・児童センターまつり	10月19日	1	3456
★桂ロビーコンサート	初夏、夏、秋、冬、の土日、午前、午後、夜間にだれでも集える形の演奏会を開催。毎回楽しみにして来てくれる地域住民も多く、地域活性化にもつながった。	6月1日 7月28日 9月28日 12月8日	4	315
桂地域懇談会	地域の諸団体代表者との懇談会。各団体の事業計画の紹介と地域課題の共有等の情報交換ができた。	5月29日 2月15日	2	15
介護講座～身近な人が認知症になったとき～	少子高齢化が進み、地域での助け合いが必要になってきている現状を踏まえ、介護講座を実施した。将監地域包括支援センターが講師を務め、講話と実技を行った。	11月12日	1	20
市民企画講座 男の地域交流会	定職を離れた男性の家庭や地域で新しい自分の居場所作り、仲間作りの場として開催。包丁とぎや調理実習を通して交流が図られ仲間作りの第一歩となった。	12月14日	1	15
ジュニアリーダー定例会	ジュニアリーダー「将監くれよん」の活動を支えるため、各団体と JL との連絡調整、技術向上のための講習や交流の場として定例会や交流会を実施した。また、中学校への PR 活動も取り入れた。機関紙「くれよん通信」の印刷と配布を担当した。	通年	15	69
バルーンアートボランティア養成講座 スキルアップ編	昨年からの継続の受講生に新受講生も加わり、バルーンアートの更なる技量の習得に努めた。10人中7人でサークルを立ち上げ、引き続き活動することとなった。	7月10、17、24日 8月3日 10月18日	5	40
市民企画会議「男組スペシャル」	地域の中でつながりが浅い男性に地域住民の交流促進を目的とした講座を企画する会議を開いた。企画員は会議に参加したことでセンターの事業に理解も深まり文化祭などに多くの協力を得た。	6月15、29日 7月13日 12月14日	4	31

南中山市民センター

〔沿革〕

南中山市民センターは、平成 15 年 3 月をもって閉館した「泉中高年齢労働者福祉センター(サンライフ泉)」の建物に改修を行い、平成 15 年 11 月 13 日に開館した。

当市民センターが位置する南中山地区は住宅の新築も多く、人口も増加傾向にあり、南中山、北中山、西中山の 3 連合町内会傘下 16 町内会を抱える地域である。

地域内の聖和学園短期大学や南中山中学校、南中山小学校とは、地域の行事や市民センター事業を通して交流を図っている。また、地域の活動拠点として、地域団体、サークル、事業者などに広く活用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	こどもワンダークラブ 「夢をカタチに ～パティシエ編～ 仙台の野菜 de スイーツ創ろっ！」		
参加者	小学 5、6 年生	延参加者	155 人
開催日	全 6 回 5 月 11 日(土)、6 月 8 日(土)・22 日(土)、7 月 13 日(土)・20 日(土)、8 月 31 日(土)		
協力者・協力団体	泉区中央市民センター、宮城県大河原商業高等学校、明成高校、聖和学園短期大学、JA 仙台		
ねらい	キャリア教育を内容として、社会に積極的に関わっていくための知識、適応力、応用力を身につけることをめざす。		
概要・成果	商品開発を体験し、他校の生徒との交流を行った。講座を通して、商品開発のプロ、商品開発を学ぶ高校生や大学生、農家、企業などの多くの人と関わり、見聞を広めるとともに、世代間の交流ができた。1 回の講座時間や全体のコマ数が多かったことから、集中力を養い、達成感を感じることもつながった。		

〔平成 25 年度 (地区館) 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●おやこほっとタイム	未就園児とその保護者を対象とした親子遊び等を行い、親と子のコミュニケーションの場とすると共に、地域の団体と連携して実施し、子育て家庭と地域のつながりを図った。親子体操、絵本の読み聞かせや手遊び等。	5 月～2 月	7	300
職場体験	地域における様々な活動、生涯学習及び子どもの健全育成を支援し、住みよい地域社会の実現に向け活動している市民センターの職場体験を通じ、職員の仕事や市民活動状況の理解、将来の自己のあり方の指針に役立てた。企画書作成、窓口勤務等を実施。	8 月	1	12
ジュニアリーダーサークル「長命ヶ丘巣子っぷ」に体験入門	ジュニアリーダーサークル「長命ヶ丘巣子っぷ」に体験入門し一緒に活動に参加してもらい、体験からジュニアリーダーとしての心構えや社会性を肌で感じることで将来、ジュニアリーダーとして活躍できるように支援。内容はジュニアリーダーの自主企画をもとに企画した。(調理実習・よさこい)	7 月～2 月	2	18
●こどもワンダークラブ	小学生に、社会でたくましく生きるための知識、適応力、応用力を身につけるよう促すことを目的に、低・中学年は自然観察、科学工作等の体験学習。高学年は泉区中央市民センターと共催でキャリア教育の要素を取入れ地域資源を生かした体験学習を実施し、他地域との交流も行った。(移動天文台・土壁塗り・パティシエ体験)	4 月～9 月	8	258

インリーダー研修会	泉地区の子ども会育成会活動の充実を図るため、リーダーとして活躍する児童と世話人を対象に研修の機会を設けた。児童と世話人、それぞれを対象とした講話、実技。	10月～1月	2	52
いずみ中山交流事業「ガーデニング・カフェ」	新規住民と以前からの住民との交流が少ないこと及び市民センターから離れている地域の人は利用しにくいという課題解決のために出前講座として、西中山や北中山の集会所等を会場に、管内の花と緑に関する作業と交流会を行った。	6月～7月	3	35
★市民企画講座「きずなという言葉がなくても人が結ばれていた時代」	昭和の資料映像の視聴や語り合いを通じて、当時と現在の社会の変化を考えながら、これからの支えあうコミュニティと住民相互のコミュニケーションのあり方について考えてもらった。	12月	2	29
●ほがらかシニア塾	環境、経済、外交問題等困難な課題を抱える現代において、高齢者が自己を磨き、心豊かな生活を送ることができるよう、時代に合った課題を学ぶ機会として、講座を実施。現代の課題について学ぶ講話等。移動学習、ワークショップも行った。	5月～12月	7	275
★まちづくり交流農園ちやちやちや倶楽部	住民同士が支えあえる基盤を育むために、住民が関わる機会を作り、住民相互の交流を活性化することが必要ことから、平成21年度から市民センターで養成した菜園ボランティアサークルを活用し、学びの成果を還元してもらいながら、つながりを築く講座を行った。講話・ワークショップ・公開講座。	5月～2月	10	214
まなびねっと「いずみ中山」推進委員会	地域の団体が連携してネットワークを作り、子どもたち同士の交流や健やかな成長を目的に、事業の企画・検討を行った。月に一度の推進委員会を重ね、地域住民・団体同士の結びつきを強くすることにより、地域活性化を図った。企画会、反省会。	4月～3月	12	55
いずみ中山フェスタ	地域住民、地域団体、市民センター利用サークルに学習成果を発表する場を提供するとともに、地域全体の祭事として関わりを持つことで、達成感を味わってもらうことを目指した。また、多くの人が集い、地域の交流拠点となることを目指した。ステージ発表、展示発表、模擬店等。	10月	1	690
地域懇談会	地域課題や市民センター活動に対するニーズ、評価、要望などを住民から収集し、事業企画や運営に反映。また、活動状況を報告して、地域住民の理解促進と多数の事業への参加を促すことを目的とする会議を行った。	4月～11月	2	14
まなびねっと「いずみ中山」交流行事	南中山、北中山の地域団体と連携し、子どもたちに環境や生き物、伝統文化について誓いを深める機会を提供する事により、子どもたちの健全育成と関係諸団体とのネットワーク強化を図った。川遊び、正月行事、よさこい・もちつき。	8～2月	3	132
ジュニアリーダー定例会	定例会を通して「長命ヶ丘菓子つぷ」の活動を支援し、中学生・高校生が積極的に地域活動に参加できる環境づくりを図った。また、ジュニアリーダー同士の交流や情報交換により、ジュニアリーダーの活動への意欲や知識・技術向上を図った。	4月～3月	12	58
読み聞かせボランティア養成講座	若い世代の核家族が増えており、子どもが本に親しめる機会を作り、読書環境を整える必要性が高まっているため、地域内の読書推進のニーズに応えられる人材を育てる目的で講座を実施。講話と実技で、本の選び方、読み方、ボランティア活動等について習得。	5月～6月	5	34
市民企画会議「男の気楽会議」	南中山、北中山、西中山それぞれの地区の垣根を越えた交流を促進し、地域ネットワークの充実を図るために地域住民との協働による企画及び運営を行った。	6月～12月	7	29

